

JSA PIMS2019

管理者マニュアル

— 3. 運用管理 —

R.4 2018年10月

公益社団法人 日本麻酔科学会



改版履歴

版数	発行日	変更理由
R. 0	2010 年 12 月	
R. 1	2011 年 12 月	Ver4.0.2 からの新 OS 対応
R. 2	2014 年 8 月	Windows 8, 2012 Server 対応
R. 3	2016 年 12 月	Ver5.0 対応
R. 4	2018 年 10 月	Ver6.0 対応

目次

1 はじめに.....	4
1.1 管理者マニュアルの構成.....	4
1.2 本書の対象者.....	4
1.3 免責事項.....	4
1.4 表記規則.....	4
2 データのバックアップをするには【重要】.....	5
2.1 Windows 10, 8, 7,Vista, 2016 Server, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合.....	5
2.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合.....	12
3 データベースのメンテナンス操作.....	17
4 データベースのリストアー方法.....	21
4.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2016 Server, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合.....	21
4.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合.....	30
5 偶発症例調査 学会提出用ファイルを作成するには.....	39
5.1 偶発症例調査 学会提出用ファイルの作成方法.....	39
5.2 偶発症例調査 学会提出ファイルへの情報提供停止の請求があったことを記録するには.....	44
6 認定施設/専門医制度 症例数 学会提出用ファイルを作成するには.....	45
6.1 症例数 学会提出用ファイルの作成方法.....	45
7 JSCVA 症例 学会提出用ファイルを作成するには.....	53
7.1 JSCVA 症例 学会提出用ファイルの作成方法.....	53
8 麻酔台帳の未確定データを確定するには.....	63
9 麻酔台帳を削除するには.....	67

10 システム利用ユーザ/麻酔科医情報を登録するには	68
10.1 ユーザ登録/麻酔科医情報登録と利用権限の設定	68
10.2 その他の利用権限の設定 (システム管理者・全データ閲覧者など)	72
10.3 ロールへのシステム機能の設定	74
10.4 システム機能と職種 (ロール) ・資格の初期設定状態.....	76
11 パスワードを忘れてしまったとの問合せがあったら	78
12 施設独自項目機能の設定方法	79
12.1 施設独自項目の設定	79
12.2 施設独自項目の台帳登録	81
13 他システム起動機能の設定方法	81
13.1 他システム起動の設定.....	81
13.1.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合.....	82
13.1.2 患者 ID を他システムに引き渡す場合.....	85
13.2 他システム起動方法	87
13.2.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合.....	87
13.2.1 患者 ID を他システムに引き渡す場合.....	88
14 手術台帳/麻酔台帳の重複登録の可能性のあるデータのチェック方法	89
15 マスタ情報の管理について	90
15.1 マスタ情報一覧.....	90
15.2 マスタ情報の管理 (共通操作)	93
16 患者情報の管理について	97

1 はじめに

本書は、JSA PIMS2019（以下本システムといたします）の管理者向けマニュアルのうち、インストール方法を説明するものです。

1.1 管理者マニュアルの構成

管理者マニュアルは、以下の5編で構成されています。必要に応じた編をご参照ください。

- ・本編
- ・インストール編
- ・運用管理編（本書）
- ・データ連携編
- ・GSVによるデータ登録編

1.2 本書の対象者




本書は本システムの管理者を読者の対象としています。

本システムの管理者は、システムを適切にご使用いただくために、本書に目を通した上で、システムをご使用ください。

1.3 免責事項

システムの不適切な使用に伴う患者情報等の個人情報の漏洩については、本学会は責任を負いません。

1.4 表記規則

規則	意味
「手術管理」 「手術室予約」	メニューの名称を表します。メニューの大項目と小項目の間は、縦線で区切って表します。
[]	大カッコ内は、画面やダイアログボックスに表示される文字、またはキーボードのキーを表します。
<>	山カッコ内は、ユーザが入力する内容を表します。
→	操作したあとの結果を表します。
 注意	ご使用となるうえでの注意事項を表します。
 参照	ほかのマニュアルやヘルプの参照先を表します。
 ヒント	知っておくと便利な情報を表します。

2 データのバックアップをするには【重要】

ここでは、データベースのデータのバックアップを取得する手順を説明します。



注意 データベースのデータのバックアップは、定期的に必ず取得してください。

万が一 PC の紛失・故障などの事故が発生した場合に、バックアップを取得していないと、データを全て失う危険があります。

また、事故が起きた場合、直前に取得したバックアップのデータ迄しか復旧ができませんので、頻繁にバックアップを取得することを推奨します。

2.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2016 Server, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合

ここでは、PostgreSQLに附属のツール pgAdmin を使用したデータベースのバックアップ方法を説明します。

2.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

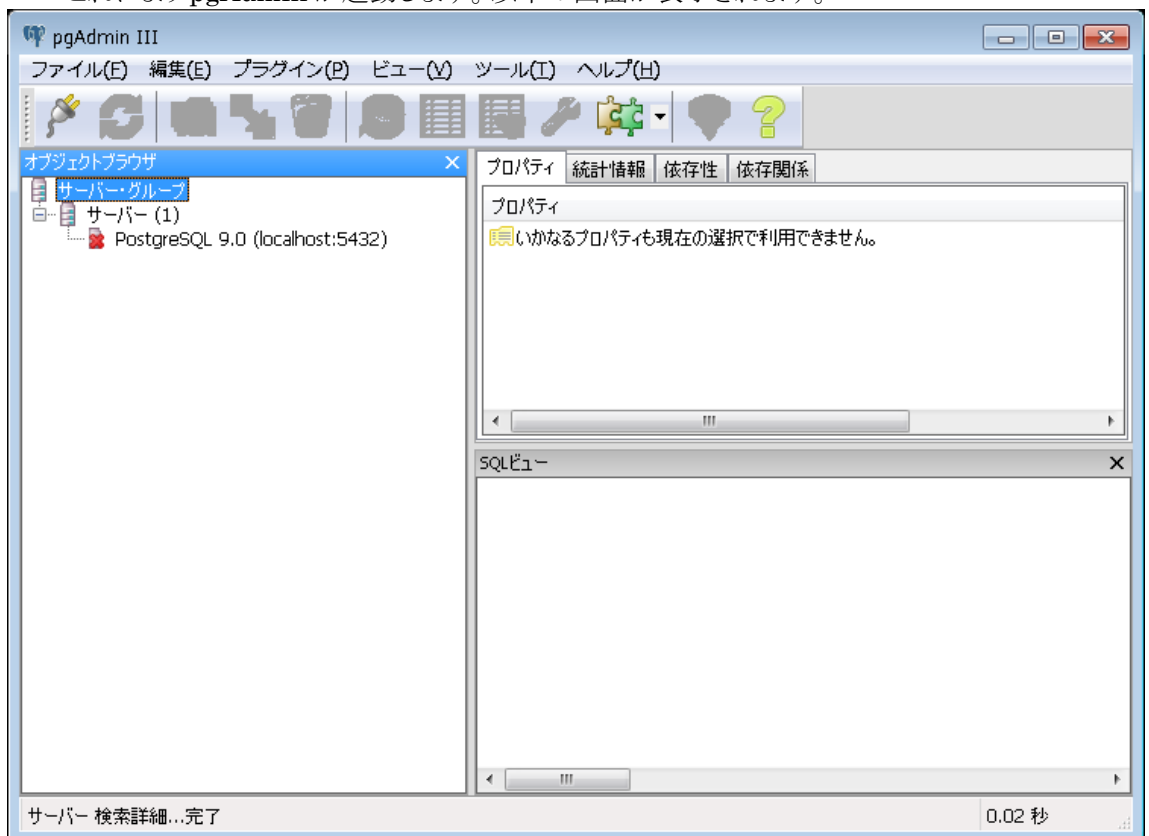
Win10,8,2016 Server,2012 Server の場合：

アプリの一覧から「PostgreSQL 9.0」 | 「pgAdminIII」を選択します。

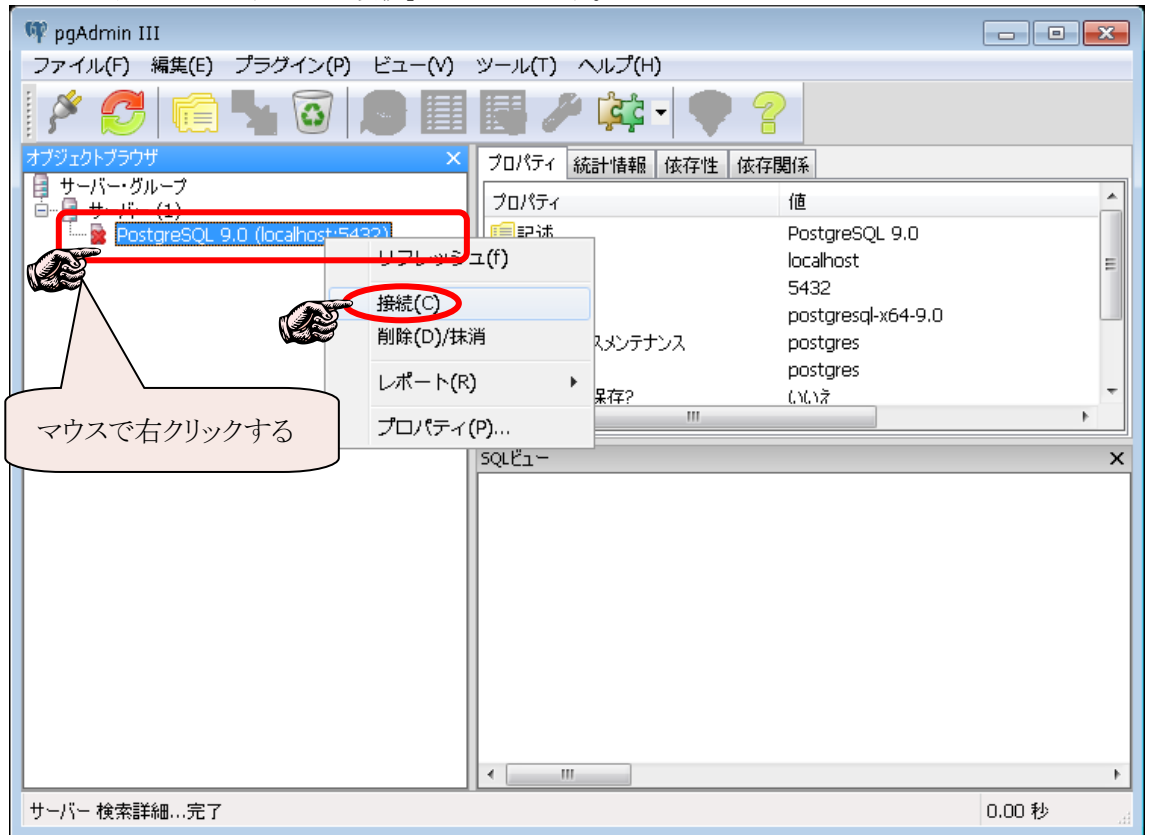
Win7,Vista,2008 Server の場合：

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 9.0」 | 「pgAdminIII」を選択します。

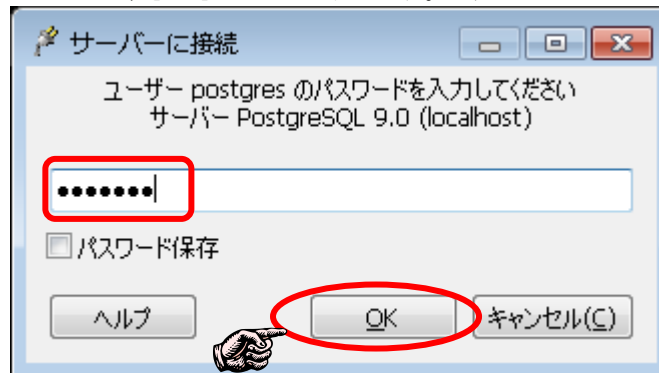
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



2.1.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

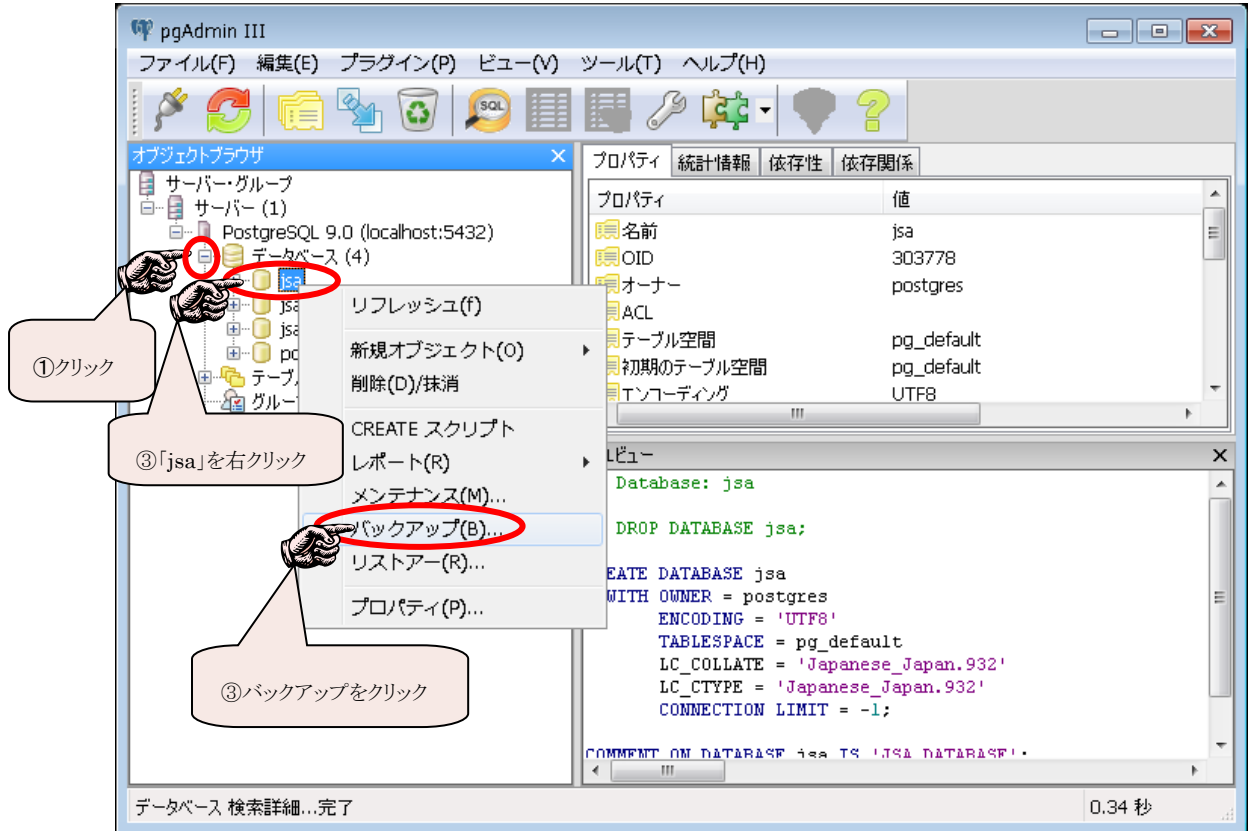


2.1.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。(入力文字は*文字で表示されます)

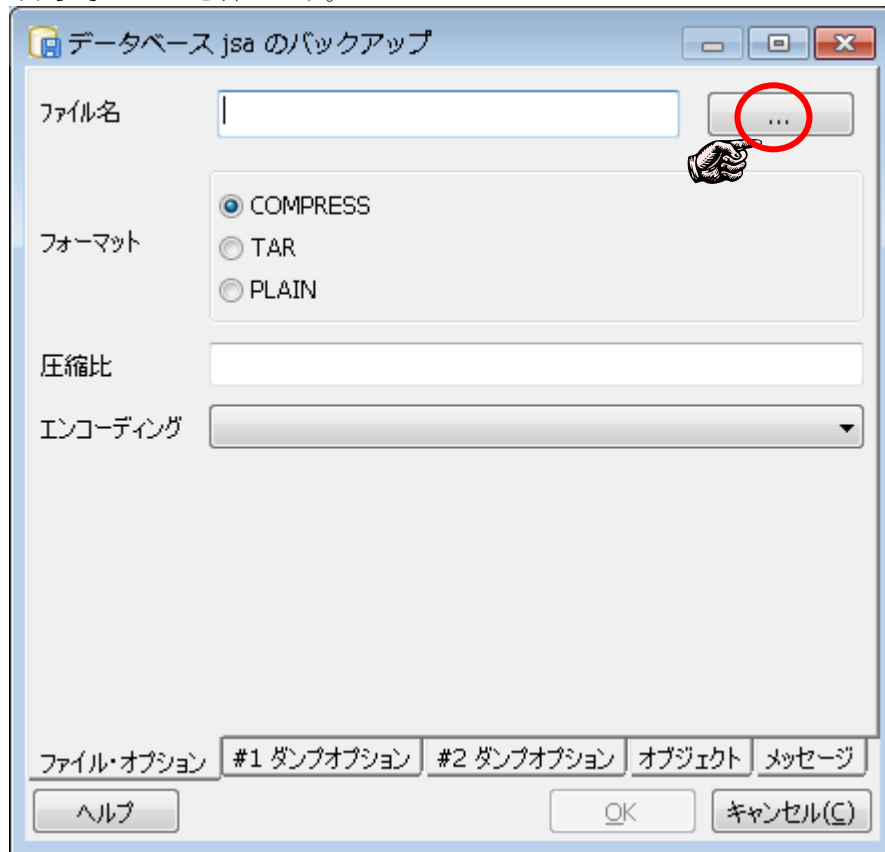


2.1.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

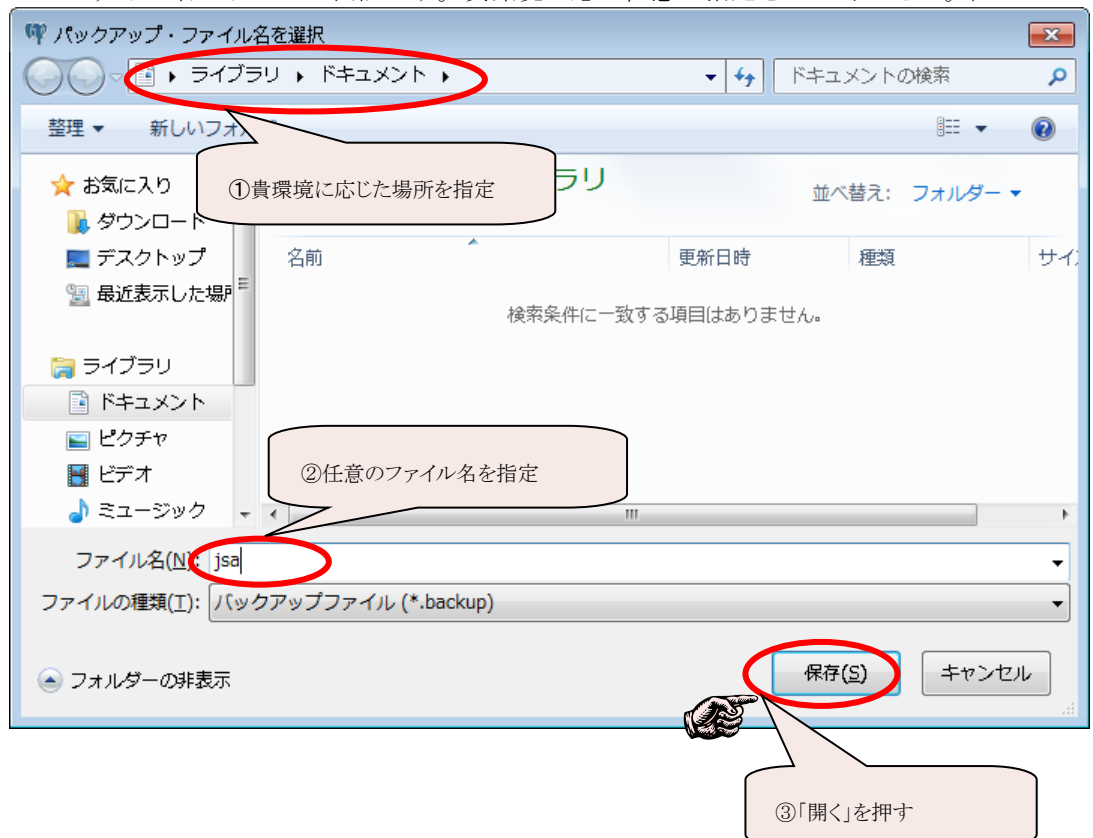
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「バックアップ」を選択します。



2.1.1(5) [...] ボタンを押します。



2.1.1(6) バックアップ先のフォルダ名とファイル名を指定します。(※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。)





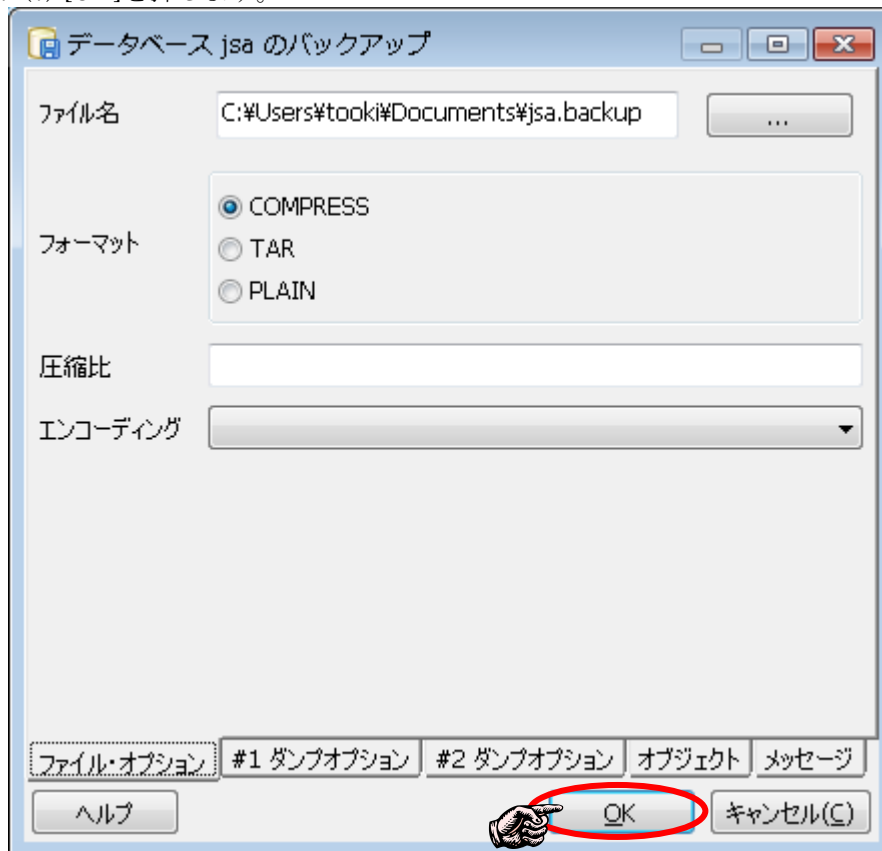
注意 バックアップ先に関して

データベースデータのバックアップ先は、

- ・ 外付けハードディスク装置などのバックアップ用メディア
- ・ 別の PC のハードディスク
- ・ **NAS**

など、本システムのデータベースがインストールされている PC とは別の場所
に取得してください。

2.1.1(7) [OK]を押します。

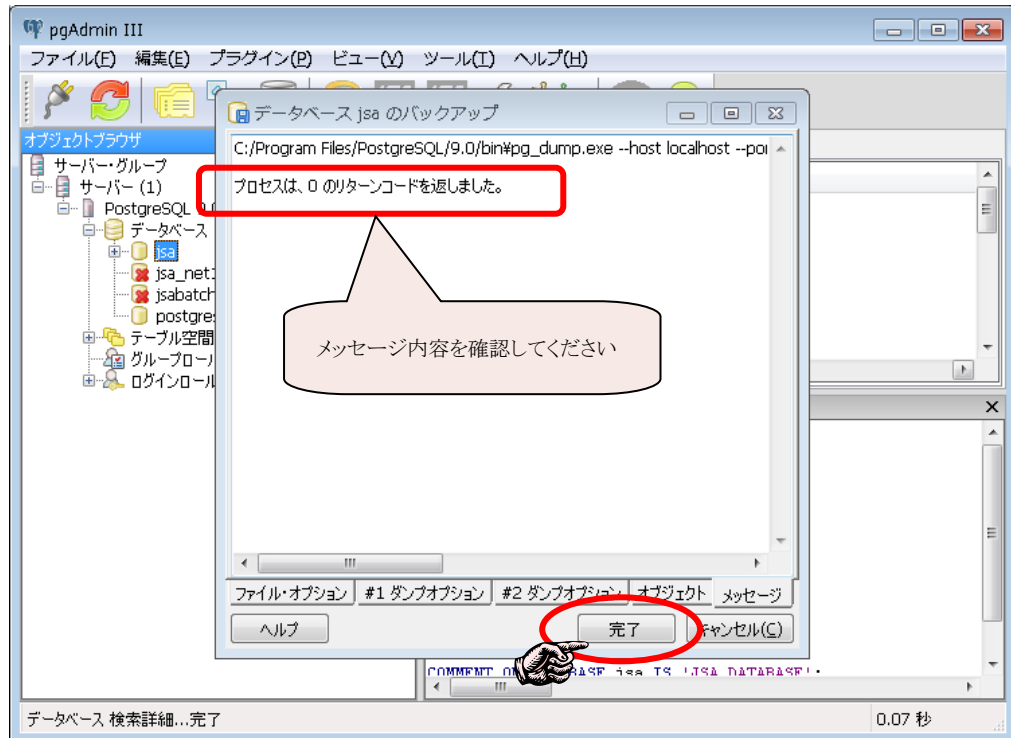


2.1.1(8) バックアップを開始します。時間は数分間掛かります（データ量に応じて要する時間が変わります）。

画面の最後尾に

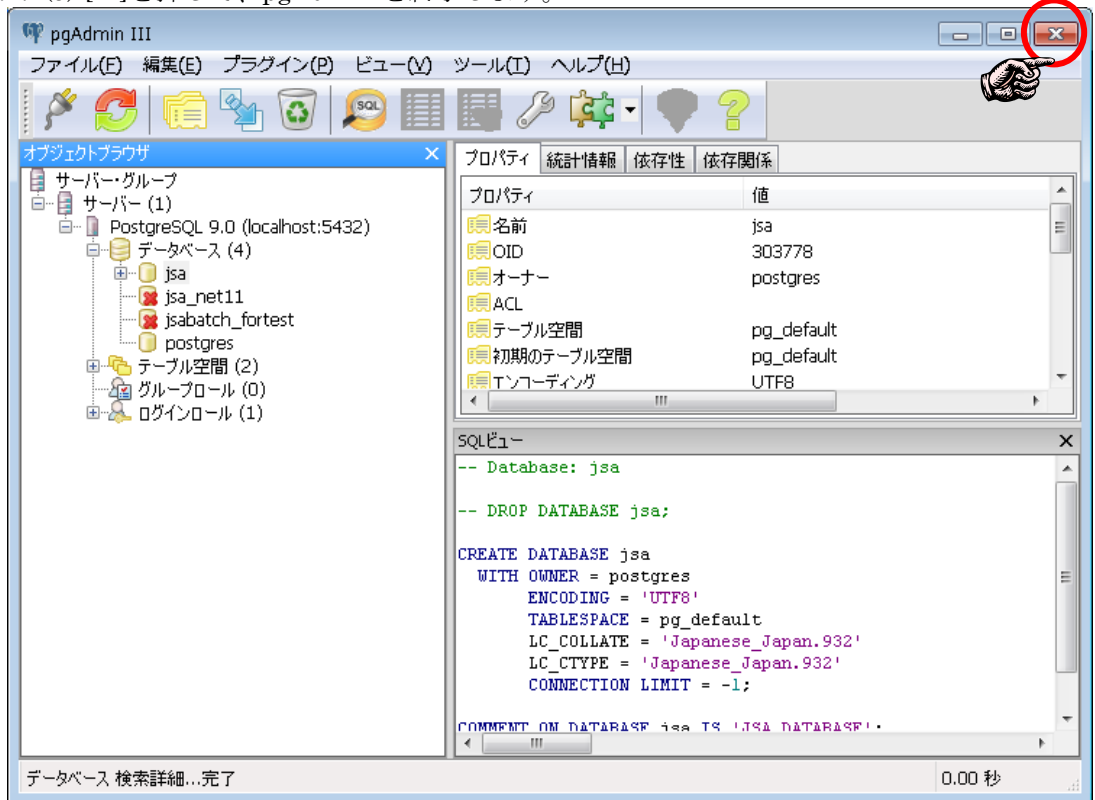
「プロセスは、**0** のリターンコードを返しました。」

と表示されれば、バックアップは正常に終了です。それ以外のメッセージが表示されている場合には、バックアップが正常に取得できていませんので、サポートまで問合せをしてください。



「完了」を押し、画面を閉じます。

2.1.1(9) [×]を押して、pgAdmin を終了します。



以上でデータベースのデータのバックアップは完了です。

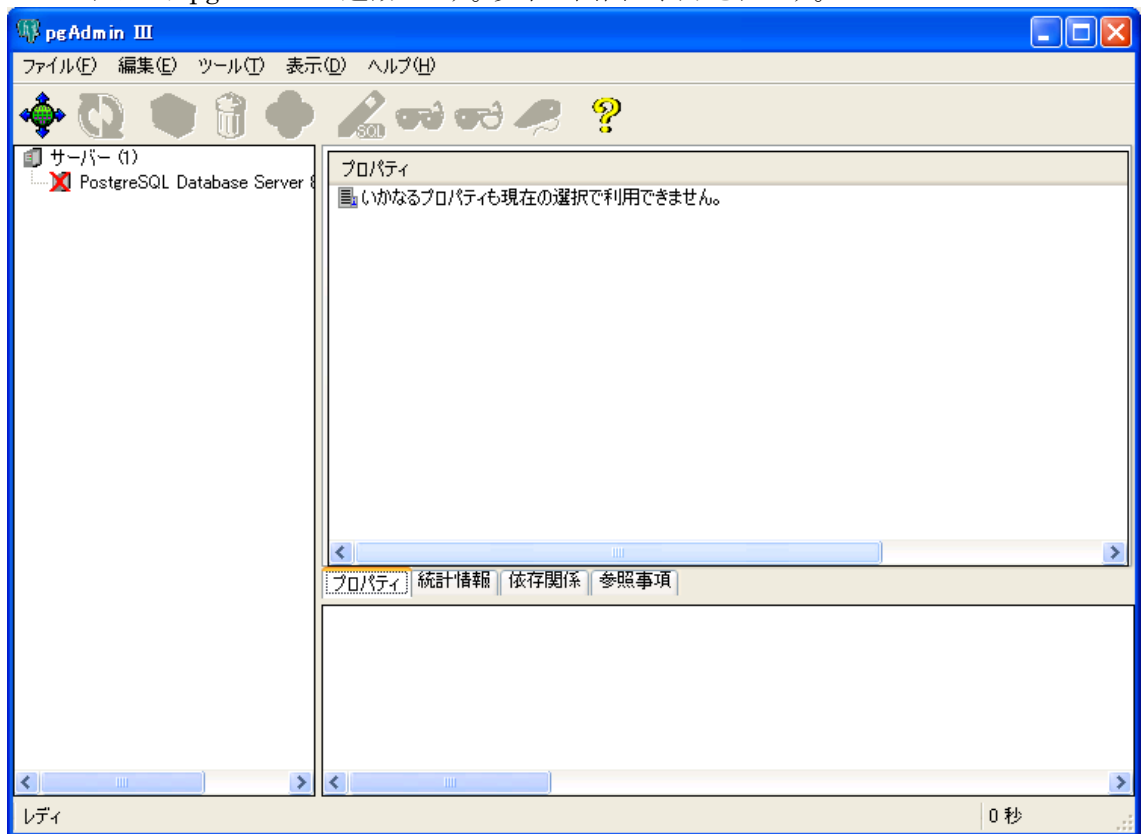
2.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合

ここでは、PostgreSQLに附属のツール pgAdmin を使用したデータベースのバックアップ方法を説明します。

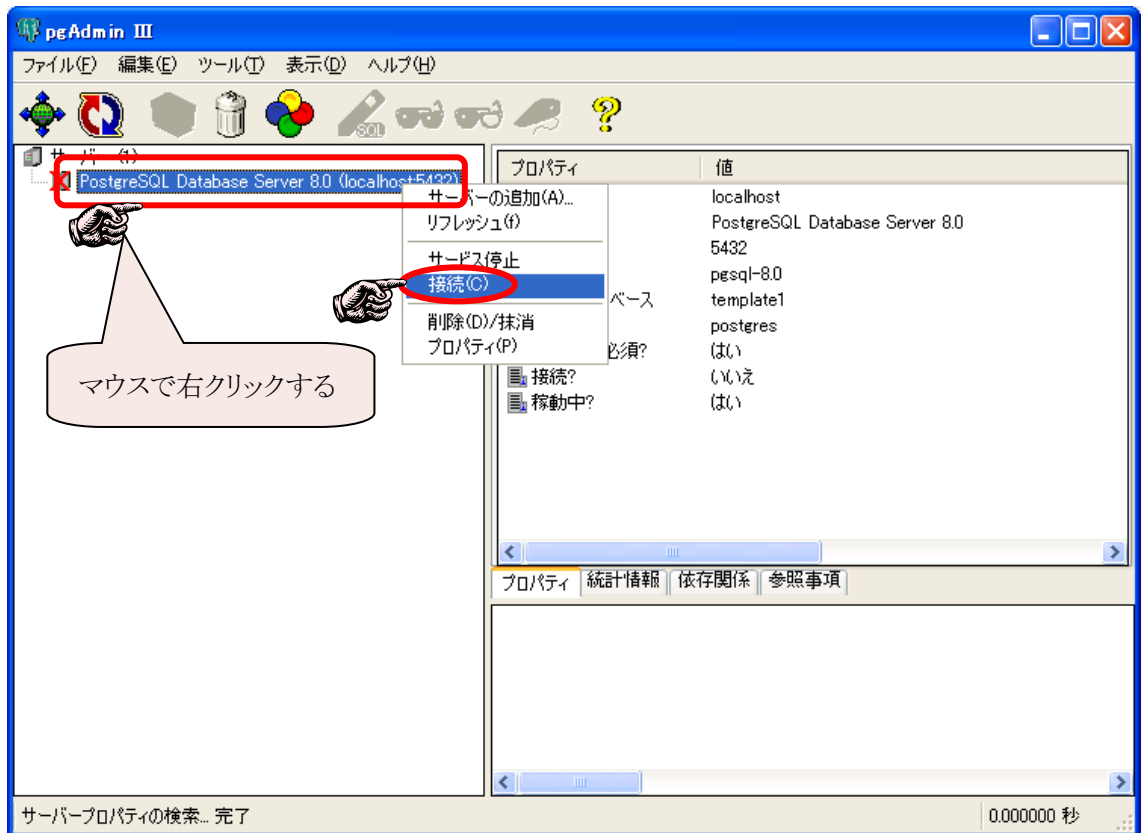
2.2.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



2.2.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

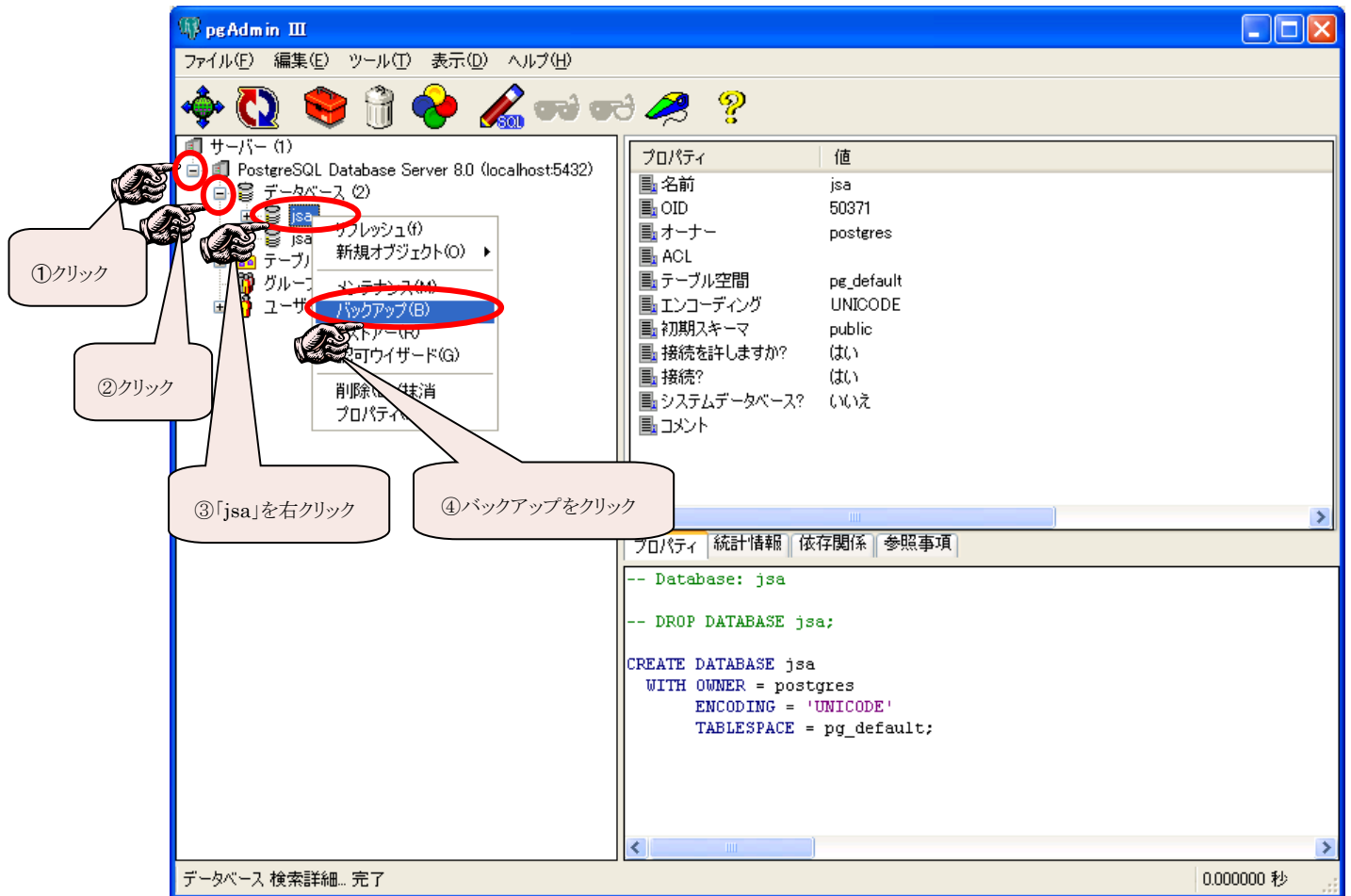


2.2.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。(入力文字は*文字で表示されます)

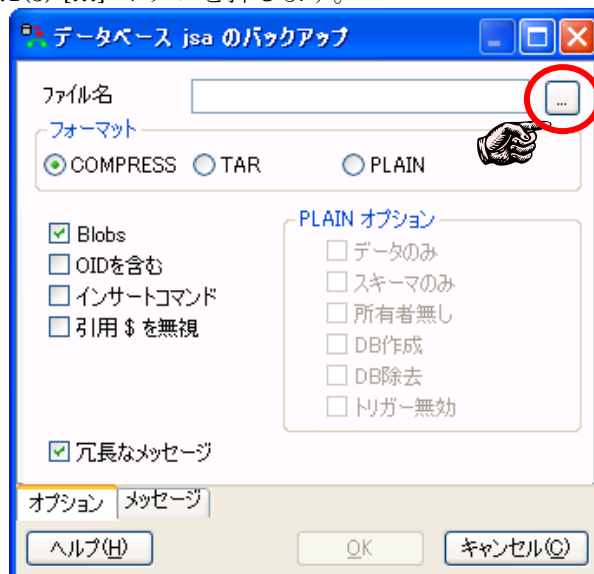


2.2.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

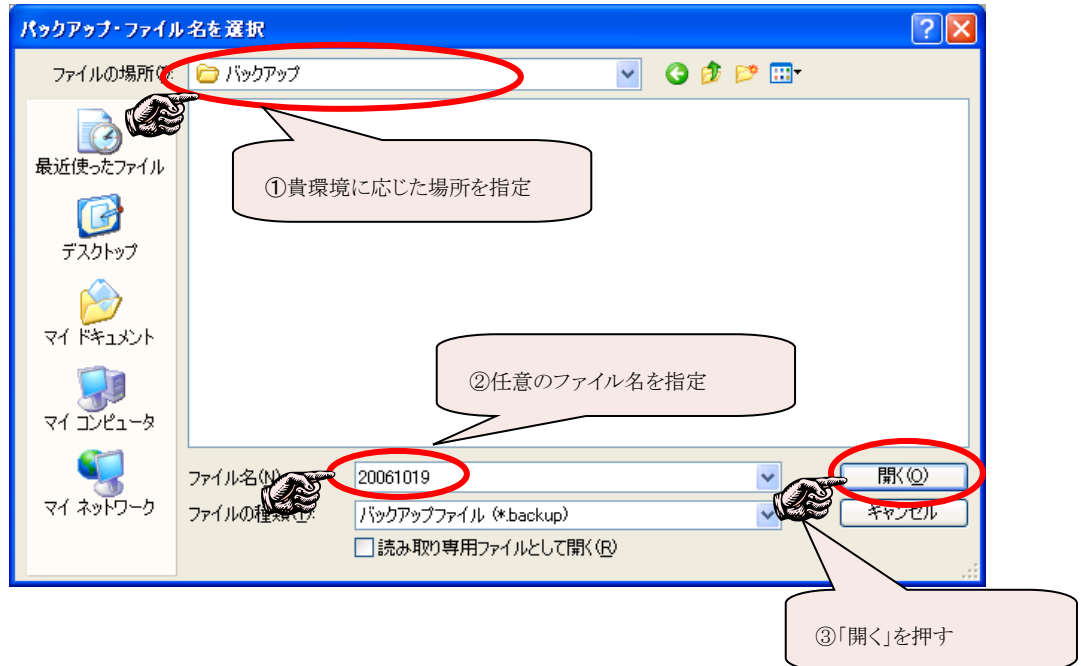
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「バックアップ」を選択します。



2.2.1(5) [...] ボタンを押します。



2.2.1(6) バックアップ先のフォルダ名とファイル名を指定します。(※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。)



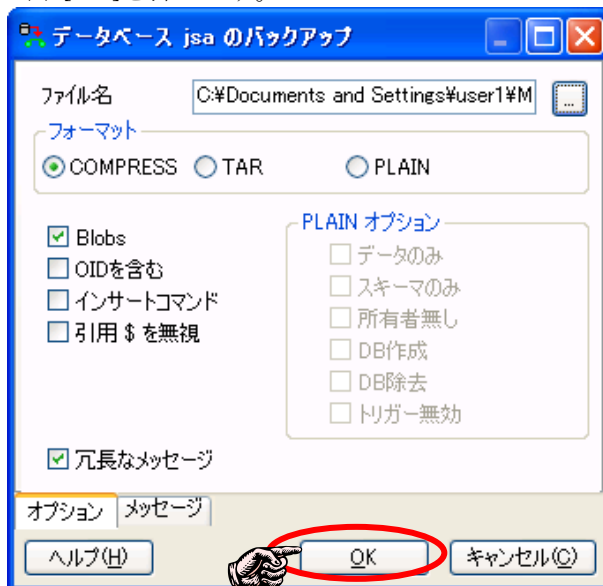
注意 バックアップ先に関して

データベースデータのバックアップ先は、

- ・ 外付けハードディスク装置などのバックアップ用メディア
- ・ 別の PC のハードディスク
- ・ NAS

など、本システムのデータベースがインストールされている PC とは別の場所に取得してください。

2.2.1(7) [OK]を押します。



2.2.1(8) バックアップを開始します。時間は数分間掛かります（データ量に応じて要する時間が変わります）。

画面の最後尾に

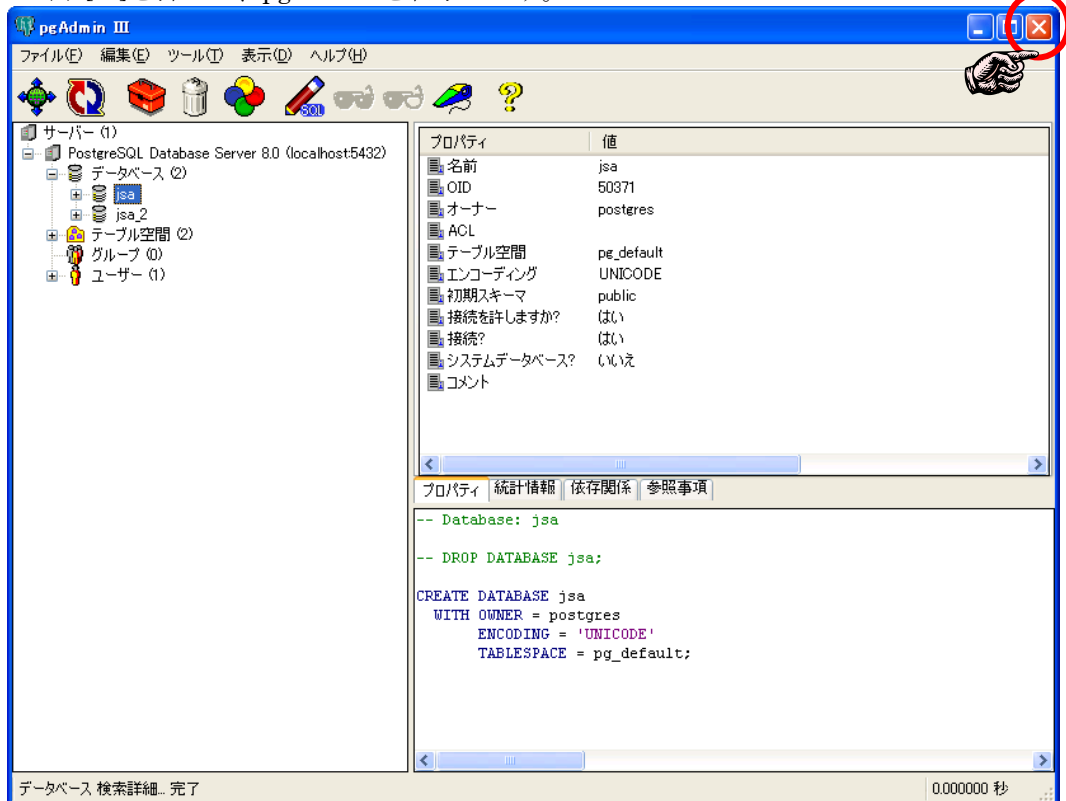
「プロセスは、0 のリターンコードを返しました。」

と表示されれば、バックアップは正常に終了です。それ以外のメッセージが表示されている場合には、バックアップが正常に取得できていませんので、サポートまで問合せをしてください。



「完了」を押し、画面を閉じます。

2.2.1(9) [×]を押して、pgAdmin を終了します。



以上でデータベースのデータのバックアップは完了です。

3 データベースのメンテナンス操作

本操作は、**JSA PIMS** を下記 OS にインストールし使用している場合に必要となります。
Windows2000, XP, 2003 Server, XP Mode

※JSA PIMS を下記 OS にインストールし使用している場合は、本章の操作は不要です。
 Windows10, 8, Windows7, Vista, 2016 Server, 2012 Server, 2008 Server

本システムのデータベースソフトである PostgreSQL は、ソフト特有の機構により、定期的にメンテナンス操作を行う必要があります。



注意

データベースのメンテナンスは、定期的に行ってください。
この操作は、週に1~2回程度、行うことを推奨いたします。

この操作を行わない場合、システムを使用してデータが蓄積していくに連れ、データベースの処理速度がだんだんと遅くなっていきます。

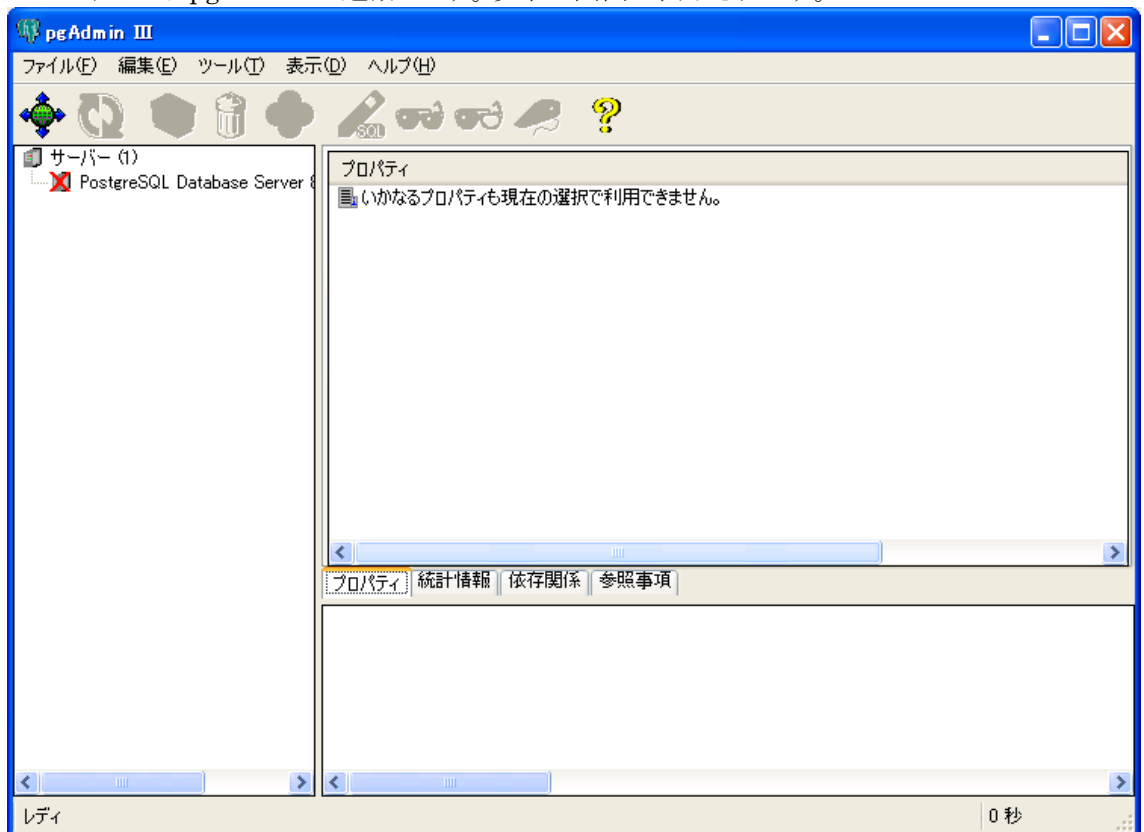
この操作を行うことで、データベースの処理速度が改善されます。

以下に、メンテナンスの手順を説明します。

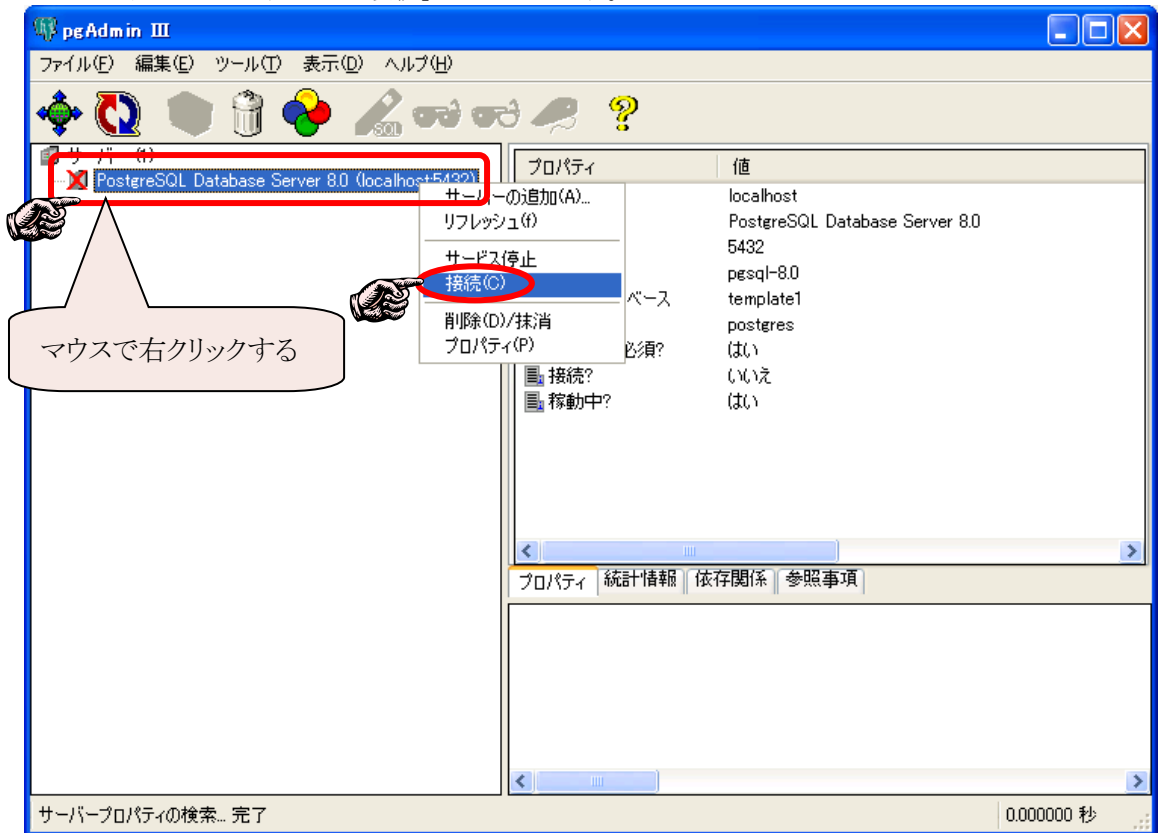
3.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



3.1.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

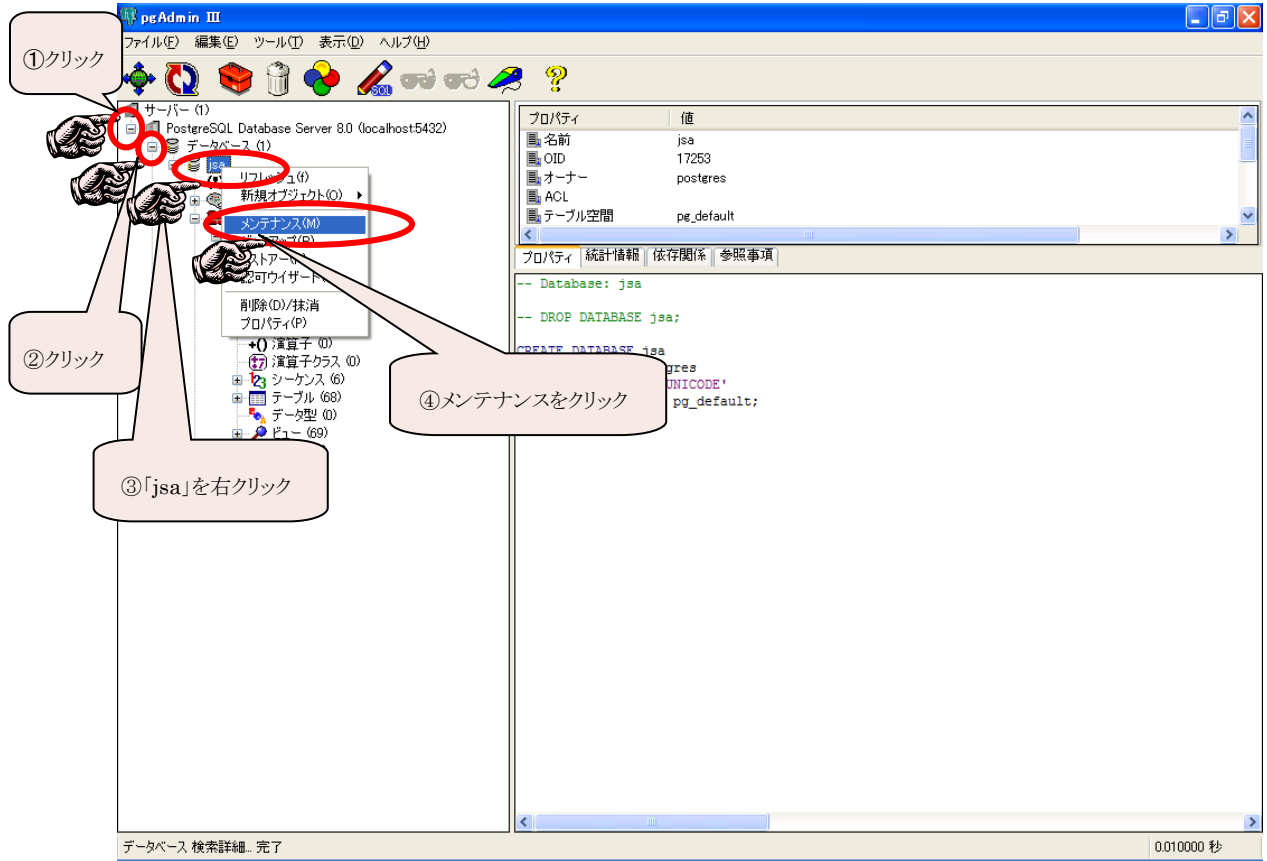


3.1.1(3) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。(入力文字は*文字で表示されます)

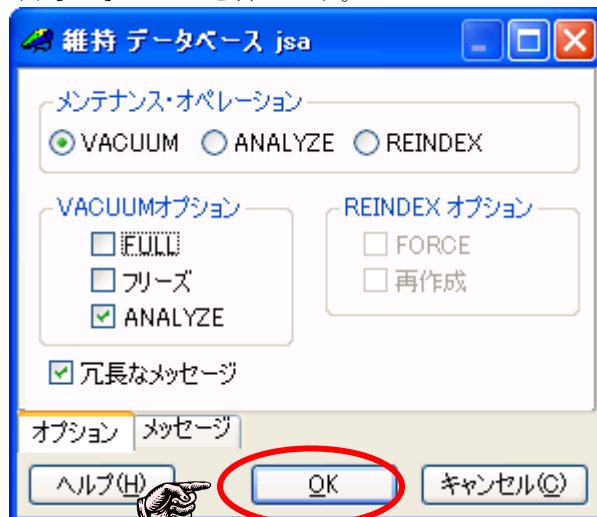


3.1.1(4) 「PostgreSQL Database Server ...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。

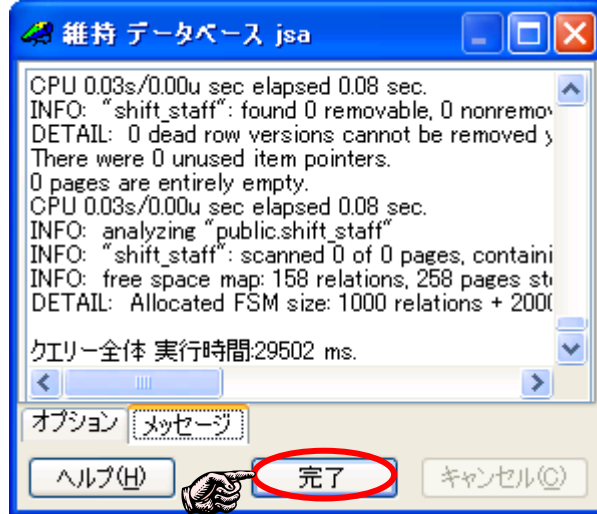
その後、「jsa」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「メンテナンス」を選択します。



3.1.1(5) [OK] ボタンを押します。



3.1.1(6) 処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。[完了]ボタンを押します。



以上でデータベースのデータのメンテナンスは完了です。

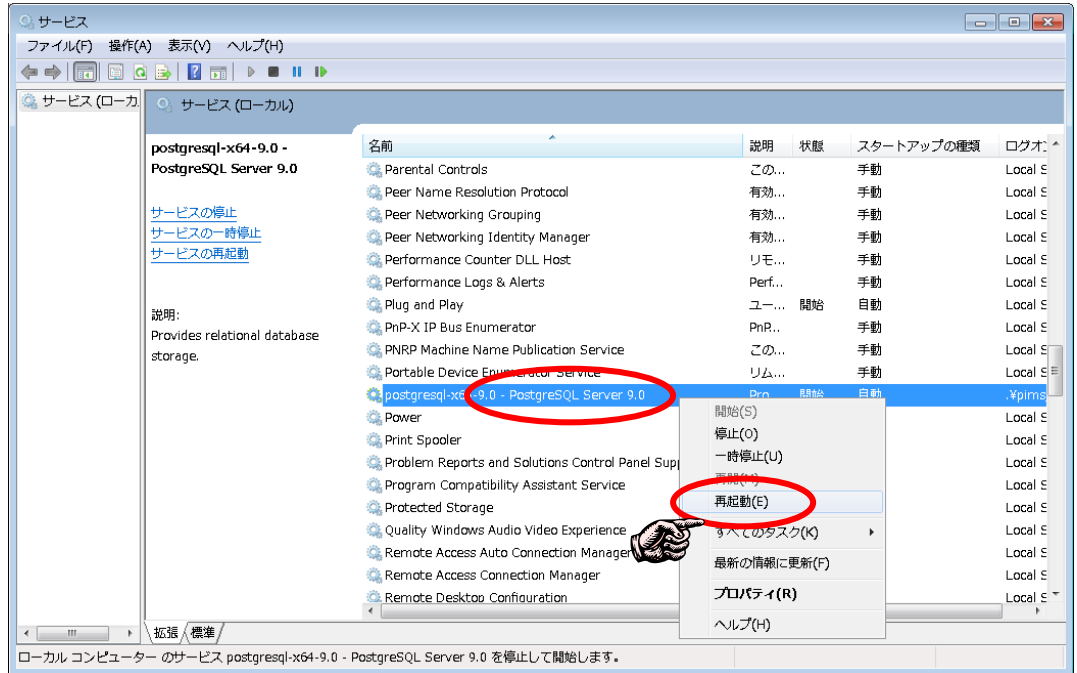
4 データベースのリストアー方法

4.1 Windows 10, 8, 7, Vista, 2016 Server, 2012 Server, 2008 Server をご使用の場合

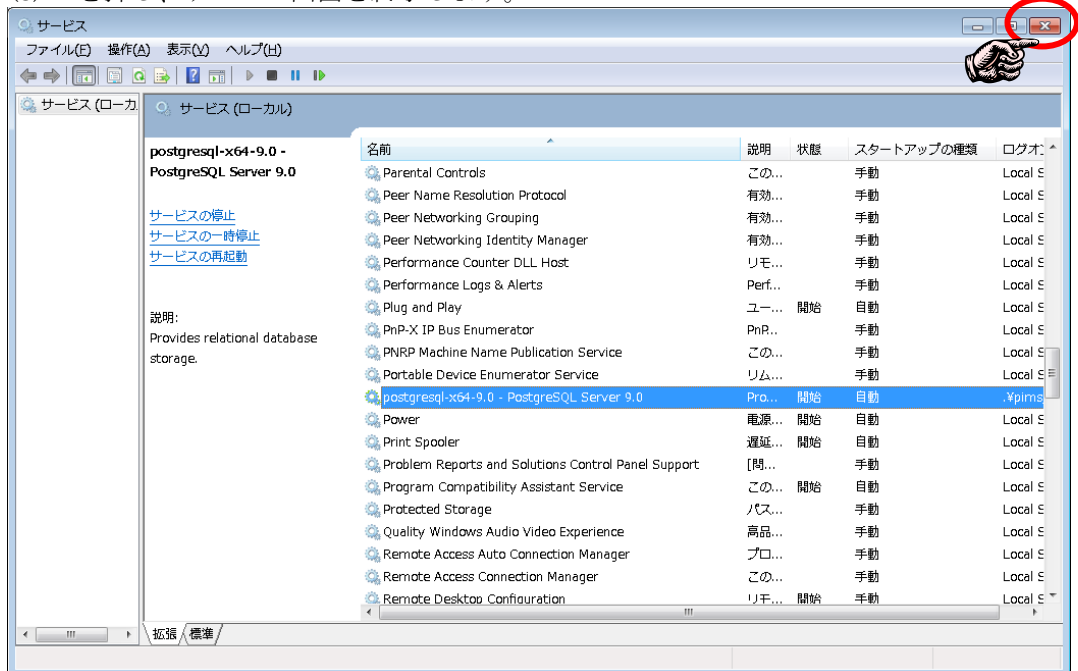
4.1.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「コントロールパネル」 | 「管理ツール」 | 「サービス」

4.1.1(2) サービス画面より、「...PostgreSQL Server 9.0」を右クリックし、「再起動」を選択します。



4.1.1(3) ×を押し、サービス画面を終了します。



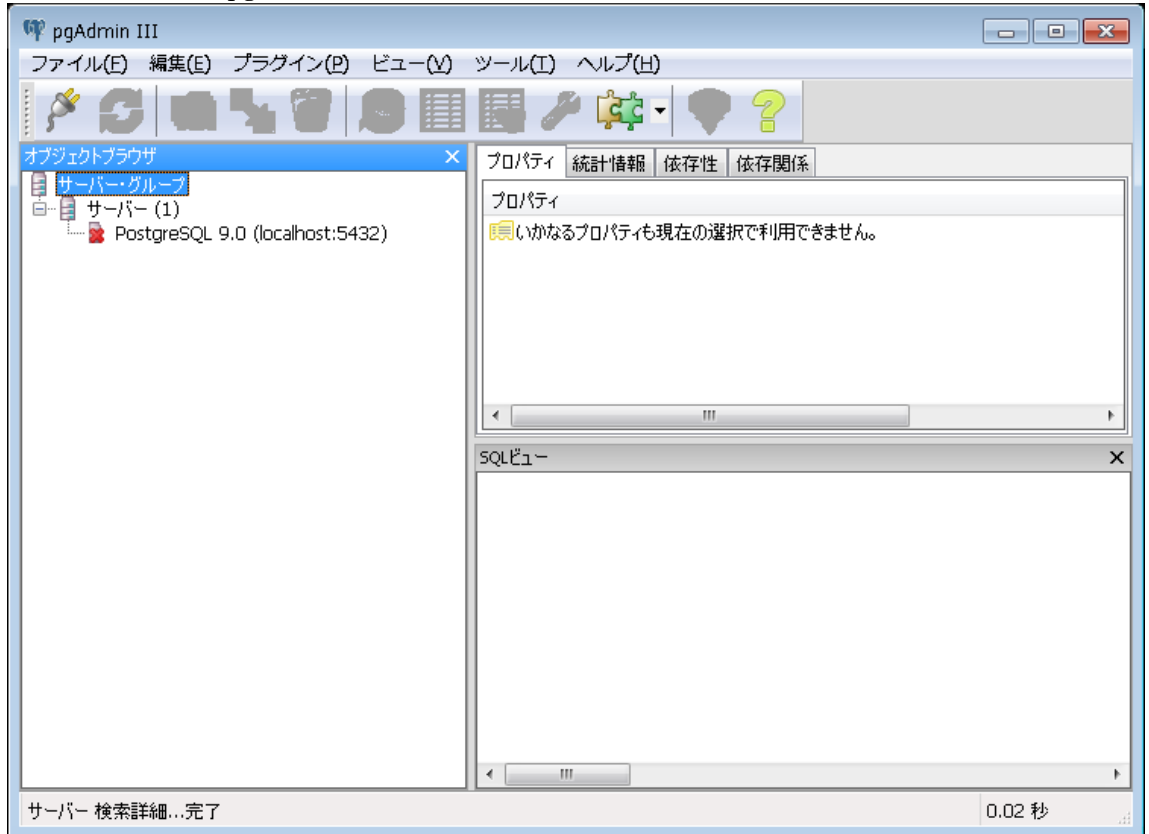
4.1.1(4) 次に以下メニューを選択します。

Win10,8, 2016 Server,2012 Server の場合:

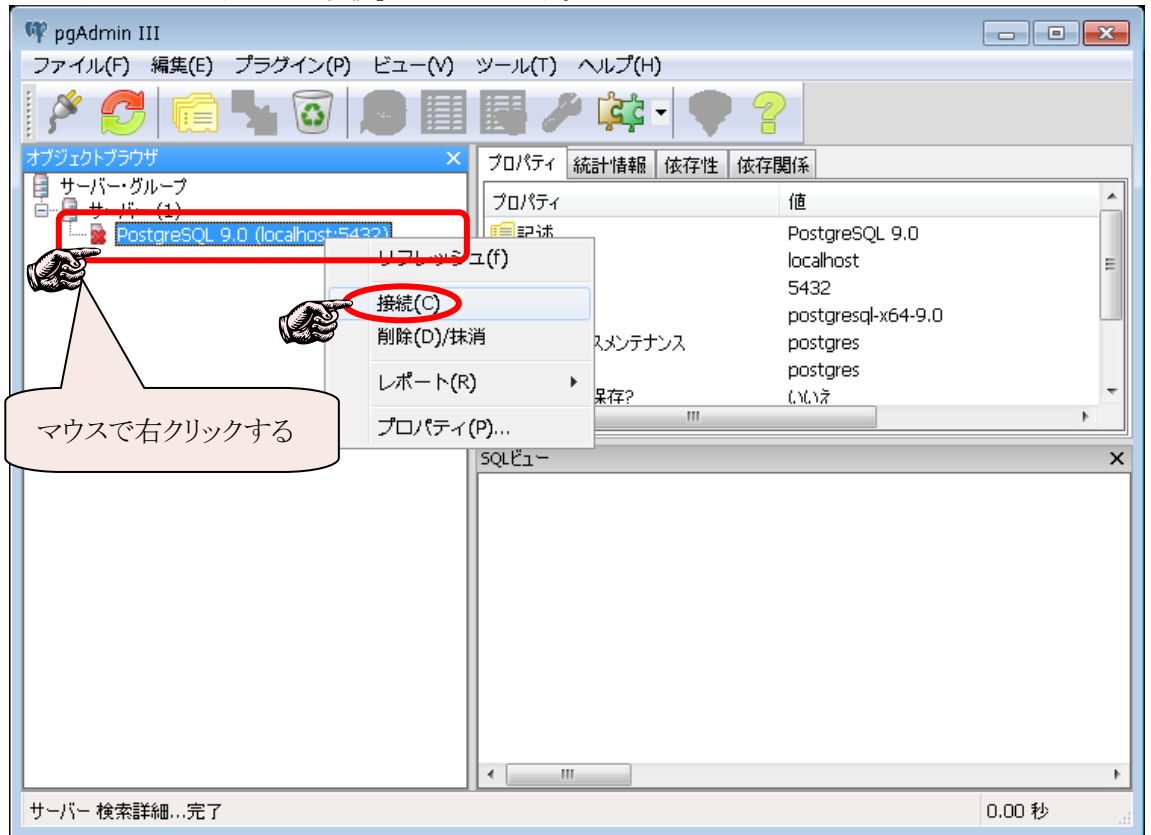
アプリの一覧から「PostgreSQL 9.0」|「pgAdminIII」を選択します。

Win7, Vista, 2008 Server の場合：

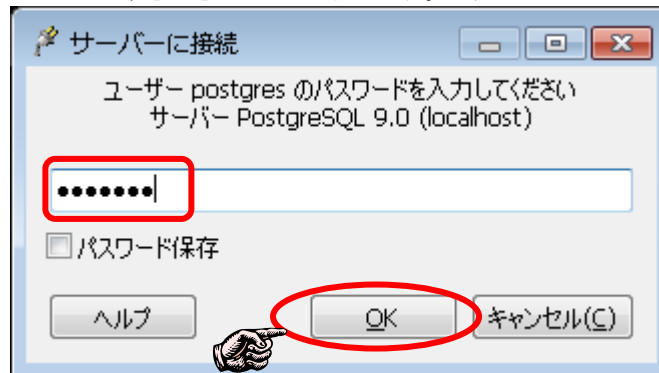
「スタート」|「プログラム」|「PostgreSQL 9.0」|「pgAdminIII」を選択します。
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



4.1.1(1) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

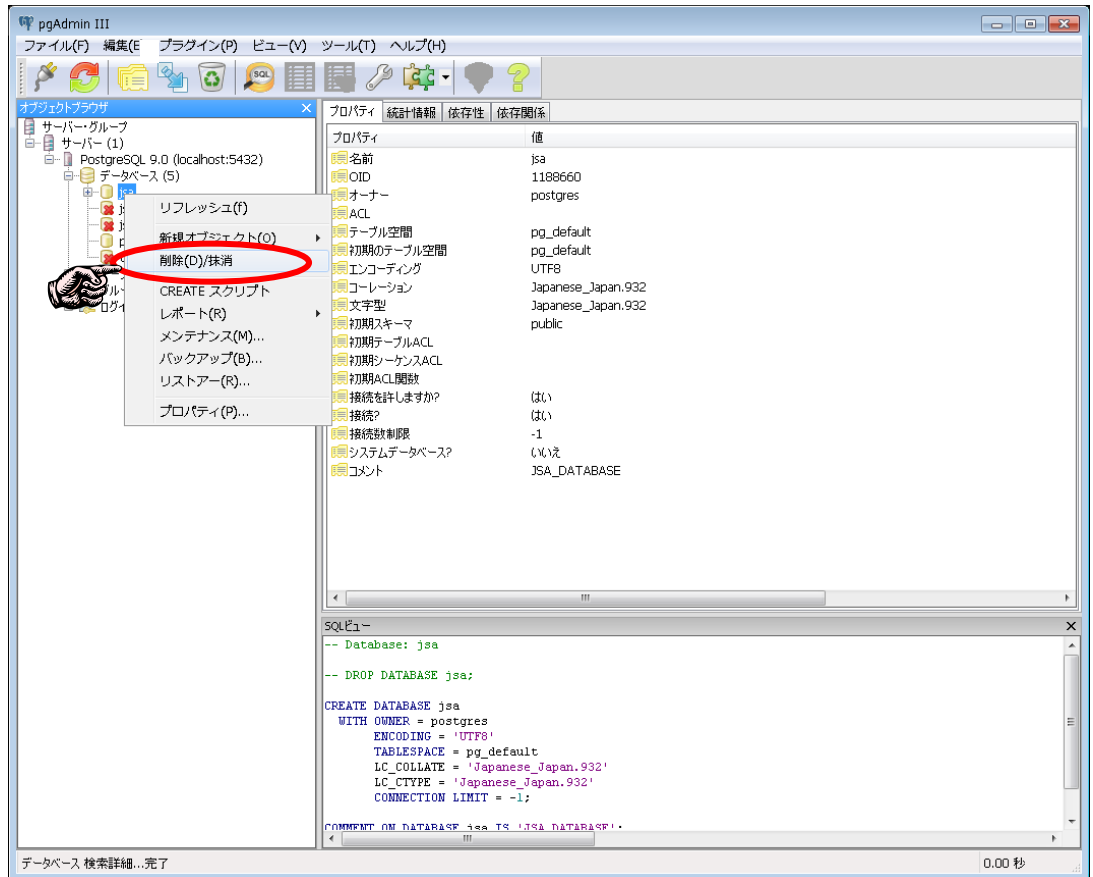


4.1.1(2) <jsa2006>と入力し、[OK]ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

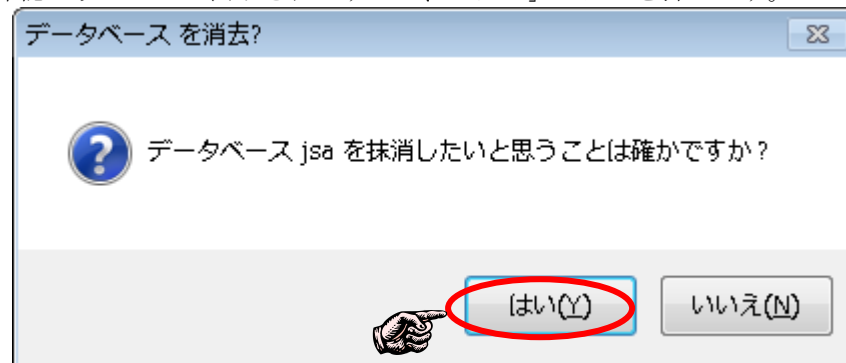


4.1.1(3) 「PostgreSQL Database Server...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。その後、「jsa」を右クリックします。メニューが表示されますので、「削除」を選択します。

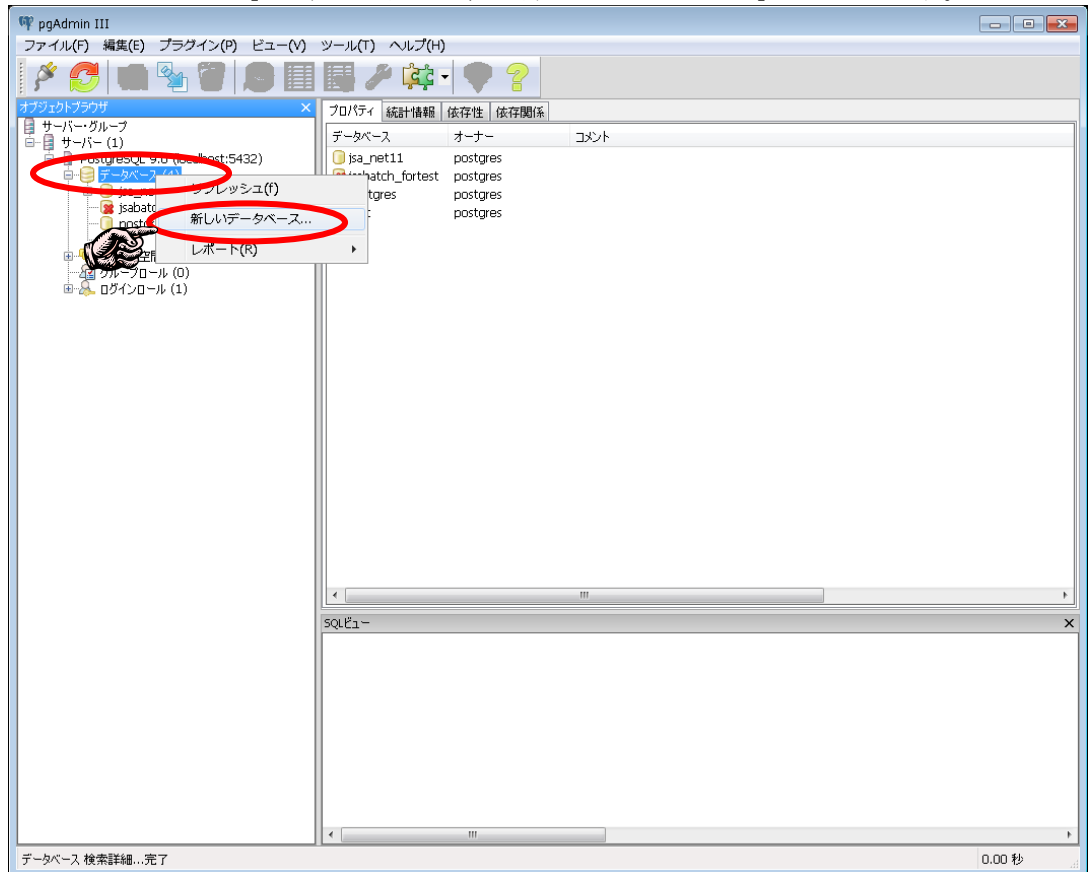
(※ 一旦、既存データベースを削除する必要があります。)



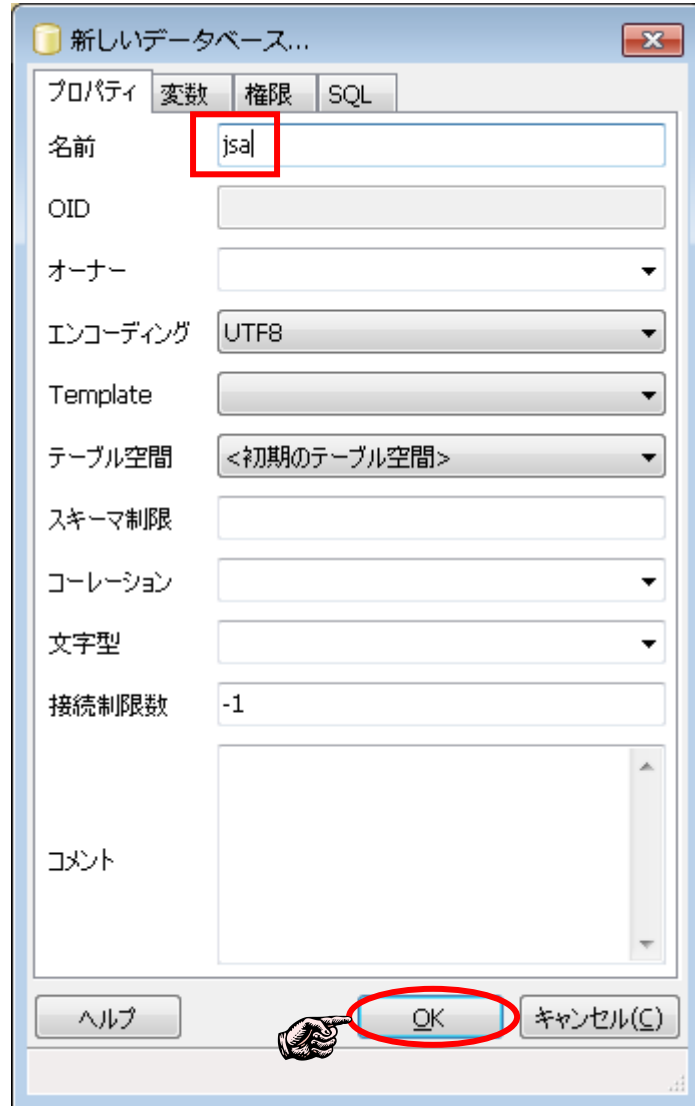
4.1.1(4) 確認メッセージが表示されますので、「はい」ボタンを押します。



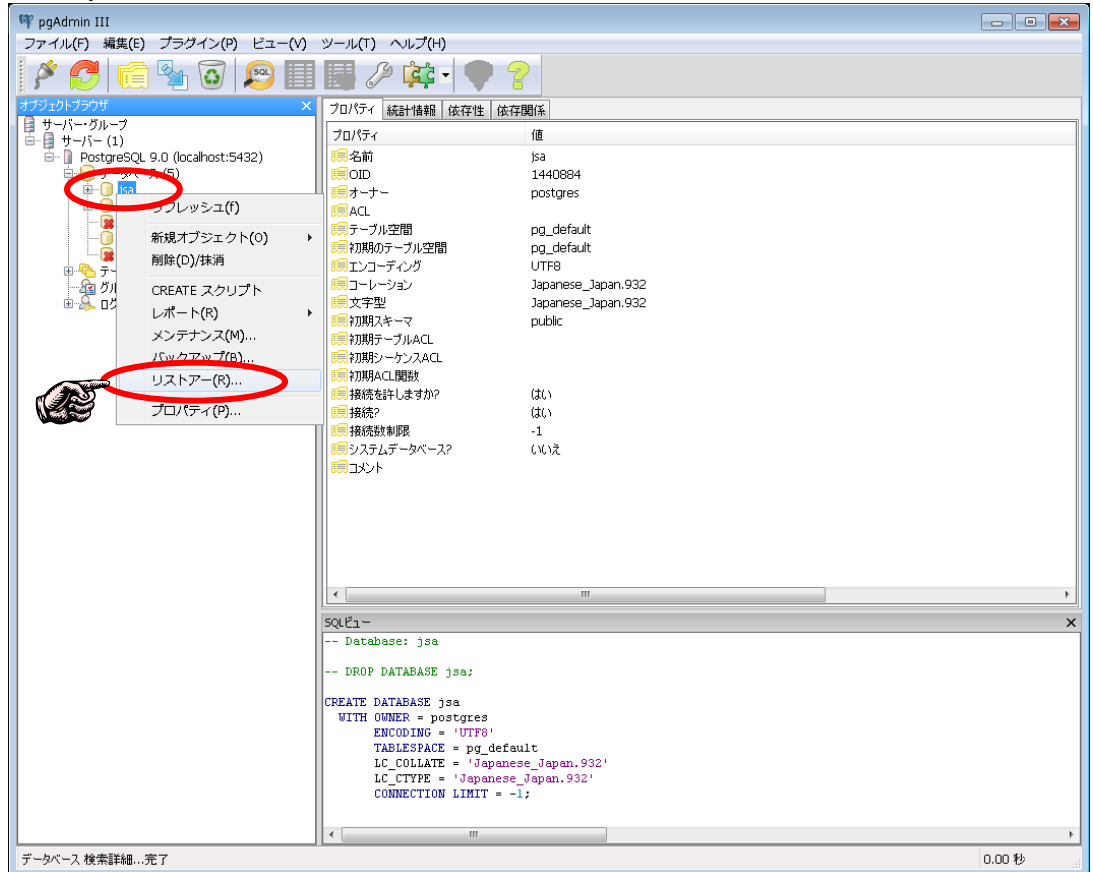
4.1.1(5) 「データベース」を右クリックし、「新しいデータベース」を選択します。



4.1.1(6) 「jsa」と入力して、「OK」ボタンを押します。



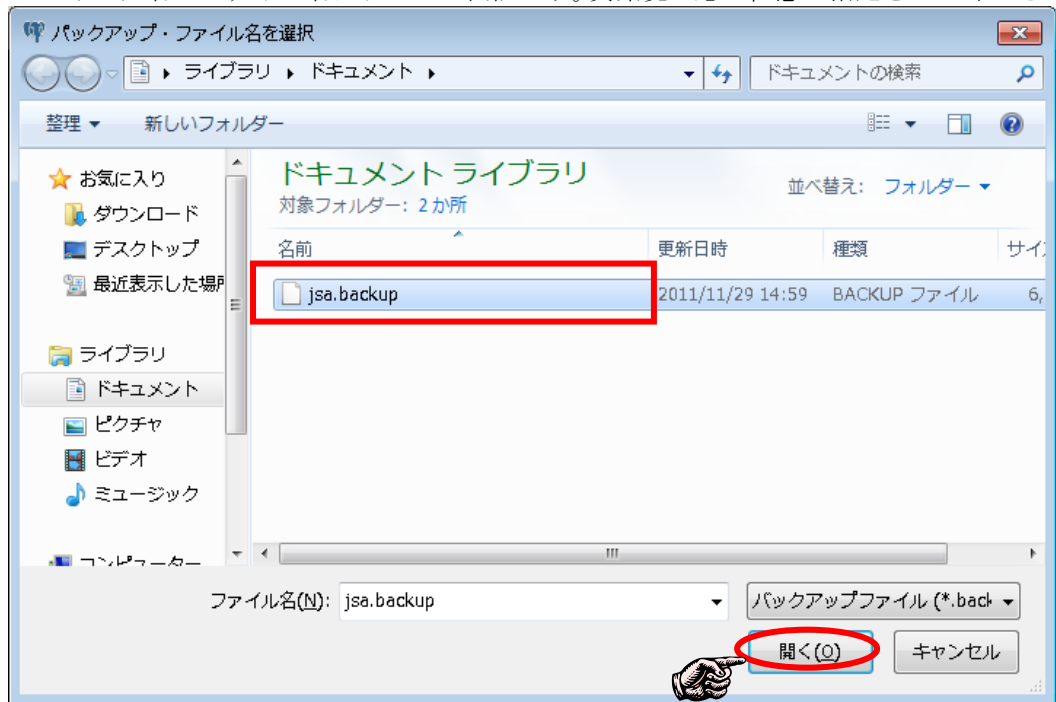
4.1.1(7) 「jsa」を右クリックし、「リストアー」を選択します。



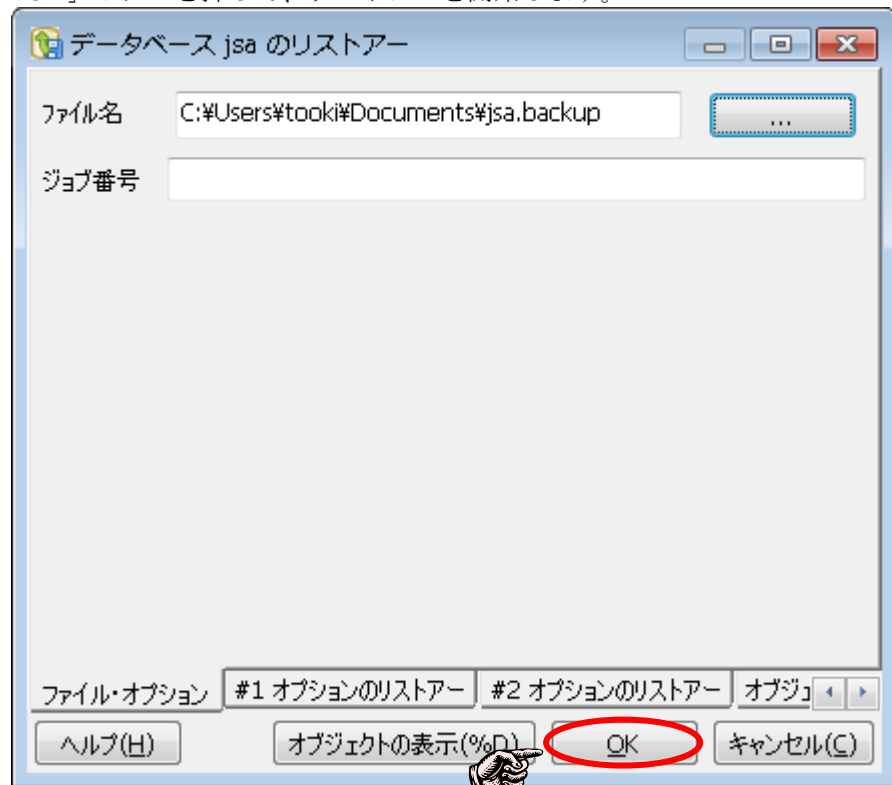
4.1.1(8) 「データベース jsa のリストアー」画面が表示されますので、「...」を押します。



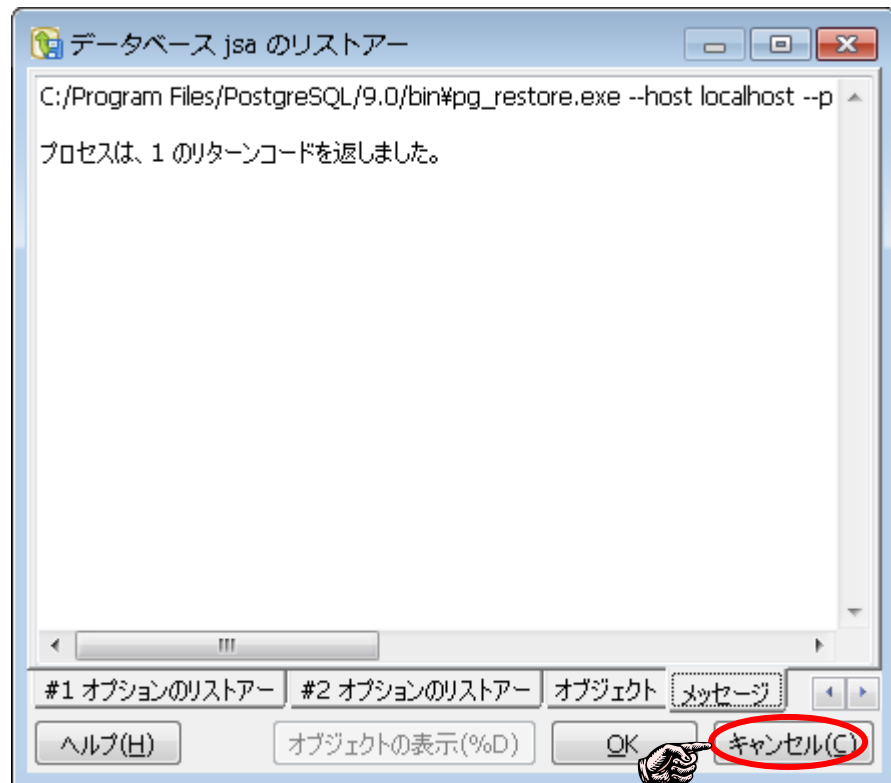
- 4.1.1(9) バックアップ済みのファイルを選択し、「開く」ボタンを押します。（※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。）



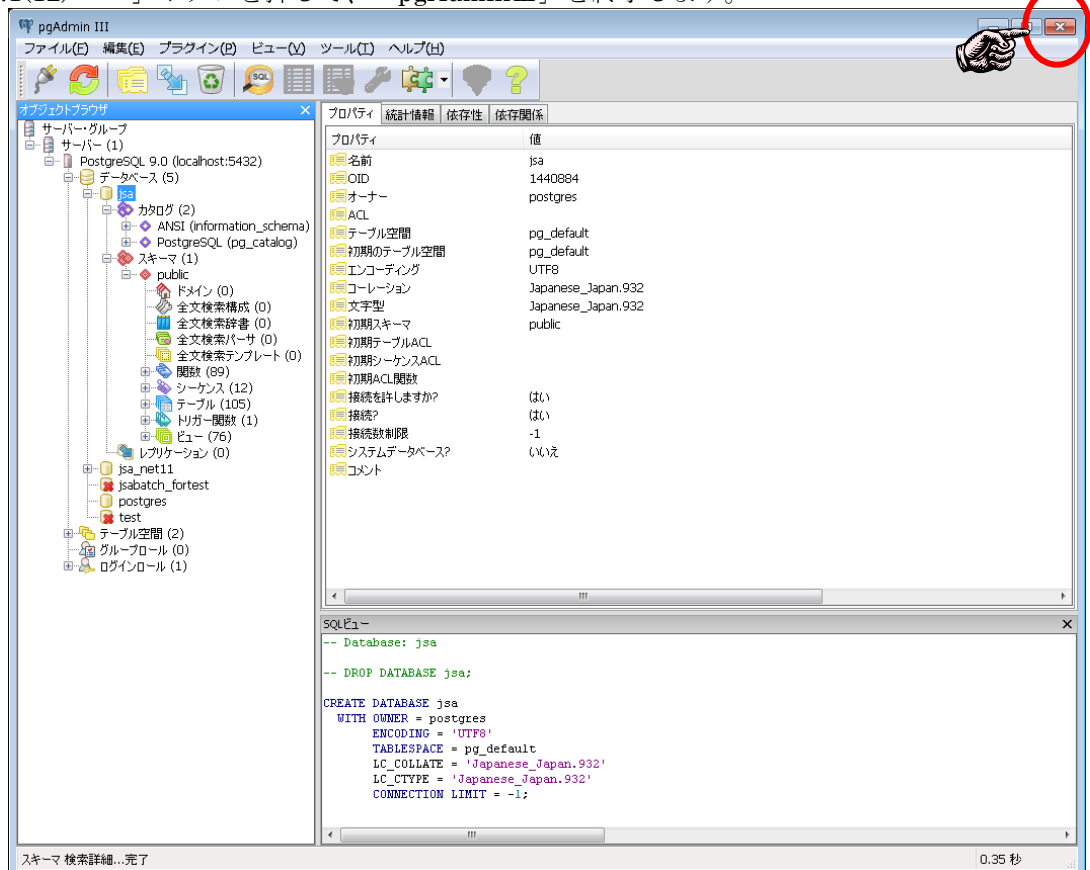
- 4.1.1(10) 「OK」ボタンを押して、リストアーを開始します。



- 4.1.1(11) リストアーが完了すると下記の画面が表示されます。「キャンセル」ボタンを押し、画面を閉じます。



- 4.1.1(12) 「×」ボタンを押して、「pgAdmin III」を終了します。



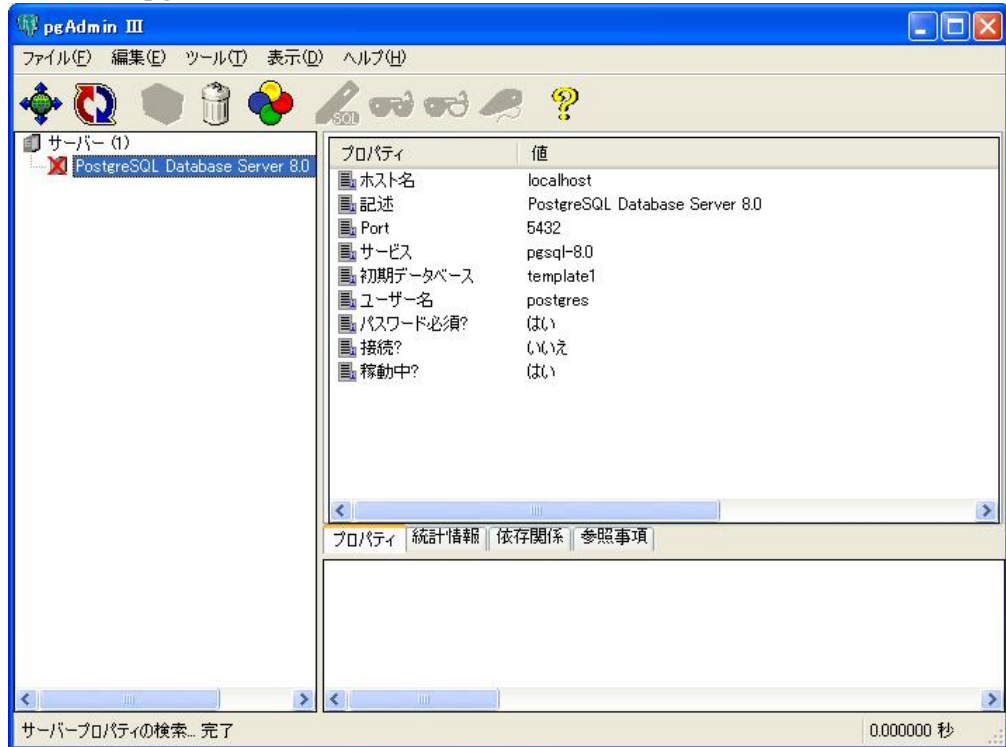
以上で、リストアー作業は完了です。

4.2 Windows2000 , XP(XP Mode 含む), 2003 Server をご使用の場合

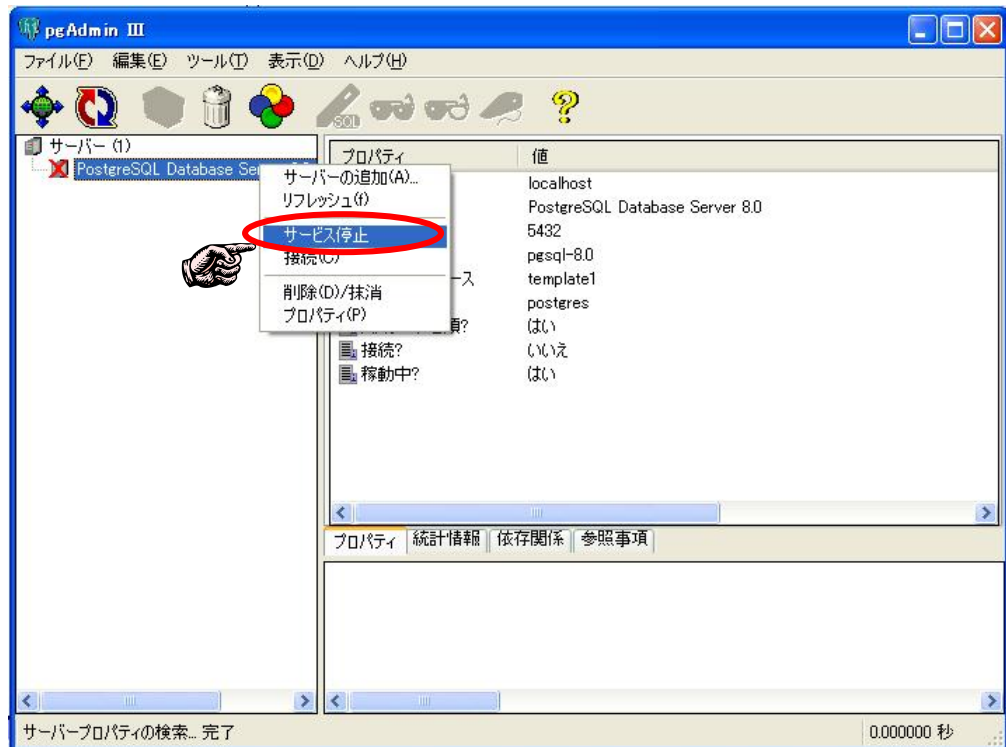
4.2.1(1) 本システムのデータベースがインストールされている PC 上で、以下メニューを選択します。

「スタート」 | 「プログラム」 | 「PostgreSQL 8.0」 | 「pgAdminIII」

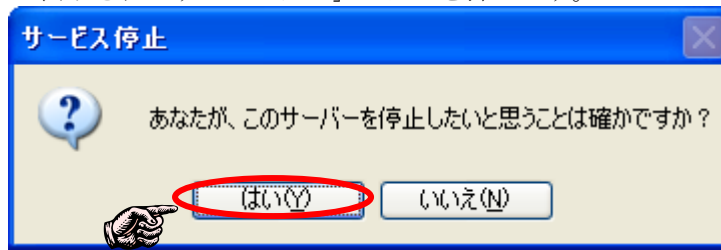
→これにより pgAdmin が起動します。以下の画面が表示されます。



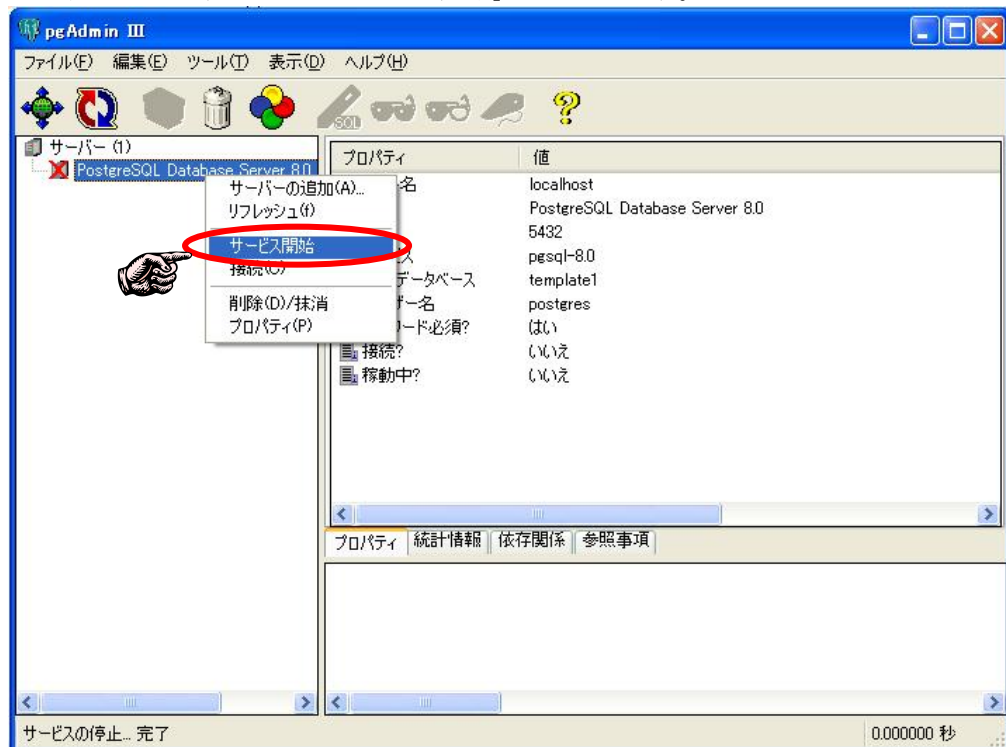
4.2.1(2) 「PostgreSQL Database Server...」 をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「サービスの停止」を選択します。



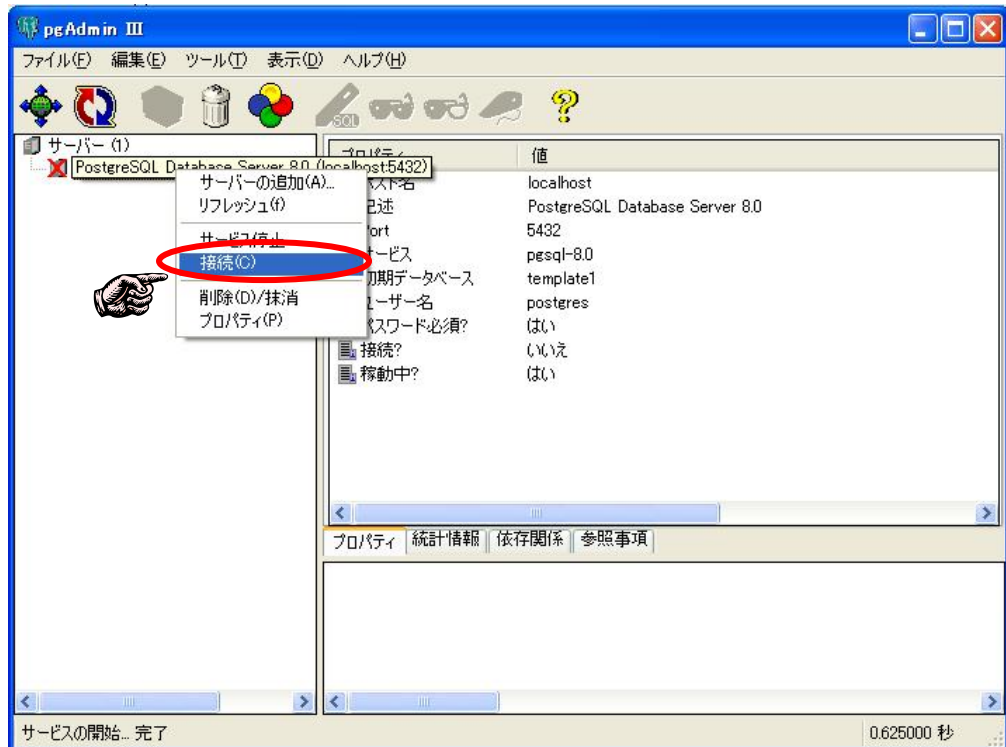
- 4.2.1(3) 確認メッセージ「あなたが、このサーバーを停止したいと思うことは確かですか?」が表示されますので「はい」ボタンを押します。



- 4.2.1(4) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「サービスの開始」を選択します。



- 4.2.1(5) 「PostgreSQL Database Server...」をマウスの右ボタンでクリックします。メニューが表示されますので「接続」を選択します。

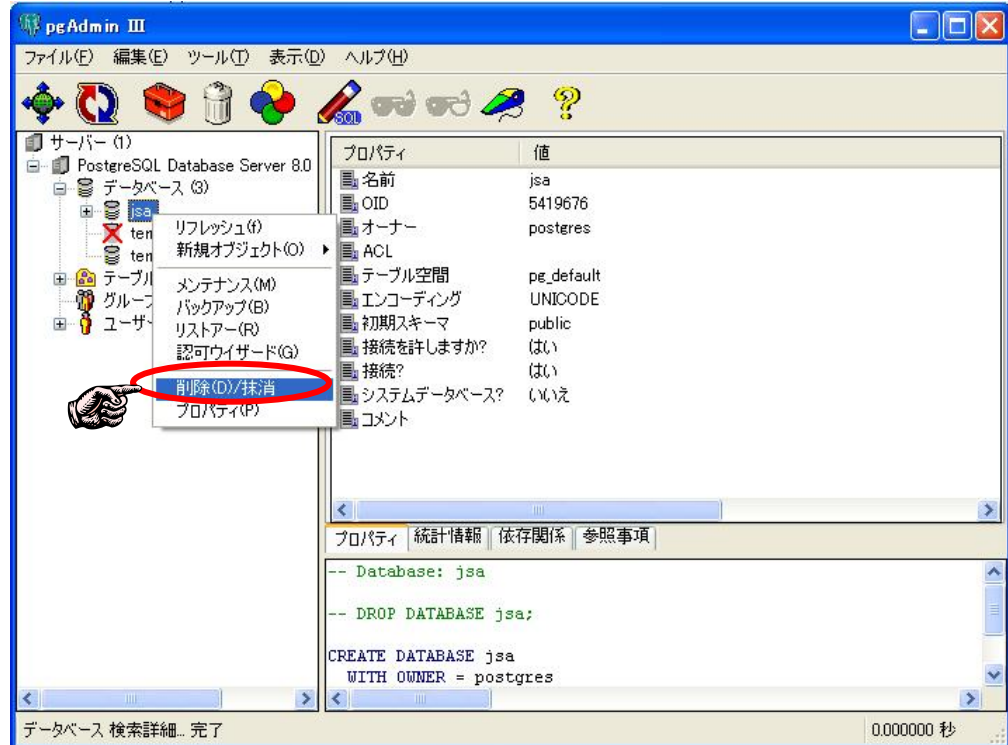


- 4.2.1(6) 「サーバーに接続」画面が表示されますので、<jsa2006>と入力し「OK」ボタンを押します。（入力文字は*文字で表示されます）

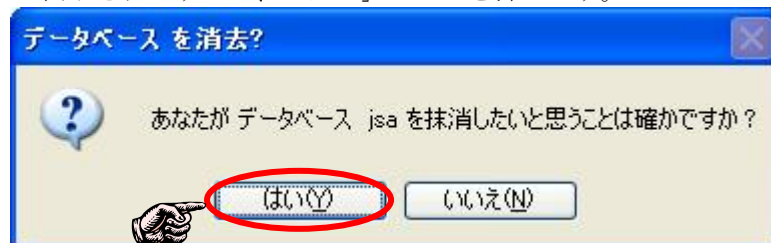


- 4.2.1(7) 「PostgreSQL Database Server...」、「データベース」と順番に「+」マークの部分を選択します。その後、「jsa」を右クリックします。メニューが表示されますので、「削除/抹消」を選択します。

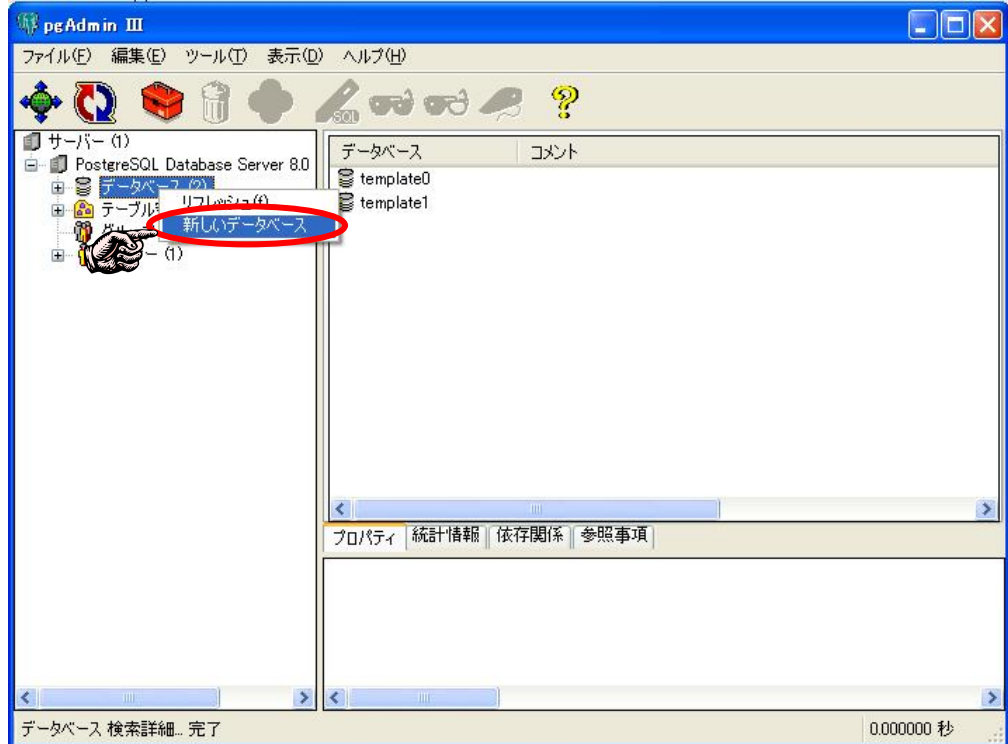
※ 一旦、登録されているデータを削除する必要があります。



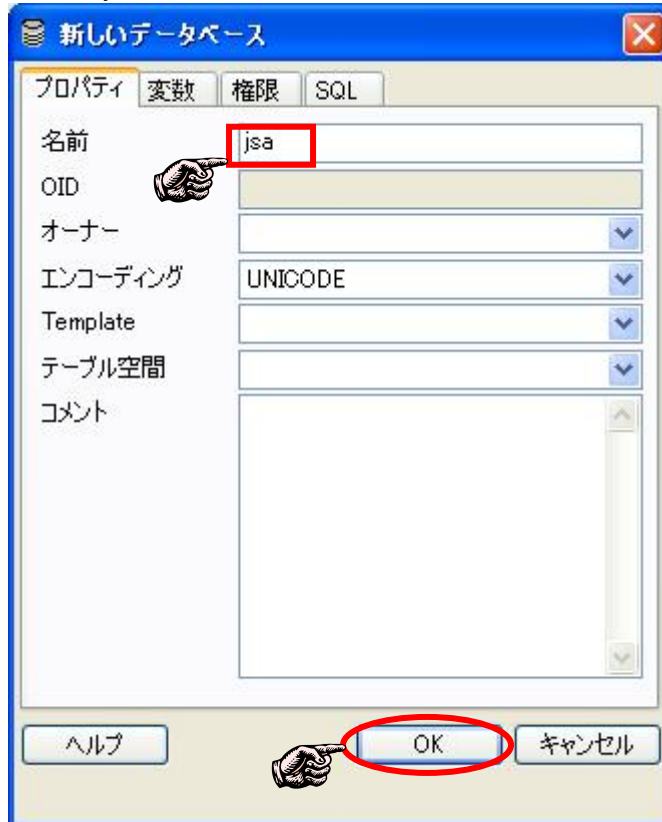
- 4.2.1(8) 確認メッセージ「あなたがデータベース jsa を抹消したいと思うことは確かですか?」が表示されますので、「はい」ボタンを押します。



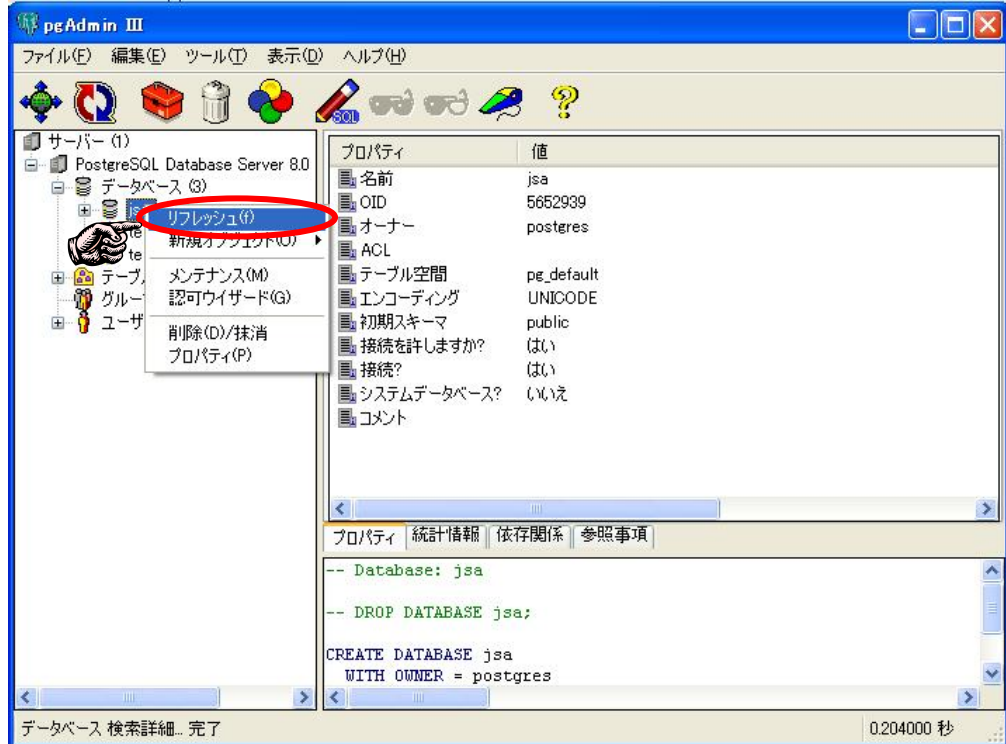
4.2.1(9) 「データベース」を右クリックして、「新しいデータベース」を選択します。



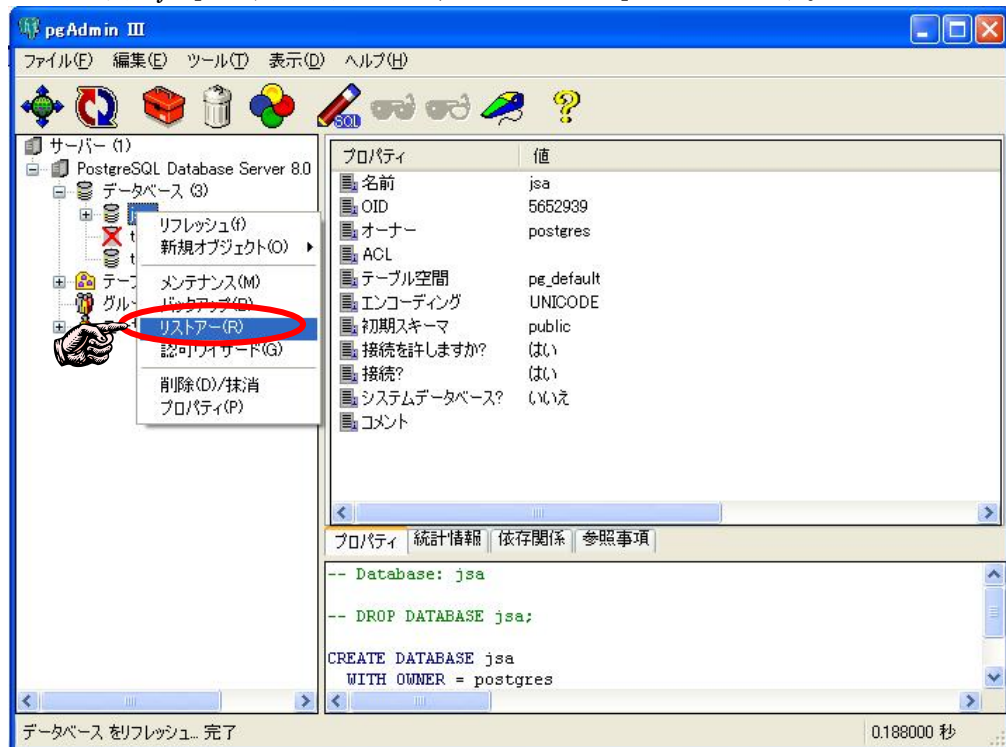
4.2.1(10) 「jsa」と入力して、「OK」ボタンを押します。



4.2.1(11) 新しく作成された「jsa」を右クリックして、「リフレッシュ」を選択します。



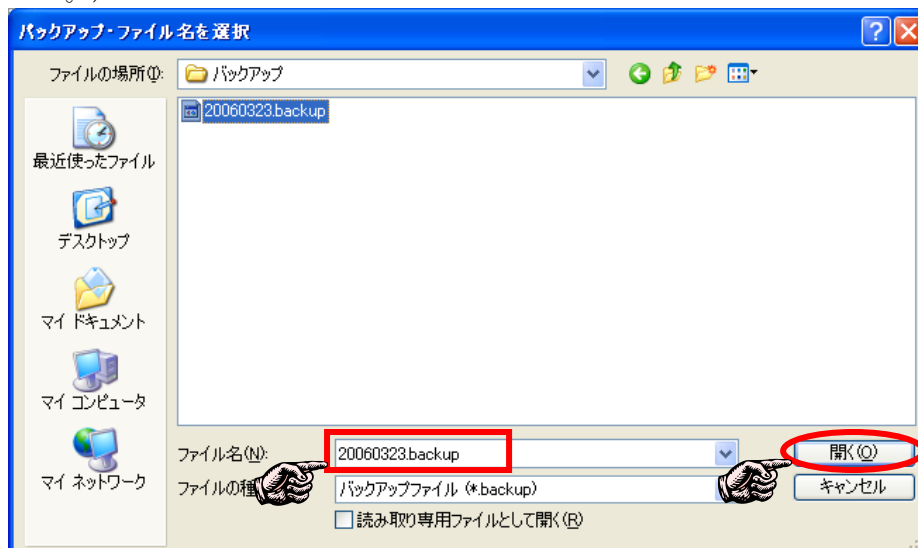
4.2.1(12) 再度「jsa」を右クリックして、「リストアー」を選択します。



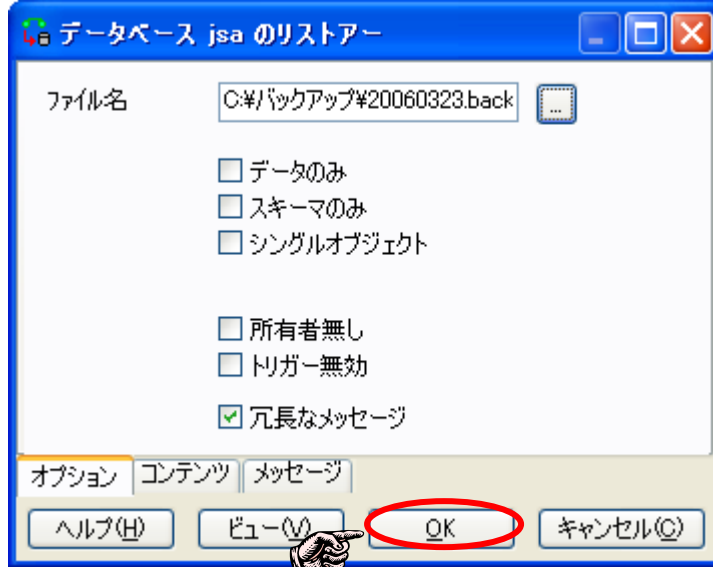
4.2.1(13) 「データベース jsa のリストア」画面が表示されますので、「...」を押します。



4.2.1(14) バックアップしたファイルを選択して、「開く」ボタンを押します。（※画面に表記のフォルダ名とファイル名はサンプル表記です。貴環境に応じ任意に指定をしてください。）



4.2.1(15) 「OK」 ボタンを押して、リストアーを開始します。

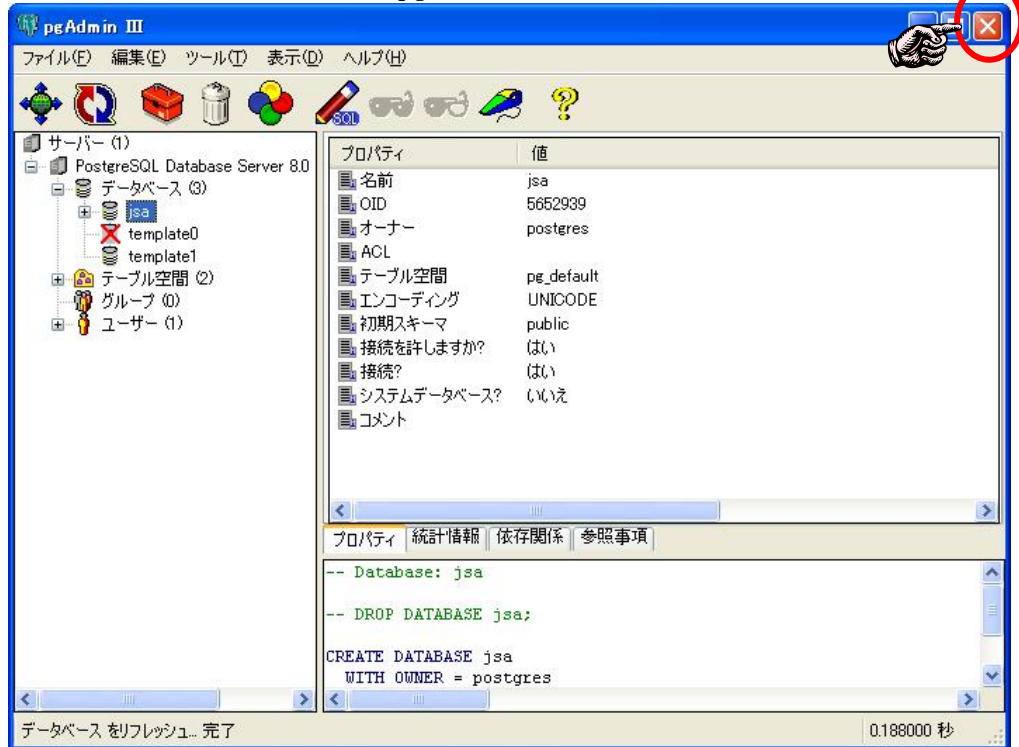


4.2.1(16) 「完了」 ボタンを押して、画面を閉じます。

※ 警告は出ていますが、リストアーは正常に終了しています。



4.2.1(17) 「×」ボタンを押して、「pgAdminIII」を終了します。



以上で、リストア作業は完了です。

5 偶発症例調査 学会提出用ファイルを作成するには

ここでは、偶発症例調査 学会提出用ファイルを作成する方法を説明します。

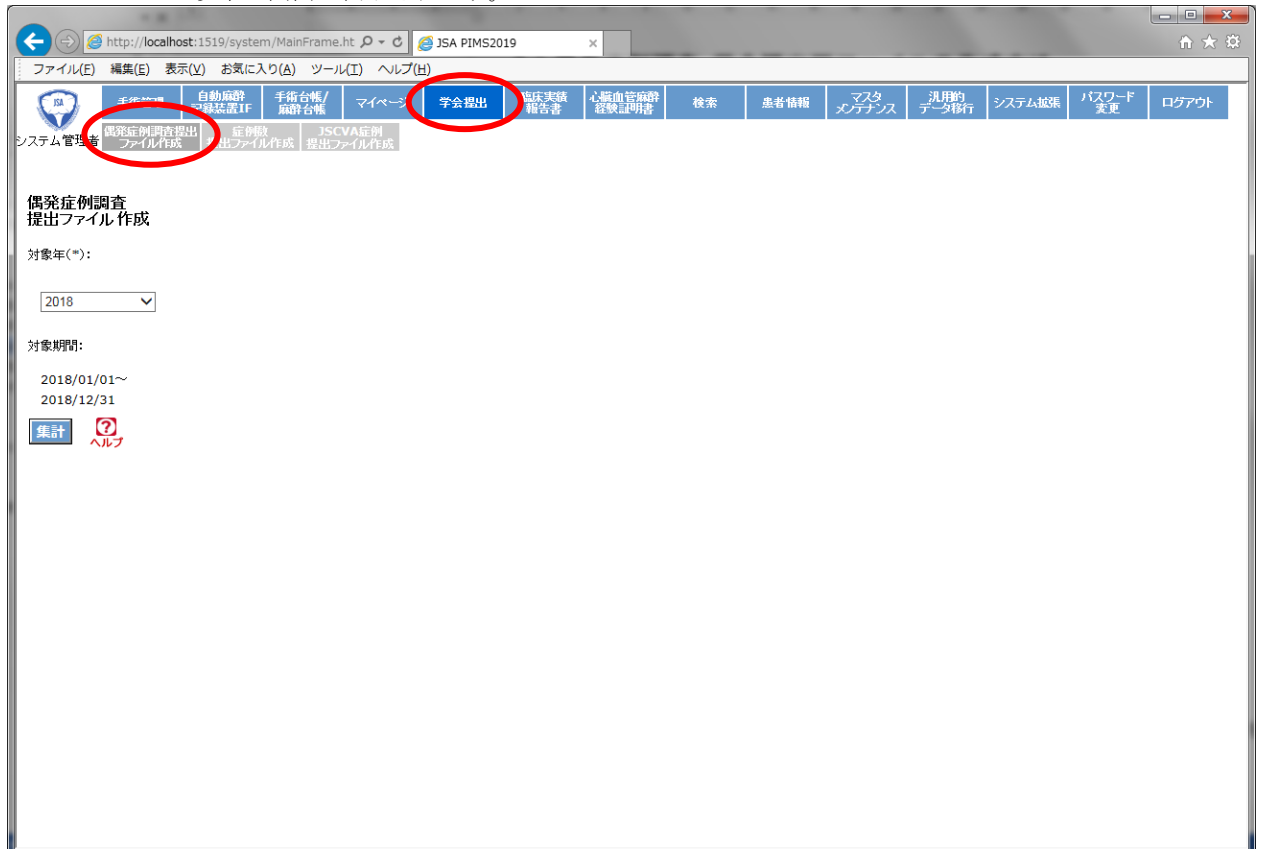
学会提出用ファイルには、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録されており、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]されているデータが含まれます（但し、[手術記録/麻酔台帳登録]画面で[偶発症例調査 学会提出]欄の[匿名化情報であっても提供の停止請求あり]にチェックが入っている症例は除きます）。偶発症例の入力がある症例は、偶発症例も確定されていることが必要です。

5.1 偶発症例調査 学会提出用ファイルの作成方法

5.1.1(1) 「学会提出」 | 「偶発症例調査提出ファイル作成」メニューを選択します。

※同メニューは、システム管理者がログインした場合に、表示されます。

→以下の画面が表示されます。



5.1.1(2) [対象年]を選択し、[集計]ボタンを押します。

ここで、[対象年]は、データの集計対象年を表します。

例えば、2018年(対象期間:2018年1月1日~12月31日)の学会提出ファイルを作成するには、[対象年]に[2018]を選択します。



5.1.1(3) 右側に結果が表示されます。

偶発症例調査
提出ファイル作成

対象年(*):
2018

対象期間:
2018/01/01~
2018/12/31

【合計】

麻酔科症例	39	(うち手術室内 7、手術室外 0)					
提供停止症例数	0						

【ASA PS】

予定1	2	3	4	5	6(臓器抽出を受ける脳死患者が対象)	合計
26	11	0	1	0	0	38

緊急1E	2E	3E	4E	5E	6E(臓器抽出を受ける脳死患者が対象)	合計
1	0	0	0	0	0	1
合計						39

【手術部位】

a. 脳神経・脳血管	b. 胸腔・縦隔	c. 心臓・血管	d. 胸腔+腹部	e. 上腹部内臓	f. 下腹部内臓	g. 帝王切開	h. 頭頸部・咽喉部	i. 四肢	j. その他	合計
7	0	21	3	2	0	3	0	0	0	39

【麻酔法】

	a:全身麻酔(吸入)	b:全身麻酔(TIVA)	c:鎮静	z:なし
1硬膜外麻酔	13	2	0	0
1硬膜外麻酔 + 2脊髄くも膜下麻酔	4	1	0	0
1硬膜外麻酔 + 2脊髄くも膜下麻酔 + 3伝達麻酔	1	1	0	0
1硬膜外麻酔 + 2脊髄くも膜下麻酔 + 3伝達麻酔 + 8その他局麻	1	0	0	0
1硬膜外麻酔 + 2脊髄くも膜下麻酔 + 8その他局麻	0	0	0	0
1硬膜外麻酔 + 3伝達麻酔	0	0	0	0

※全てのデータが確定されています。学会提出用ファイルが作成できます。

メッセージを確認

ここで、画面上部に青字で

【※全てのデータが確定されています。学会提出用ファイルが作成できます。】

と表示されていると、学会提出用ファイルが作成可能です。

この場合、[ファイル作成]ボタンを押します。

※ここで、赤字で

【※未確定データが〇件あります。】

と表示されている場合は、学会提出用ファイルを作成する事はできません。[未確定一覧]ボタンを押し、未確定の麻酔台帳データを確定してください。



参照

「8 麻酔台帳の未確定データを確定するには」を参照してください。

5.1.1(4) 各入力欄を記入し、[ファイル作成]を押します。(入力データはサンプルです)

■施設概要

病院の種類(*)	大学病院
病院の所在地(*)	東京
病床数(*)	222 床
年間手術数(*)	39 例
年間麻酔科管理症例数	39例

■手術室に勤務する麻酔科医
12月第1週(月～金)の1日平均で記入して下さい。
(小数点以下1桁が有効)

常勤専門医(*)	1 人
常勤麻酔科医(*)	2 人
非常勤麻酔科医(*)	3 人
小計	6人
ローテータ(*)	4 人
合計	10人

ファイル作成 閉じる ヘルプ

5.1.1(5) [保存]ボタンを押します。

JSA2019.txt (5.16 KB) localhost

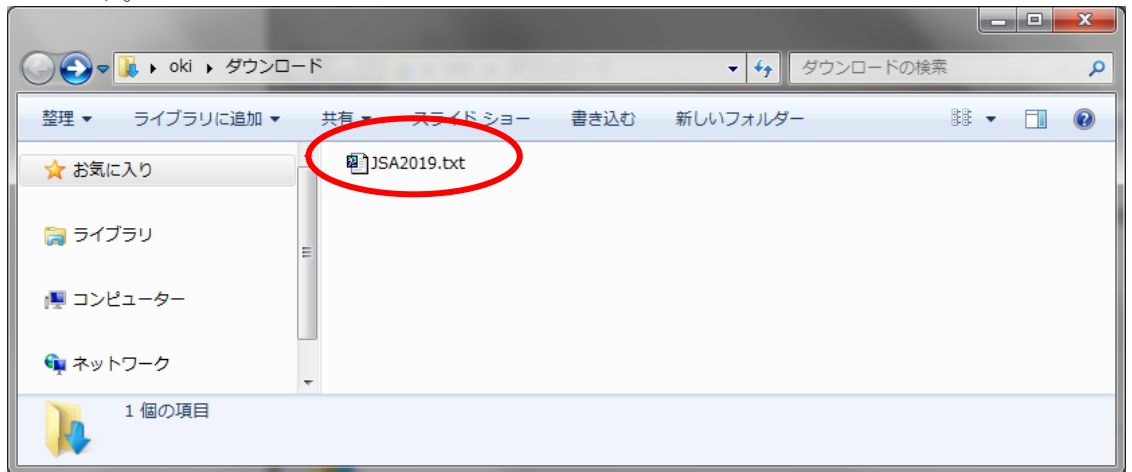
ファイルを開く(O) 保存(S) キャンセル(C)

5.1.1(6) ダウンロードが完了すると、以下の画面を表示されます。[フォルダを開く]を押します。

JSA2019.txt のダウンロードが完了しました。

ファイルを開く(O) フォルダを開く(P) ダ

5.1.1(7) フォルダが開き、偶発症例調査 学会提出用ファイルが作成されていることが確認できます。



このファイルを、CD-R などにコピーし日本麻酔科学会にご提供ください。

※ファイルの内容は人の目にはわからない内容になっております。このファイルは開かずに、そのまま、ご提供ください。

5.1.1(8) [閉じる]を押します。(入力データはサンプルです)

■施設概要

病院の種類(*)	大学病院
病院の所在地(*)	東京
病床数(*)	222 床
年間手術数(*)	39 例
年間麻酔科管理症例数	39例

■手術室に勤務する麻酔科医
12月第1週(月～金)の1日平均で記入して下さい。
(小数点以下1桁が有効)

常勤専門医(*)	1 人
常勤麻酔科医(*)	2 人
非常勤麻酔科医(*)	3 人
小計	6人
ローテータ(*)	4 人
合計	10人

ファイル作成 [閉じる] ? ヘルプ

5.1.1(9) 以下のアラートが表示されます。[OK]を押します。

Web ページからのメッセージ

? 入力した内容がクリアされます。画面を閉じてよろしいですか?

OK キャンセル

以上で、偶発症例調査 学会提出用ファイルの作成は完了です。
(7)項にて作成したファイルを、学会にご提供ください。

5.2 偶発症例調査 学会提出ファイルへの情報提供停止の請求があったことを記録するには

偶発症例調査報告に関して、患者から学会への情報提供停止の請求があった場合には、その請求があったことを記録することができます。その記録をしたデータは偶発症例調査 学会提出ファイルには含まれません。

ここでは、学会への情報提供停止請求があったことを記録する方法を説明します。

※この操作は、管理者のみが行える操作です。

5.2.1(1) [手術台帳/麻酔台帳] | [登録]メニューを選択します。

5.2.1(2) 台帳の検索画面で、提供を停止する麻酔台帳を検索し、[選択] ボタンを押します。

5.2.1(3) 以下の画面が表示されます。[偶発症例調査 学会提出] 欄の[匿名化情報であっても提供の停止請求あり] チェックボックスにチェックを入れます。その後、[確定] もしくは [一時保存] ボタンを押します。

The screenshot shows the '手術台帳/麻酔台帳登録' (Surgical/Anesthesia Record Registration) screen. The '偶発症例調査 学会提出' (Incident Investigation Society Submission) section has a checkbox labeled '匿名化情報であっても提供の停止請求あり ※チェックすると偶発症例調査 学会提出ファイルに症例を含みません' (Even if anonymized information, request for stop of provision. *Checking this will include the case in the incident investigation society submission file). The checkbox is currently unchecked and is highlighted with a red rectangle. Below this, there are fields for patient ID, name, age, and gender.

【患者情報】		患者情報	術前合併症	手術情報	進捗時刻	輸血量	薬剤	術後回診	施設独自項目	全て表示	学会提出項目
◆患者ID(****)	1										
◆患者氏名(****)	患者 1										
◆性別	女性										

6 認定施設/専門医制度 症例数 学会提出用ファイルを作成するには

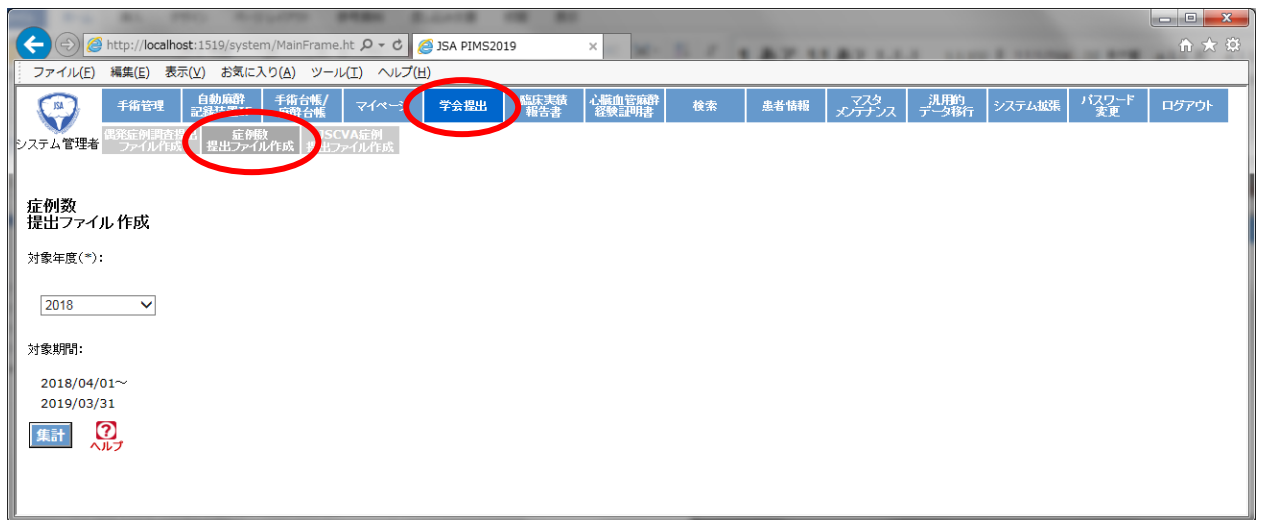
ここでは、認定施設/専門医制度に対応した症例数 学会提出用ファイルを作成する方法を説明します。学会提出用ファイルには、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録されており、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]されているデータが含まれます。(偶発症例の入力がある症例の場合、偶発症例の確定/未確定に関わらず、台帳が確定されている症例が含まれます)

6.1 症例数 学会提出用ファイルの作成方法

6.1.1(1) 「学会提出」 | 「症例数提出ファイル作成」メニューを選択します。

※同メニューは、システム管理者または、職員マスタの登録で、「JSA 研修実施責任者」にチェックが入っている職員がログインした場合に、表示されます。

→以下の画面が表示されます。



6.1.1(2) [対象年度]を選択し、[集計]ボタンを押します。

ここで、[対象年度]は、データの集計対象年度を表します。

例えば、2018年度(対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日)の学会提出ファイルを作成するには、[対象年度]に[2018]を選択します。



6.1.1(3) 症例数 学会提出用ファイルに含まれる情報が、画面右側に表示されます。



6.1.1.(3)(a) [表示選択]①

[施設全体の症例数] を選択すると、麻酔法分類、手術部位分類及び経験必要症例分類毎の施設全体の症例数が、確認できます。

[麻酔科医師別の症例数] を選択した後、下記②欄で担当症例数または指導症例数のいずれかを選択し、③欄で麻酔法分類、手術部位分類及び経験必要症例分類のいずれかを選択することにより、麻酔科医師毎の各症例数が確認できます。



システム管理者

手術管理 自動麻酔記録装置IF 手術台帳/麻酔台帳 マイページ 学会提出 臨床実績報告書 心臓血管麻酔経験証明書 検索 患者情報 マスタメンテナンス 汎用的データ移行 システム振替 パスワード変更 ログアウト

症例数提出ファイル作成

ファイル作成

※全てのデータが確定されています。症例数提出ファイルが作成できます。

未確定一覧

対象年度(*): 2018

対象期間: 2018/04/01~ 2019/03/31

集計 ヘルプ

◆表示選択: 施設全体の症例数 麻酔科医師別の症例数

■施設全体の症例数

【合計】		【麻酔法分類】	
麻酔科管理症例数	42	A.全身麻酔(吸入)	2
		B.全身麻酔(TIVA)	0
		C.全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻	26
		D.全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻	10
		E.脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔(CSEA)	0
		合計	42

【手術部位分類】		【経験必要症例分類】	
10.開頭	7	10.胸部外科	8
15.開胸	0	15.脳神経外科	6
20.心臓・大血管	24	20.心臓血管外科(1群)	10
25.開胸+開腹	3	21.心臓血管外科(2群)	9
30.開腹(除:帝王切開)	2	25.帝王切開	4
35.帝王切開	3	30.小児(6歳未満)	4
		合計	41

ファイル作成

ここで、画面上部に青字で

【※全てのデータが確定されています。症例数提出ファイルが作成できます。】

と表示されていると、症例数学会提出用ファイルが作成可能です。

この場合、[ファイル作成]ボタンを押します。

※ここで、赤字で

【※未確定データが○件あります。】

と表示されている場合は、症例数学会提出用ファイルを作成することはできません。[未確定一覧]ボタンを押し、未確定の麻酔台帳データを確定してください。



参照

「8 麻酔台帳の未確定データを確定するには」を参照してください。

- 6.1.1(4) [ファイル作成] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。(入力データはサンプルです)

■症例数提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、症例数提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 閉じる ヘルプ

■施設情報

日本麻酔科学会認定施設コード

施設名

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数:

	職員コード	氏名	医籍番号	JSA会員番号
<input type="button" value="編集"/>	10	JSCVA 専門医1	333333	
<input type="button" value="編集"/>	11	JSCVA 専門医2	444444	
<input type="button" value="編集"/>	2	麻酔科専 攻医2		
<input type="button" value="編集"/>	4	麻酔科医 師4(指 導医)		
<input type="button" value="編集"/>	5	麻酔科医 師5(指 導医)		
<input type="button" value="編集"/>	9	JSCVA 専攻医2	222222	

6.1.1.(4)(a) ■施設情報

- 日本麻酔科学会認定施設コード
[マスタメンテナンス] | [病院] マスタに登録済みの日本麻酔科学会 (JSA) の認定施設コードが表示されます。ここで入力することもできます。入力した内容は、病院マスタに反映されます。必須入力項目です。
- 施設名
[マスタメンテナンス] | [病院] マスタに登録済みの施設名が表示されます。ここで入力することもできます。入力した内容は、病院マスタに反映されます。必須入力項目です。

6.1.1.(4)(b) ■麻酔科医師情報

[マスタメンテナンス] | [職員] マスタで、医籍番号、JSA 会員番号が未入力 of 麻酔科医師の一覧が表示されます。(職員コード、氏名、医籍番号、JSA 会員番号は、職員マスタで登録済みの情報が表示されます)

ここで、各行の [編集] ボタンを押すと、下記のように医籍番号、JSA 会員番号の入力欄が表示されます。

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

	職員コード	氏名	医籍番号	JSA会員番号
編集	10	JSCVA 専門医1	333333	
編集	11	JSCVA 専門医2 麻酔科専	444444	

↓↓↓ [編集] を押すと、医籍番号、JSA 会員番号の入力欄が表示されます。入力します。

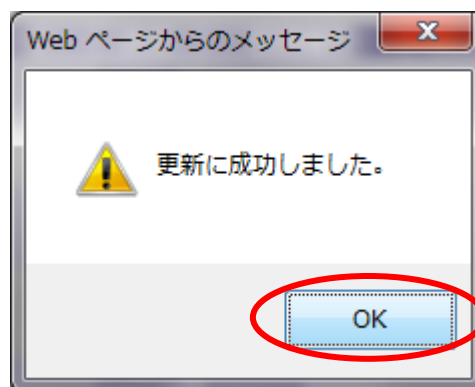
■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

	職員コード	氏名	医籍番号	JSA会員番号
更新 キャンセル	10	JSCVA 専門医1	333333	1234 ×
編集	11	JSCVA 専門医2 麻酔科専	444444	

↓↓↓ 医籍番号、JSA 会員番号を入力後に [更新] ボタンを押します。入力した情報は職員マスタに反映されます。更新が正常に行われると下記のメッセージが表示されます。[OK] を押します。



医籍番号、JSA 会員番号の両方を入力すると、一覧に表示されなくなります。
医籍番号、JSA 会員番号は、入力必須項目ではありませんが、番号を持っている麻酔科医については、必ず入力します。

- 6.1.1(1) 麻酔科医師の医籍番号、JSA 会員番号がすべて入力されると下記の画面のようになります。 [ファイル作成] ボタンを押します。(入力データはサンプルです)

■症例数提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、症例数提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 閉じる ヘルプ

■施設情報

日本麻酔科学会認定施設コード

施設名

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数:

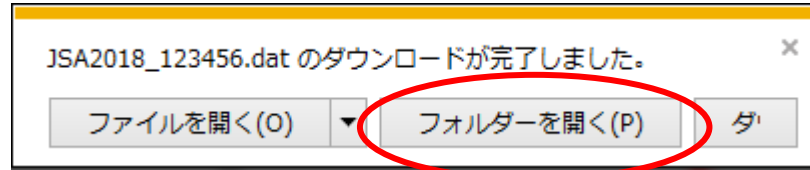
職員コード	氏名	医籍番号	JSA会員番号
< >			

- 6.1.1(2) ファイルが作成され、下記画面が表示されます。[保存]ボタンを押します。

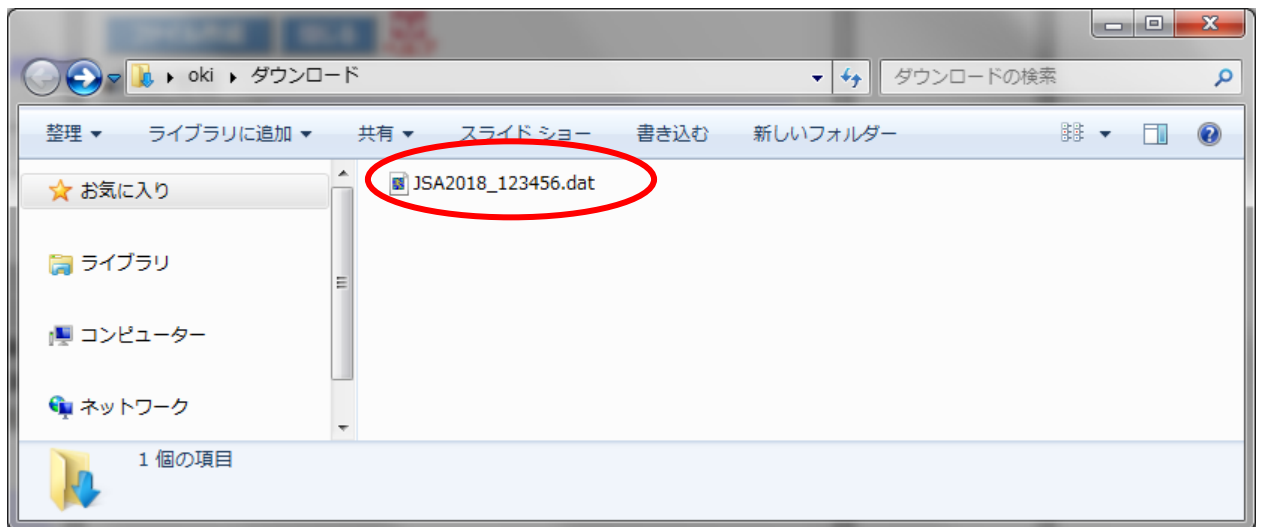
JSA2018_123456.dat (129 KB) localhost

ファイルを開く(O) **保存(S)** キャンセル(C)

6.1.1(3) ダウンロードが完了すると、以下の画面を表示されます。[フォルダを開く]を押します。



6.1.1(4) フォルダが開き、症例数 学会提出用ファイルが作成されていることが確認できます。



このファイルを、**CD-R**などにコピーし日本麻酔科学会にご提供ください。

※ファイルの内容は暗号化されており、人の目にはわからない内容になっております。このファイルは開かずに、そのまま、ご提供ください。

6.1.1(5) [閉じる]を押します。(入力データはサンプルです)

■症例数提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、症例数提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 閉じる ヘルプ

■施設情報

日本麻酔科学会
認定施設コード 123456

施設名 テスト病院

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

職員コード	氏名	医籍番号	JSA会員番号
< >			

http://localhost:1519/casesdocument/CasesDocumentInsert.aspx?yearnm=2018

6.1.1(6) 以下のアラートが表示されます。[OK]を押します。

Web ページからのメッセージ

入力した内容がクリアされます。画面を閉じてよろしいですか?

OK キャンセル

以上で、学会提出用ファイルの作成は完了です。

(7) 項にて作成したファイルを、学会にご提供ください。

7 JSCVA 症例 学会提出用ファイルを作成するには

ここでは、日本心臓血管麻酔学会（JSCVA）に提出する JSCVA 症例 学会提出用ファイルを作成する方法を説明します。

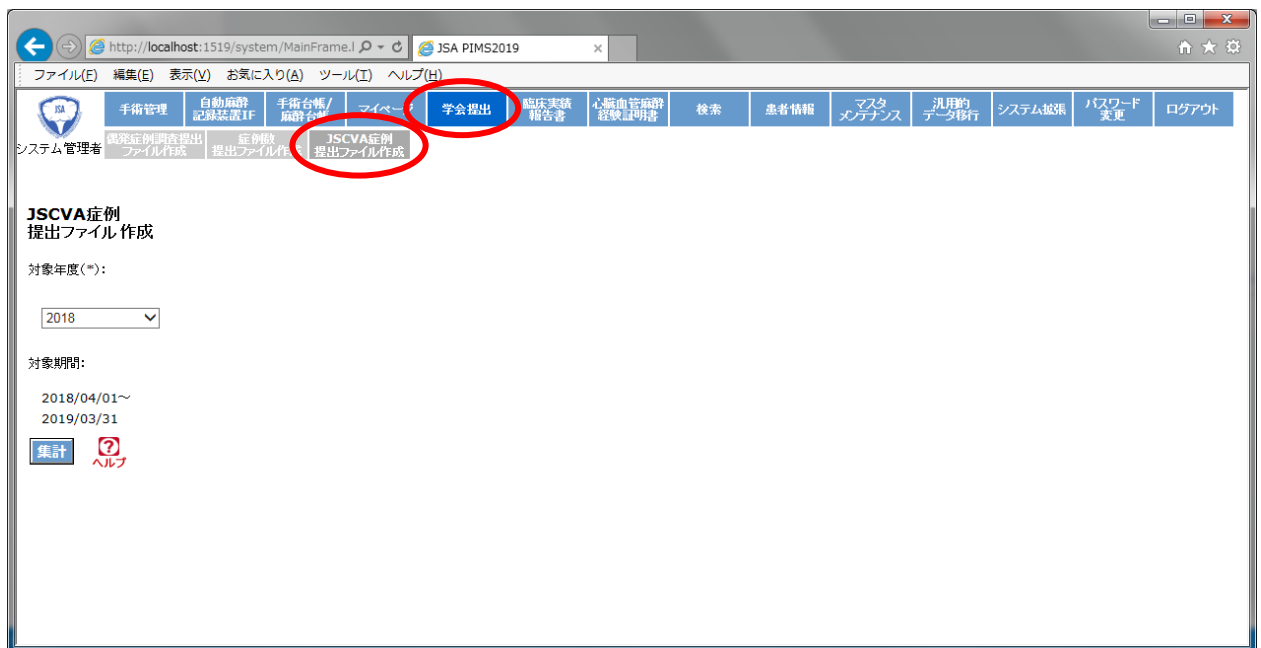
学会提出用ファイルには、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録され、かつ [JSCVA 症例分類] が登録されており、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]されているデータが含まれます。（偶発症例の入力がある症例の場合、偶発症例の確定/未確定に関わらず、台帳が確定されている症例が含まれます）

7.1 JSCVA 症例 学会提出用ファイルの作成方法

7.1.1(1) 「学会提出」 | 「JSCVA 症例提出ファイル作成」メニューを選択します。

※同メニューは、システム管理者または、職員マスタの登録で、「JSCVA 研修実施責任者」にチェックが入っている職員がログインした場合に、表示されます。

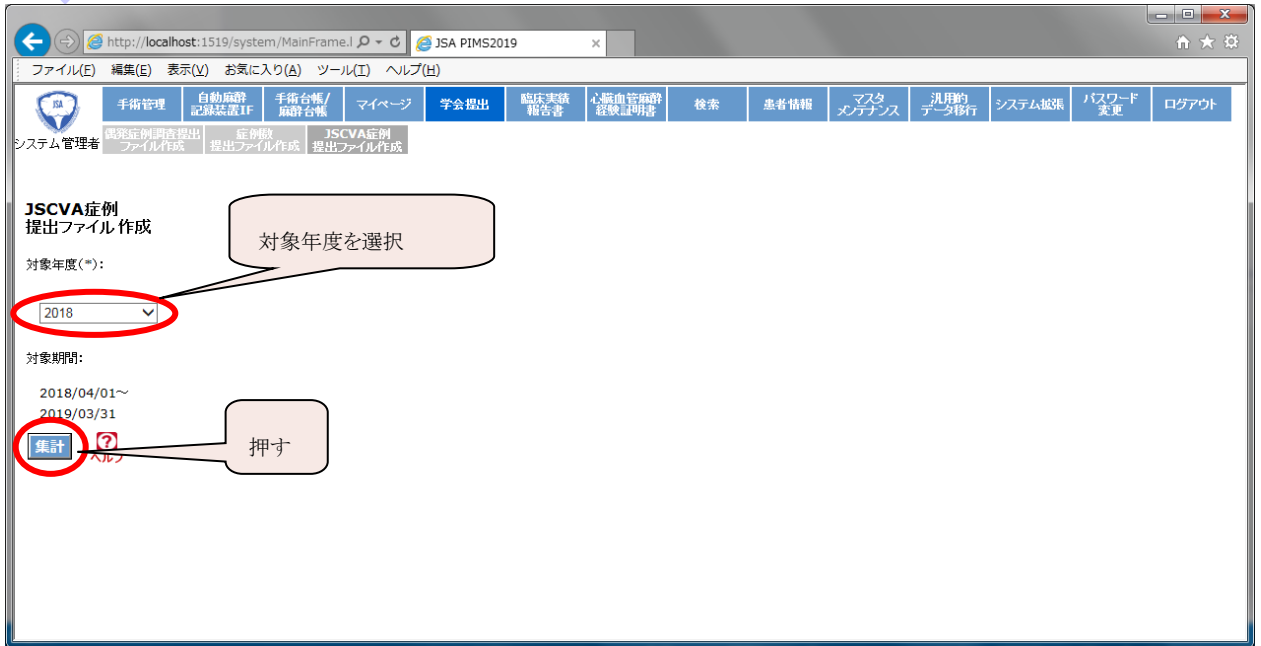
→以下の画面が表示されます。



7.1.1(2) [対象年度]を選択し、[集計]ボタンを押します。

ここで、[対象年度]は、データの集計対象年度を表します。

例えば、2018年度（対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日）の学会提出ファイルを作成するには、[対象年度]に[2018]を選択します。



7.1.1(3) JSCVA 症例 学会提出用ファイルに含まれる情報が、画面右側に表示されます。



7.1.1.(3)(a) [表示選択]①

上記のように「症例数」を選択し、プルダウンで「施設全体」を選択すると、施設全体の JSCVA 症例分類毎の症例数が、確認できます。

下記のように「症例数」を選択し、プルダウンで麻酔科医師のいずれかを選択すると、選択した麻酔科医師の JSCVA 症例分類毎の症例数が、確認できます。



下記のように「症例一覧」を選択し、プルダウンで【施設全体】を選択すると、施設全体の JSCVA 症例の一覧が、確認できます。

このスクリーンショットは、JSCVA 症例の一覧を表示するウェブインターフェースの画面です。左側のメニューには「JSCVA 症例 提出ファイル作成」とあり、右側には「症例一覧」を選択するためのラジオボタンと、施設を選択するためのプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューには「施設全体」が選択されています。下部には症例の詳細な一覧表が表示されています。

施設 症例番号	手術日	患者 年齢	患者 性別	患者 病名	術式	JSCVA症例 大分類	JSCVA症例 小分類	執刀医 氏名	心臓病診 担当医1氏名	心臓病診 担当医2氏名	心臓病診 指導医1氏名	心臓病診 指導医2氏名	入室日時	退室日時	特殊モニタ リング 実施有無	特殊モニタ リング TEE 実施有無	特殊モニタ リング MEP 実施有無		
18007	2018/10/07	44	M	アジアルホシ その他疾病	肺動脈閉鎖症 術後	2	03 心臓病 合併症に 対する 手術	06 経カテ アトミカド 留置術 (TAVI)	07 経カテ アトミカド 留置術 (TAVI)	01 大動脈 弁置換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/10/07 12:09	2018/10/07 23:09	1	0	1
18006	2018/09/06	65	M		1 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/09/06 11:01	2018/09/06 19:00	1	0	0	
18011	2019/02/11	51	F		1 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2019/02/11 16:01	2019/02/11 22:56	0	0	0	
1111	2018/10/02	17	9	1	M	確定病名	術後術式	1 弁置換	01 大動脈 弁置換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/10/02 09:00	2018/10/02 12:30	1	1	1	
18003	2018/06/03	56	F		3 大動脈 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/06/03 10:00	2018/06/03 18:00	0	0	0	
18008	2018/11/08	42	M		5 その他 疾患			14 心移植 術	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/11/08 02:34	2018/11/08 19:00	0	0	0		
18012	2019/03/12	33	M		2 虚血性心 筋症			02 OPCAB	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2019/03/12 01:23	2019/03/12 20:11	1	1	0		
18001	2018/04/01	33	F		1 弁置換			02 僧帽弁置 換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/04/01 10:00	2018/04/01 17:00	1	1	0		

下記のように「症例一覧」を選択し、プルダウンで麻酔科医師のいずれかを選択すると、選択した麻酔科医師の JSCVA 症例の一覧が、確認できます。

このスクリーンショットは、JSCVA 症例の一覧を表示するウェブインターフェースの画面です。左側のメニューには「JSCVA 症例 提出ファイル作成」とあり、右側には「症例一覧」を選択するためのラジオボタンと、麻酔科医師を選択するためのプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューには「JSCVA 専門医 1」が選択されています。下部には症例の詳細な一覧表が表示されています。

施設 症例番号	手術日	患者 年齢	患者 性別	患者 病名	術式	JSCVA症例 大分類	JSCVA症例 小分類	執刀医 氏名	心臓病診 担当医1氏名	心臓病診 担当医2氏名	心臓病診 指導医1氏名	心臓病診 指導医2氏名	入室日時	退室日時	特殊モニタ リング 実施有無	特殊モニタ リング TEE 実施有無	特殊モニタ リング MEP 実施有無		
18007	2018/10/07	44	M	アジアルホシ その他疾病	肺動脈閉鎖症 術後	2	03 心臓病 合併症に 対する 手術	06 経カテ アトミカド 留置術 (TAVI)	07 経カテ アトミカド 留置術 (TAVI)	01 大動脈 弁置換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/10/07 12:09	2018/10/07 23:09	1	0	1
18006	2018/09/06	65	M		1 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/09/06 11:01	2018/09/06 19:00	1	0	0	
18011	2019/02/11	51	F		1 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2019/02/11 16:01	2019/02/11 22:56	0	0	0	
1111	2018/10/02	17	9	1	M	確定病名	術後術式	1 弁置換	01 大動脈 弁置換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/10/02 09:00	2018/10/02 12:30	1	1	1	
18003	2018/06/03	56	F		3 大動脈 弁置換			JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/06/03 10:00	2018/06/03 18:00	0	0	0	
18008	2018/11/08	42	M		5 その他 疾患			14 心移植 術	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/11/08 02:34	2018/11/08 19:00	0	0	0		
18012	2019/03/12	33	M		2 虚血性心 筋症			02 OPCAB	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2019/03/12 01:23	2019/03/12 20:11	1	1	0		
18001	2018/04/01	33	F		1 弁置換			02 僧帽弁置 換	JSCVA専攻 医1	JSCVA専攻 医2	JSCVA専門 医1	JSCVA専門 医2	2018/04/01 10:00	2018/04/01 17:00	1	1	0		

ここで、画面上部に青字で

【※全てのデータが確定されています。JSCVA 症例提出ファイルが作成できます。】

と表示されていると、JSCVA 症例 学会提出用ファイルが作成可能です。

この場合、[ファイル作成]ボタンを押します。

※ここで、赤字で

【※未確定データが○件あります。】

と表示されている場合は、JSCVA 症例 学会提出用ファイルを作成する事はできません。

[未確定一覧]ボタンを押し、未確定の麻酔台帳データを確定してください。



参照

「8 麻酔台帳の未確定データを確定するには」を参照してください。

7.1.1(4) [ファイル作成] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。(入力データはサンプルです)

■JSCVA症例提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSCVA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、JSCVA症例提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 **閉じる** **ヘルプ**

■施設情報

JSCVA 認定施設コード	567890
JSA 認定施設コード	123456
施設名	テスト病院

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSCVA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSCVA会員番号を入力してください。

表示件数 : 30 ▼

	職員コード	氏名	医籍番号	JSCVA会員番号
編集	1	麻酔科専攻医1	123456	

< >

7.1.1.(4)(a) ■施設情報

- JSCVA 認定施設コード
[マスタメンテナンス] | [病院] マスタに登録済みの日本心臓血管麻酔学会 (JSCVA) の認定施設コードが表示されます。ここで入力することもできます。入力した内容は、病院マスタに反映されます。必須入力項目です。
- JSA 認定施設コード
[マスタメンテナンス] | [病院] マスタに登録済みの日本麻酔科学会 (JSA) の認定施設コードが表示されます。ここで入力することもできます。入力した内容は、病院マスタに反映されます。必須入力項目です。
- 施設名
[マスタメンテナンス] | [病院] マスタに登録済みの施設名が表示されます。ここで入力することもできます。入力した内容は、病院マスタに反映されます。必須入力項目です。

7.1.1.(4)(b) ■麻酔科医師情報

[マスタメンテナンス] | [職員] マスタで、医籍番号、JSCVA 会員番号が未入力 of 麻酔科医師の一覧が表示されます。(職員コード、氏名、医籍番号、JSCVA 会員番号は、職員マスタで登録済みの情報が表示されます)

ここで、各行の [編集] ボタンを押すと、下記のように医籍番号、JSCVA 会員番号の入力欄が表示されます。

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSCVA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSCVA会員番号を入力してください。

表示件数 : 30

	職員コード	氏名	医籍番号	JSCVA会員番号
編集	1	麻酔科専攻医1	123456	

↓↓↓ [編集] を押すと、医籍番号、JSA 会員番号の入力欄が表示されます。入力します。

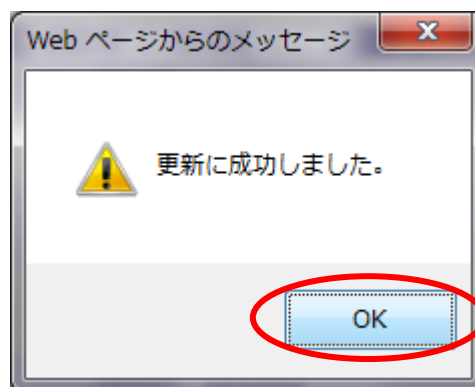
■麻酔科医師情報

医籍番号、JSCVA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSCVA会員番号を入力してください。

表示件数 : 30

	職員コード	氏名	医籍番号	JSCVA会員番号
更新 キャンセル	1	麻酔科専攻医1	123456	

↓↓↓ 医籍番号、JSCVA 会員番号を入力後に [更新] ボタンを押します。入力した情報は職員マスタに反映されます。更新が正常に行われると下記のメッセージが表示されます。 [OK] を押します。



医籍番号、JSCVA 会員番号の両方を入力すると、一覧に表示されなくなります。
医籍番号、JSCVA 会員番号は、入力必須項目ではありませんが、番号を持っている麻酔科医については、必ず入力します。

- 7.1.1(5) 麻酔科医師の医籍番号、JSCVA 会員番号がすべて入力されると下記の画面のようになります。[ファイル作成] ボタンを押します。(入力データはサンプルです)

■JSCVA症例提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSCVA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、JSCVA症例提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 | 閉じる | ヘルプ

■施設情報

JSCVA 認定施設コード: 567890

JSA 認定施設コード: 123456

施設名: テスト病院

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSCVA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。編集ボタンを押し、医籍番号、JSCVA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

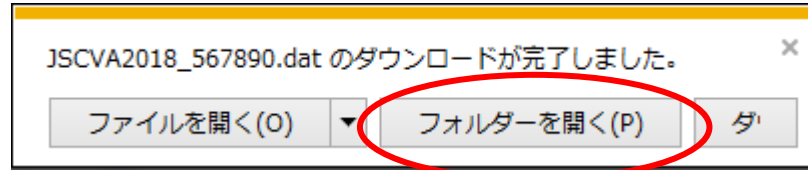
職員コード	氏名	医籍番号	JSCVA会員番号
< >			

- 7.1.1(6) ファイルが作成され、下記画面が表示されます。[保存]ボタンを押します。

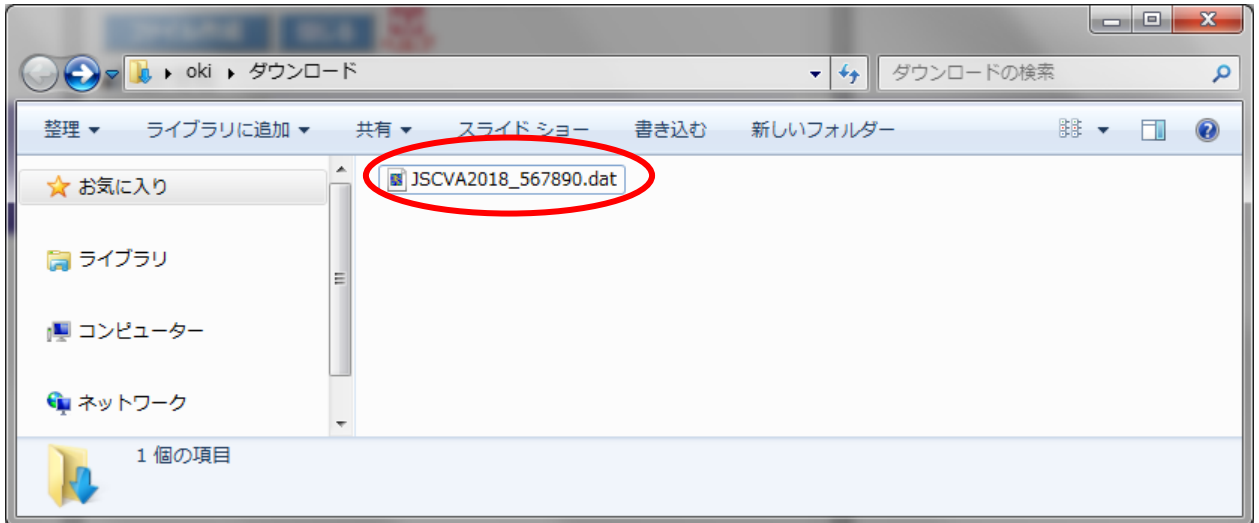
JSCVA2018_567890.dat (36.8 KB) localhost

ファイルを開く(O) | **保存(S)** | キャンセル(C)

7.1.1(7) ダウンロードが完了すると、以下の画面を表示されます。[フォルダを開く]を押します。



7.1.1(8) フォルダが開き、JSCVA 症例 学会提出用ファイルが作成されていることが確認できます。



このファイルを、CD-R などにコピーし日本麻酔科学会にご提供ください。

※ファイルの内容は暗号化されており、人の目にはわからない内容になっております。このファイルは開かずに、そのまま、ご提供ください。

7.1.1(9) [閉じる]を押します。(入力データはサンプルです)

7.1.1(10) 以下のアラートが表示されます。[OK]を押します。

以上で、学会提出用ファイルの作成は完了です。
(7)項にて作成したファイルを、学会にご提供ください。

8 麻酔台帳の未確定データを確定するには

麻酔台帳に未確定データがある場合は、各学会提出用ファイルは作成できません。
ここでは、各学会用提出ファイルの作成をするために、未確定データを確定する方法を説明します。
例として、偶発症例調査 学会提出ファイル作成の場合の例で説明します。他の学会提出ファイルの場合も操作は同様です。

8.1.1(1) 「未確定一覧」を押します。

The screenshot shows the '偶発症例調査 提出ファイル作成' screen. The '未確定一覧' button is circled in red. The screen displays the following information:

対象年(*):
2018

対象期間:
2018/01/01~
2018/12/31

【合計】
麻酔科症例 37 (うち手術室内 7、手術室外 0)
提供停止症例数 0

【ASA PS】

予定1	2	3	4	5	6(臓器抽出を受ける脳死患者が対象)	合計
26	10	0	0	0	0	36

緊急1E 2E 3E 4E 5E 6E(臓器抽出を受ける脳死患者が対象) 合計

1	0	0	0	0	0	1
合計						37

【手術部位】

a. 脳神経・脳血管	6 h. 頭頸部・咽喉部	0
b. 胸腔・縦隔	0 k. 胸壁・腹壁・会陰	0
c. 心臓・血管	21 m. 脊椎	0
d. 胸腔+腹部	3 n. 股関節・四肢(含:末梢神経)	0
e. 上腹部内臓	2 p. 検査	0
f. 下腹部内臓	0 x. その他	2

8.1.1(2) 麻酔台帳の未確定データの一覧が表示されます。「一括確定」ボタンを押します。

The screenshot shows the '未確定一覧' table. The '一括確定' button is circled in red. The table displays the following data:

表示件数: 30 ■ 未確定一覧

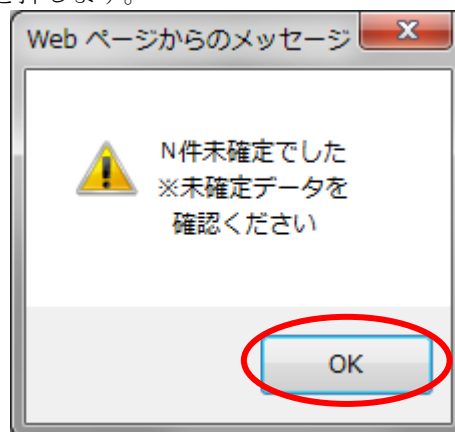
確定済/未確定	症例番号	患者氏名	麻酔開始日時(又は手術開始)	麻酔終了日時	手術室	科名	術式名	疾病名	予定人数
選択 未確定	y2 v2		2018/09/05 01:11						
選択 未確定	d2 d2		2018/09/04 01:11						

- 8.1.1(3) ここで、次に、「N件確定されました」（※Nは実際に確定された件数）と表示された場合、すべてのデータが確定されたことを表します。[OK] ボタンを押します。



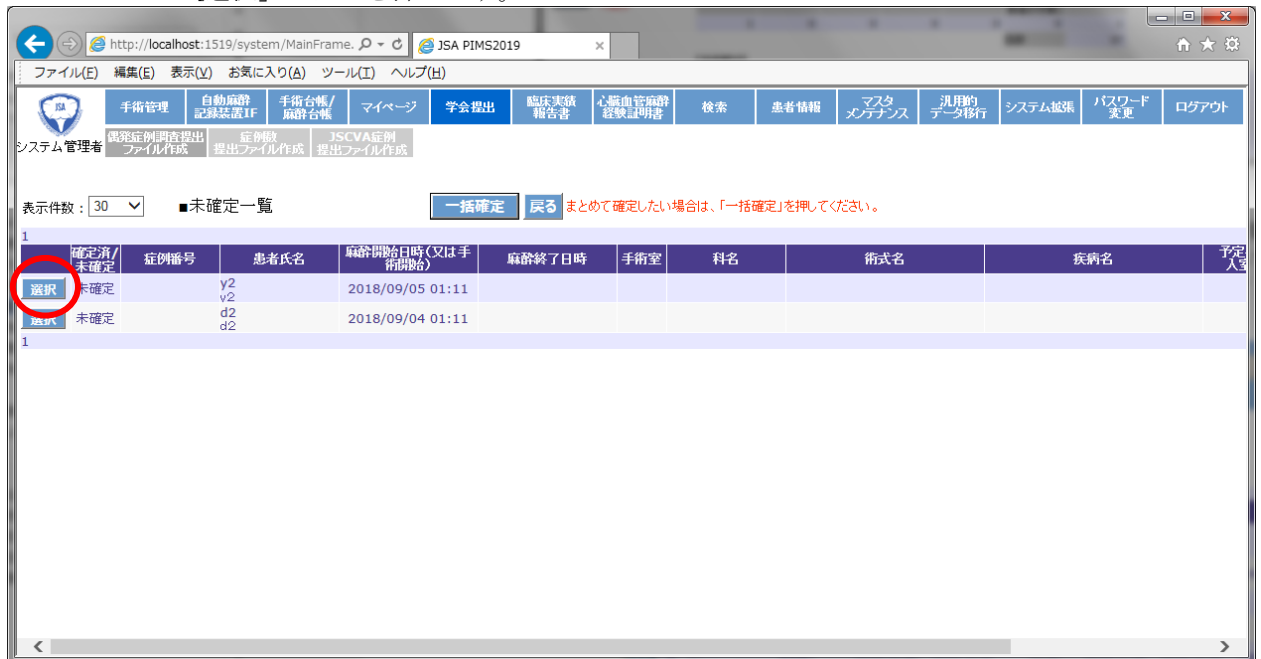
この後、(7)に進みます。

- 8.1.1(4) ここで、次に、「N件未確定でした」（※Nは実際の未確定件数）と表示された場合、確定に必要な情報が入力されていないため、確定ができなかったことを表します。[OK] ボタンを押します。

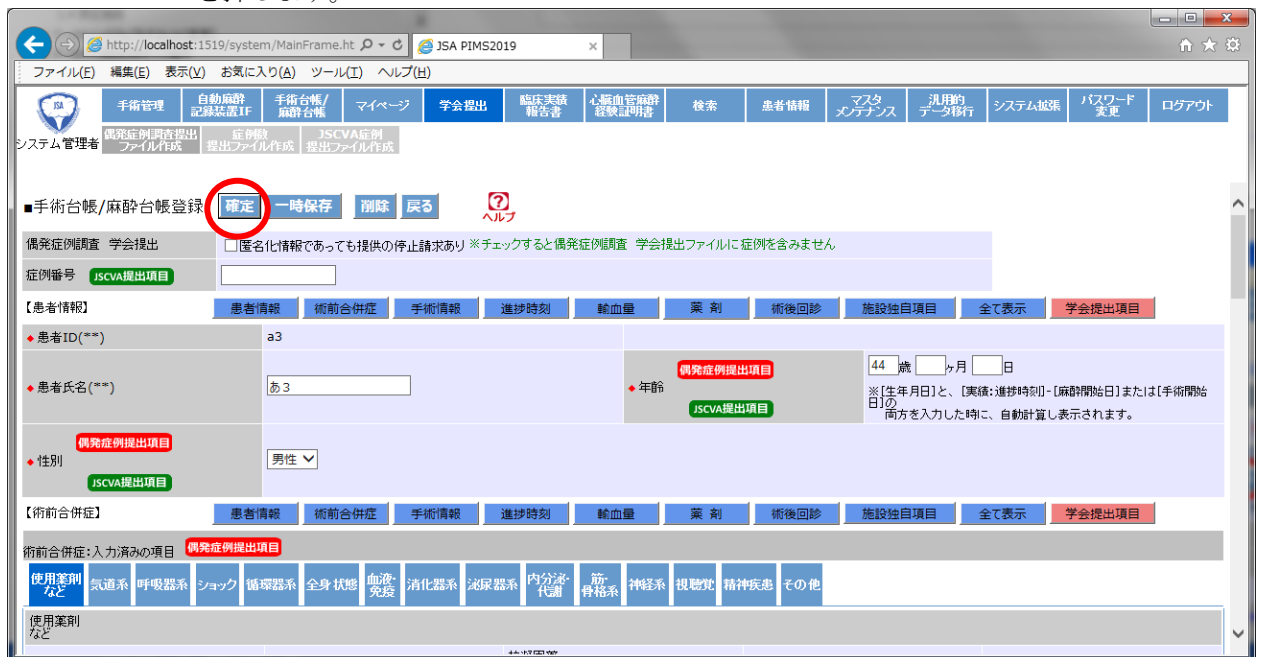


この後、(5)に進みます。

8.1.1(5) この場合、1 症例ずつ台帳画面を開き、入力が不足している箇所を入力し、確定します。
[選択] ボタンを押します。

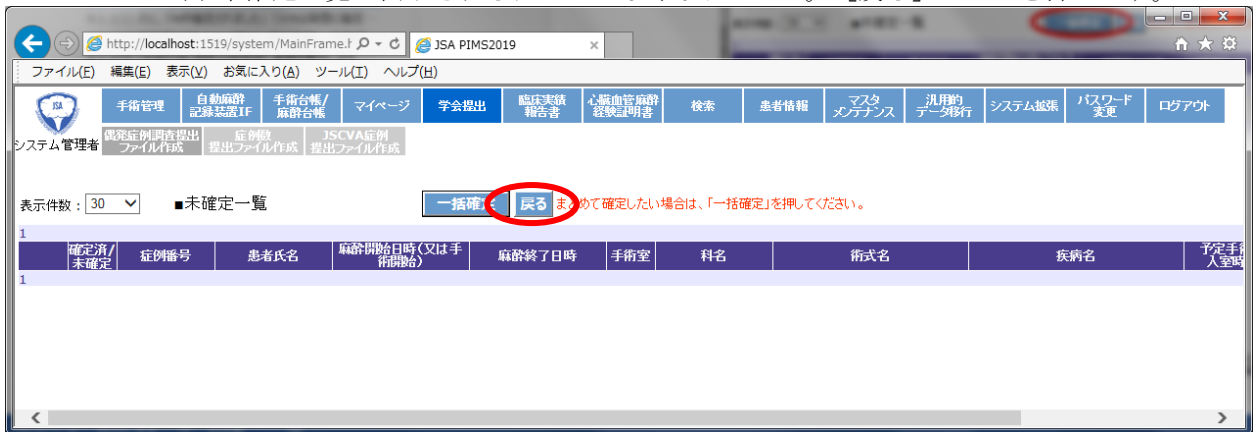


8.1.1(6) [手術記録/麻酔台帳登録] 画面を表示します。本画面で必須項目を入力した後、[確定] を押します。



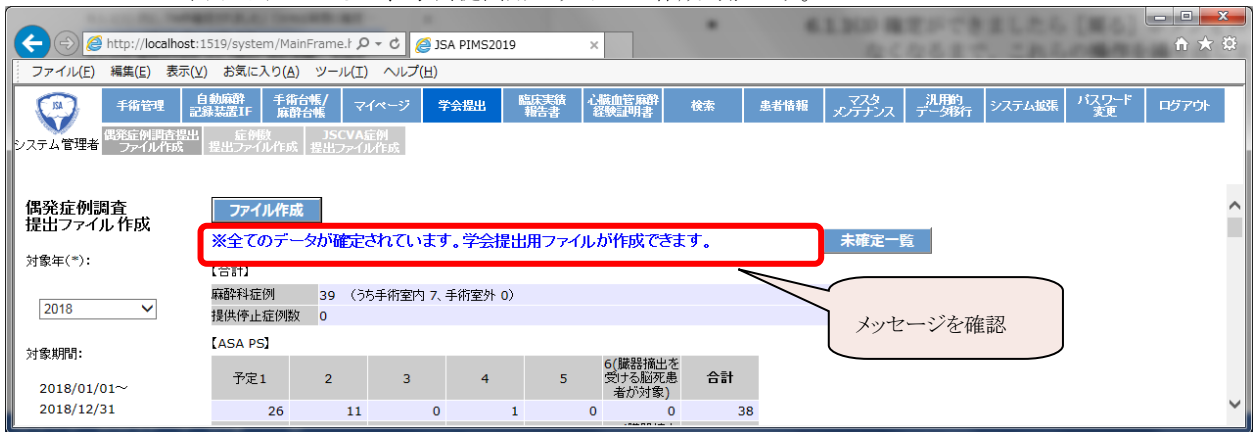
未確定一覧に表示されるデータがなくなるまで、(5),(6)の操作を繰り返します。

8.1.1(7) 未確定一覧に表示されるデータがなくなりました。[戻る] ボタンを押します。



8.1.1(8) 画面上部に青字で

[※全てのデータが確定されています。学会提出用ファイルが作成できます。]
と表示されていると、学会提出用ファイルが作成可能です。



9 麻酔台帳を削除するには

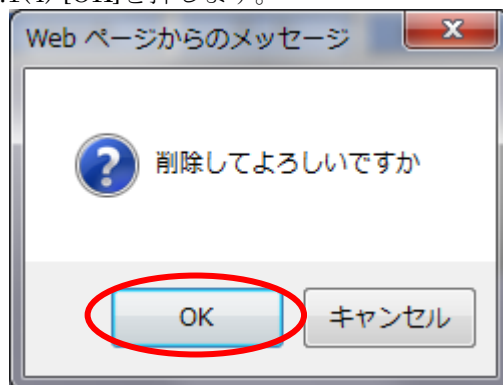
ここでは、麻酔台帳に登録した症例を削除する方法を説明します。

※この操作は、管理者のみ行える操作です。

- 9.1.1(1) [手術台帳/麻酔台帳] | [登録] メニューをクリックします。
- 9.1.1(2) 台帳の検索画面で、削除する麻酔台帳を検索し、[選択] ボタンを押します。
- 9.1.1(3) 以下の画面が表示されます。
[削除] ボタンを押します。

The screenshot shows the '手術台帳/麻酔台帳登録' (Anesthesia Record Registration) page. The '削除' (Delete) button is circled in red. The page includes a search bar for '症例番号' (Case Number) and various tabs for patient information, pre-operative conditions, and medical history. The '削除' button is located in the top navigation bar of the registration section.

- 9.1.1(4) [OK]を押します。



※ここで削除した症例は、[手術台帳/麻酔台帳] | [削除]メニューを選択すると、一覧に表示されます。同一覧で[選択]を押し、表示される画面で[完全に削除]を押すとデータベースから完全に削除されます。[削除の取消]を押すと削除を取り消すことが可能です。

10 システム利用ユーザ/麻酔科医情報を登録するには

10.1 ユーザ登録/麻酔科医情報登録と利用権限の設定

ここでは、ユーザの登録方法を説明します。

10.1.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員」メニューを選択します。

左側の検索条件(①)を指定し(省略可)、[検索]ボタン(②)を押すと、右側に職員データの一覧が表示されます。データ件数が多くて複数ページに渡るときは、ページ番号(⑥)でページを移動する事ができます。

職員情報を新規登録する場合は、[新規登録]ボタン(③)を押します。下の画面が表示されます。職員情報を更新する場合は、一覧から一行選択し、[編集]ボタン(④)を押します。削除する場合は、一覧から1行選択し、[削除]ボタン(⑤)を押します。

職員情報の検索

職員コード:
職員氏名:
科名:
病種名:

検索 ヘルプ

新規登録 ※手術外看護師・・・手術室以外の看護師(病種・外来など)

職員コード	職員氏名	科名	病種名	手術外看護師	手術室看護師	主治医	術者助手
0001	中尾	外科				○	
0002	今福	皮膚科				○	○
0003	伊藤	麻酔科					
0004	佐々木	麻酔科					
0005	佐藤	麻酔科					
0006	加藤	麻酔科					
0007	北村	麻酔科					
0008	古賀	脳外科				○	
0009	堀部	外科				○	○
0010	大島	麻酔科					
0011	宇根	眼科				○	○
0012	宮崎	泌尿器科					○
0013	小川	産婦人科				○	○
0014	岡崎	外科				○	○
0015	岩戸	内科				○	
0016	岩浪	外科				○	
0017	川島	麻酔科					
0018	川本	麻酔科					
0019	森川	麻酔科					
0020	森河	麻酔科					

ページが表示されました

10.1.1(2) 上記の画面で [新規登録] または [編集] ボタンを押すと、以下の画面を表示します。

ここで必要事項を入力します。(*)の付いた項目は必須入力です。

入力が完了したら、[登録]ボタンを押します。

職員には、ここで登録した職種フラグに応じた本システムの利用権限が自動的に設定されます。

以下に、登録項目を説明します。

No	項目	説明
1	職員コード	職員コードを半角で入力します。最大で 10 桁まで入力できます。 ※このコードは、ログイン時のユーザ ID に使用します。 更新時は、編集できません。
2	職員氏名	職員氏名を入力します。最大で 80 文字まで入力できます。
3	パスワード	パスワードを入力するには、[設定]ボタンを押します。 パスワードの入力欄にパスワードを入力し、[設定]ボタンを押します。[パスワードの設定]画面が閉じます。 最大 20 文字まで入力できます。 パスワードが入力済になると、パスワードの欄に[●●●●●●●●●●]と表示されます。
4	科名	職員の所属科を選択します。
5	病棟名	職員の所属病棟を選択します。
6	職種フラグ (複数選択可)	職種フラグは、ログイン後に使用できる機能と、手術管理や麻酔台帳で登録できる職員を制御します。 ■手術室以外の看護師(病棟・外来など) この職種にチェックすると手術の進捗が閲覧できます。 また、手術管理や麻酔台帳画面で直接看護師、間接看護師として登録する事ができます。

		<p>■手術室看護師 この職種にチェックすると手術室の振分、進捗記録、進捗閲覧が行なえます。 また、手術管理や麻酔台帳画面で直接看護師、間接看護師として登録する事ができます。</p> <p>■主治医 この職種にチェックすると手術室の予約、手術記録/麻酔台帳登録、進捗閲覧が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で主治医として登録する事ができます。</p> <p>■術者・助手 この職種にチェックすると手術室の予約、手術記録/麻酔台帳登録、進捗閲覧が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で術者・助手として登録する事ができます。</p> <p>■麻酔科医 この職種にチェックすると予定麻酔法の登録、進捗閲覧、手術記録/麻酔台帳登録が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で麻酔科医として登録する事ができます。</p> <p>■麻酔指導医 この職種にチェックすると予定麻酔法の登録、進捗閲覧、手術記録/麻酔台帳登録が行なえます。また、手術管理や麻酔台帳画面で麻酔指導医として登録する事ができます。</p>
7	医籍番号	医籍番号を入力します。入力した医籍番号は、症例数学会提出ファイル、JSCVA 症例提出ファイルに出力されます。
8	歯科医師医籍番号	JSA 資格欄で、歯科医にチェックを入れた場合に入力欄が表示されます。歯科医師医籍番号を入力します。
9	勤務開始日 ／終了日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務開始日／終了日を登録します。[▼]マークを押すとカレンダーから日付を選択できます。 ・登録した勤務開始日／終了日は、症例数学会提出ファイル、JSCVA 症例提出ファイルに出力されます。 ・勤務開始日／終了日は、複数の履歴を登録することが可能です。 ・勤務開始日／終了日を新たに登録する場合は、日付を入力し、[新規保存]ボタンを押します。 ・登録した勤務開始日／終了日は、画面右側欄に表示されます。 ・画面右側欄に表示されたデータを編集するには、[編集]ボタンを押します。 ・[編集]ボタンを押すと、中央欄にデータが表示されます。データを編集し[保存]を押すとデータが更新されます。[編集キャンセル]を押すと、編集をキャンセルします。 ・画面右側欄に表示されたデータを削除するには、[削除]ボタンを押します。 ・勤務開始日／終了日を入力する際、勤務開始日は必須入力です。(勤務終了日だけの入力はありません) ・勤務開始日／終了日を入力する際、入力時点で職員が勤務中の場合は、勤務終了日の入力はありません。空白のまま登録してください。 ・勤務期間が複数ある場合、勤務開始日／終了日の期間が、他の期間と重複する入力はありません。
10	JSA 会員番号	日本麻酔科学会(JSA)の会員番号を入力します。入力した会員番号は、症例数学会提出ファイルに出力されます。
11	JSA 専門医研修制度 研修実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・日本麻酔科学会専門医研修制度の、施設の研修実施責任者の職員にチェックを入れます。 ・チェックを入れた職員がログインすると、マイページにて専攻医の症例数等の研修状況が確認できます。また経験必要症例数の確認、経験必要症例分類の登録、及び症例数学会提出ファイルの作成操作が可能です。
12	JSA 資格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本麻酔科学会の資格情報を入力します。 ・入力した資格情報は、症例数学会提出ファイルに出力されます。 ・資格情報を登録した職員がログインすると、マイページにて自身の症例数等の状況が確認できます。 ・資格情報は、複数の履歴を登録することが可能です。 ・資格情報を新たに登録する場合は、資格にチェックを入れ、日付を入力し、[新規保存]ボタンを押します。 ・登録した資格情報は、画面右側欄に表示されます。 ・画面右側欄に表示されたデータを編集するには、[編集]ボタンを押します。 ・[編集]ボタンを押すと、中央欄にデータが表示されます。データを編集し[保存]を押すとデータが更新されます。[編集キャンセル]を押すと、編集をキャンセルします。 ・画面右側欄に表示されたデータを削除するには、[削除]ボタンを押します。

		<ul style="list-style-type: none"> ・開始日／終了日を入力する際、開始日は必須入力です。(終了日だけの入力ではできません) ・上位の資格を取得した場合、上位資格の開始日の前日付を、登録済みの現在資格の終了日に入力してください。 例) 専門医の資格を2020/04/01に取得した場合、研修医の資格の終了日に2020/03/31を入力してください。 ・開始日／終了日を入力する際、入力時点で上位の資格を取得していない場合は、終了日の入力はありません。空白のまま登録してください。 ・資格内容の重複入力はできません。 ・資格の期間(開始日／終了日)が、他の資格の期間と重複する入力ではできません。
13	JSCVA 会員番号	日本心臓血管麻酔学会(JSCVA)の会員番号を入力します。入力した会員番号は、JSCVA 症例学会提出ファイルに出力されます。
14	JSCVA 専門医研修制度 研修実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・日本心臓血管麻酔学会専門医研修制度の、施設の研修実施責任者の職員にチェックを入れます。 ・チェックを入れた職員がログインすると、マイページにて JSCVA 専攻医の症例数等の研修状況が確認できます。また心臓血管麻酔経験証明書(施設集計、及び専攻医等の分)の作成、及び JSCVA 症例学会提出ファイルの作成操作が可能です。
15	JSCVA 資格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本心臓血管麻酔学会(JSCVA)の資格情報を入力します。 ・入力した資格情報は、JSCVA 症例学会提出ファイルに出力されます。 ・資格情報を登録した職員がログインすると、マイページにて自身の JSCVA 症例数等の状況が確認できます。また、自身の心臓血管麻酔経験証明書が作成できます。 ・資格情報は、複数の履歴を登録することが可能です。 ・資格情報を新たに登録する場合は、資格にチェックを入れ、日付を入力し、[新規保存]ボタンを押します。 ・登録した資格情報は、画面右側欄に表示されます。 ・画面右側欄に表示されたデータを編集するには、[編集]ボタンを押します。 ・[編集]ボタンを押すと、中央欄にデータが表示されます。データを編集し[保存]を押すとデータが更新されます。[編集キャンセル]を押すと、編集をキャンセルします。 ・画面右側欄に表示されたデータを削除するには、[削除]ボタンを押します。 ・開始日／終了日を入力する際、開始日は必須入力です。(終了日だけの入力ではできません) ・上位の資格を取得した場合、上位資格の開始日の前日付を、登録済みの現在資格の終了日に入力してください。 例) 専門医の資格を2020/04/01に取得した場合、研修医の資格の終了日に2020/03/31を入力してください。 ・開始日／終了日を入力する際、入力時点で上位の資格を取得していない場合は、終了日の入力はありません。空白のまま登録してください。 ・資格内容の重複入力はできません。 ・資格の期間(開始日／終了日)が、他の資格の期間と重複する入力ではできません。
16	データ利用開始日／終了日	<ul style="list-style-type: none"> ・本システムへのログイン可能期間、システム各所にある職員の登録時の職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する対象期間(開始日／終了日)を入力します。 ・[▼]マークを押すとカレンダーから日付を選択できます。 ・職員は、指定した対象期間のみシステムにログイン可能です。 ・指定した対象期間の職員のみ、登録時の職員選択用プルダウンリストに表示されます。 ・期間の入力がない場合、全ての期間が対象期間となります。 ・開始日のみを入力した場合、開始日以降(開始日を含む)の期間が対象期間となります。 ・終了日のみを入力した場合、終了日以前(終了日を含む)の期間が対象期間となります。
17	プルダウン表示並び順	<ul style="list-style-type: none"> ・本システムの各所にある職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する際の、上からの表示順番を入力します。 ・半角数字のみ入力が可能です。
18	検索性プルダウン表示開始日／終了日	<ul style="list-style-type: none"> ・本システムの各所にある、職員の検索条件指定時の職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する対象期間(開始日／終了日)を入力します。 ・[▼]マークを押すとカレンダーから日付を選択できます。 ・指定した対象期間の職員のみ、検索条件指定時の職員選択用プルダウンリストに表示されません。 ・期間の入力がない場合、全ての期間が対象期間となります。 ・開始日のみを入力した場合、開始日以降(開始日を含む)の期間が対象期間となります。 ・終了日のみを入力した場合、終了日以前(終了日を含む)の期間が対象期間となります。

10.2 その他の利用権限の設定 (システム管理者・全データ閲覧者など)

「マスタメンテナンス」の「職員」画面の職種フラグには無い権限 (システム管理者、全データ閲覧者など) を追加で設定したい場合に、この操作を行います。

10.2.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員ロール」メニューをクリックします。

左側の検索条件 (①) を指定し (省略可)、 [検索] ボタン (②) を押します。

右側に職員の一覧が表示されます。

権限追加対象する職員の [選択] ボタン (③) をクリックします。

職員検索画面のスクリーンショット。左側の検索条件 (①) を指定し、[検索] ボタン (②) を押す。右側に職員の一覧が表示され、権限追加対象する職員の [選択] ボタン (③) をクリックする。

職員コード	職員氏名	手術室以外の看護師(病棟・外来など)	手術室看護師	診療科医師	執刀医・助手	麻酔医	麻
選択 0001	内科A太郎	○			○		
選択 00013	00013	○			○		
選択 0002	内科B子			○	○		
選択 0003	内科C子			○	○		
選択 0004	外科A太郎			○	○		
選択 0005	眼科A太郎			○	○		
選択 0007	鈴木かず子			○			
選択 0008	麻酔科A太郎					○	
選択 0009	麻酔科B太郎					○	
選択 0010	麻酔科C太郎					○	
選択 012012	1212	○	○	○	○	○	
選択 02222	ppp	○	○				
選択 0658	外来医師	○	○	○	○	○	
選択 0659	病棟医師			○	○		
選択 0660	0660	○					
選択 0661	0661	○	○	○	○		
選択 1	あああ	○	○	○	○		
選択 1000	麻酔科医			○	○	○	
選択 1001	麻酔指導医			○			
選択 1002	麻酔科医2			○		○	

10.2.1(2) 職員/ロールの設定画面が表示されます。

[全データ閲覧者]、[システム管理者]などの追加対象のロールにチェックを入れ、[登録] ボタンを押します。

※手術室以外の看護師(病棟・外来など)、手術室看護師、診療科医師、術者・助手、麻酔科医、麻酔指導医は、職員マスタメンテでチェックした職種フラグと同一のものがチェックされています。これらのチェックを外すと、職員マスタメンテの職種フラグのチェックも外れます。

StaffRoleInsert - Microsoft Internet Explorer

■ 職員/ロールの設定

職員コード(*) 0008

職員氏名(*) 麻酔科A太郎

ロール

- 手術室以外の看護師(病棟・外来など)
- 手術室看護師
- 診療科医師
- 術者・助手
- 麻酔医
- 麻酔指導医
- 全データ閲覧者
- システム管理者

登録 閉じる ヘルプ

10.3 ロールへのシステム機能の設定

本システムでは、ユーザが利用可能な機能は、ロール（役割）を介して設定します。ロールには個々のシステム機能が設定されています。

病院の運用によって、ロールの追加や、ロールに設定している機能を変更できるようになっています。ここでは、ロールの登録方法を説明します。

10.3.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「ロール」メニューを選択します。

左側の検索条件(①)を指定し(省略可)、[検索]ボタン(②)を押すと、右側にロールの一覧が表示されます。

ロールを新規登録する場合は、[新規登録]ボタン(③)を押します。下の画面が表示されます。

職員情報を更新する場合は、一覧から一行選択し、[編集]ボタン(④)を押します。削除する場合は、一覧から1行選択し、[削除]ボタン(⑤)を押します。

※ロールコードが1から20までのデータは、システムで予め設定されているロールであるため削除できません。

■ロール情報の検索

ロール名:

検索 ヘルプ

新規登録

編集	削除	ロールコード	ロール名	登録時刻	登録者名	更新時刻	更新者名
		1	手術室以外の看護師(病棟・外来など)	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		2	手術室看護師	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		3	診療科医師	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		4	術者・助手	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		5	麻酔医	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		6	麻酔指導医	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		7	全データ閲覧者	2005/10/31 15:03:22	default	2005/10/31 15:03:22	default
		8	システム管理者	2005/10/31 15:03:22	default	2005/11/10 20:18:07	システム管理者
		9	システム管理者(マスタメンテ以外)	2005/11/10 20:18:45	default	2005/11/10 20:19:44	システム管理者

10.3.1(2) ロール情報の登録画面が表示されます。

ロール名を入力します。機能リストから、ロールに割当てる機能にチェックを入れます。
入力が完了したら、[登録] ボタンを押します。

登録したロールを「マスタメンテナンス」の「職員ロール」画面にて、職員に付与すると、その職員がログイン後に、この画面でチェックを入れた機能を使用できるようになります。

機能コード	機能名	
10	データ移行	
11	1: ファイル指定	<input type="checkbox"/>
12	2: マスタ移行	<input type="checkbox"/>
13	3: 台帳移行	<input type="checkbox"/>
20	手術管理	
21	予約	<input type="checkbox"/>
22	振分	<input type="checkbox"/>
23	麻酔法登録	<input type="checkbox"/>
24	予定表閲覧	<input type="checkbox"/>
25	進捗記録	<input type="checkbox"/>
26	進捗閲覧	<input type="checkbox"/>
30	自動麻酔記録装置IF	
31	環境設定	<input type="checkbox"/>
32	データ登録	<input type="checkbox"/>
33	ログ参照	<input type="checkbox"/>
40	麻酔台帳	
41	患者検索	<input type="checkbox"/>
42	登録	<input type="checkbox"/>
43	麻酔台帳削除	<input type="checkbox"/>
44	学会提供の停止チェック	<input type="checkbox"/>
50	学会提出	
51	作成	<input type="checkbox"/>

10.4 システム機能と職種（ロール）・資格の初期設定状態

本システムのインストール時には、下表の通り、システム機能とロールが初期設定されています。病院の運用によって、「6.3 ロールへのシステム機能の設定」の手順で、下表の設定を変更することができます。

- は初期設定されている機能を表します（「6.3 ロールへのシステム機能の設定」の手順で変更が可能です）。
 ●は職員マスタの資格の該当欄にチェックを入れた職員が利用可能になる機能を表します。
 □は、設定に関係なく常に利用可能な機能を表します。

	機能名(メニュー名)	職種(ロール)							資格							
		手術室以外の看護師	手術室看護師	診療科医師	術者・助手	麻酔科医(*1)	麻酔指導医(*2)	全データ閲覧者	システム管理者	JSA 研修実施責任者	JSA 専門医・指導医	JSA 専攻医	JSA 初期研修医・麻酔科医・医師・歯科医	JSCVA 研修実施責任者	JSCVA 専門医	JSCVA 専攻医
1	手術管理															
1.1	予約			○	○				○							
1.2	振分		○						○							
1.3	麻酔法登録					○	○		○							
1.4	予定表作成		○	○	○	○	○	○	○							
1.5	進捗登録		○						○							
1.6	進捗閲覧	○	○	○	○	○	○	○	○							
2	自動麻酔記録装置 IF															
2.1	環境設定								○							
2.2	データ登録								○							
2.3	ログ参照								○							
3	手術台帳/麻酔台帳															
3.1	登録		○		○	○	○		○							
3.2	*匿名化情報であっても提供の停止請求あり								○							
3.3	削除								○							
3.4	印刷		○		○	○	○	○	○							
3.5	入力用テンプレート設定		○		○	○	○	○	○							
3.6	重複チェック								○							
3.7	経験必要症例分類登録								○	●						
4	マイページ															
4.1	職員情報編集	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
4.2	職員情報エクスポート	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
4.3	職員情報インポート	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
4.4	症例数								○	○	●	●	●			
4.5	専攻医症例数								○	○	●					
4.6	JSCVA 症例数								○	○				●	●	
4.7	JSCVA 専攻医症例数								○	○				●		
4.8	経験必要症例一覧								○	○	●	●	●			
4.9	専攻医経験必要症例一覧								○	○	●					
4.10	JSCVA 症例一覧								○	○				●		
4.11	経験必要症例担当医一覧								○	○	●					
4	学会提出															
4.1	偶発症例調査提出ファイル作成								○							
4.2	症例数提出ファイル作成								○	●						
4.3	JSCVA 症例提出ファイル作成								○					●		
5	臨床実績報告書															
5.1	作成 2019 年 3 月以前					○	○		○							
5.2	作成 2019 年 4 月以降					○	○		○							

	機能名(メニュー名)	職種(ロール)							資格							
		手術室以外の看護師	手術室看護師	診療科医師	術者・助手	麻酔科医(*1)	麻酔指導医(*2)	全データ閲覧者	システム管理者	JSA 研修実施責任者	JSA 専門医・指導医	JSA 専攻医	JSA 初期研修医・麻酔科医・医師・歯科医	JSCVA 研修実施責任者	JSCVA 専門医	JSCVA 専攻医
6	心臓血管麻酔 経験証明書															
6.1	施設集計								○					●		
6.2	個人集計								○					●	●	●
7	検索															
7.1	汎用検索				○	○	○	○	○							
7.2	CSV 出力							○	○							
7.3	個人集計						○	○	○							
7.4	病院集計				○	○	○	○	○							
7.5	偶発症一覧						○	○	○							
8	患者情報															
8.1	登録								○							
9	マスタメンテナンス (マスタメンテナンス以下全て)								○							
10	汎用的データ移行								○							
11	システム拡張															
11.1	施設独自項目設定								○							
11.2	他システム起動設定								○							
12	他システム起動	○	○	○	○	○	○	○	○							
13	パスワード変更(自分自身の)	○	○	○	○	○	○	○	○							
14	ログアウト	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

(*1) 「麻酔科医」は、研修医、ローテータ等も含む、麻酔に係わる全ての人を意味します。

(*2) 「麻酔指導医」は、認定医、専門医、および指導医を意味します。

※注意) 「麻酔科医」は、偶発症の一覧、麻酔実績の個人集計のデータを参照することができません。

11 パスワードを忘れてしまったとの問合せがあったら

パスワードを忘れてログインできないとの問合せがユーザからあった場合には、以下の手順にて新しいパスワードを設定してください。

11.1.1(1) 「マスタメンテナンス」 | 「職員」メニューを選択します。

11.1.1(2) 画面左側の検索条件を指定し(省略可)、[検索]ボタン を押すと、右側に職員データの一覧が表示されます。データ件数が多くて複数ページに渡るときは、ページ番号でページを移動する事ができます。

当該の職員の[更新]ボタンを押します。

11.1.1(3) 「職員情報の更新」画面が表示されます。

[パスワード]欄の右横の[設定]ボタンを押します。

11.1.1(4) 「パスワードの設定」画面が表示されます。

ここで、新しいパスワードを入力し、[設定]ボタンを押します。

11.1.1(5) 「職員情報の更新」画面に戻りますので、[登録]ボタンを推します。

以上で、パスワードが再設定されました。その後、新しく設定したパスワードをユーザに連絡します。



参照 操作方法の詳細は、「10 システム利用ユーザ/麻酔科医情報を登録するには」を参照ください。

12 施設独自項目機能の設定方法

ここでは、日本麻酔科学会が用意した項目以外に、施設独自で設定した項目を台帳に登録する方法を説

明します。ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面のヘルプを押して表示されるヘルプをご参照ください。



12.1 施設独自項目の設定

施設独自項目は下記手順で設定します。最大 20 個の施設独自項目を設定することが可能です。

12.1.1(1) メニューから①[システム拡張]-②[施設独自項目設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。

12.1.1(2) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。

■施設独自項目の編集

項目ID 1

項目名(*) 独自項目1

入力形式(*) テキスト

登録可能 はい いいえ

必須入力 はい いいえ

入力可能桁数 50

汎用検索条件指定可能 はい いいえ

汎用検索 CSV出力可能 はい いいえ

入力単位名称

項目並び順 1

説明リンク表示 はい いいえ

説明リンク名称 ヘルプ

説明文 ここには・・・を入力します。

自動麻酔記録装置等IF XMLタグ

備考

データベース名 Item01

登録 印刷 ヘルプ

12.1.1(3) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「登録可能」欄に○が表示されている項目が、台帳画面で登録できる項目です。

JSA PIMS2019 - Windows Internet Explorer

http://lime/jsa/system/MainFrame.html

システム管理者 施設独自項目設定 他システム起動設定

■施設独自項目情報の検索

項目ID	項目名	入力形式	登録可能	必須入力	入力可能桁数	汎用検索条件指定可能	汎用検索 CSV出力可能	入力単位名称	並び順
1	独自項目1	テキスト	○		50	○	○		1
2	未設定02								
3	未設定03								
4	未設定04								
5	未設定05								
6	未設定06								
7	未設定07								
8	未設定08								
9	未設定09								
10	未設定10								
11	未設定11								
12	未設定12								
13	未設定13								
14	未設定14								
15	未設定15								
16	未設定16								
17	未設定17								
18	未設定18								
19	未設定19								
20	未設定20								

12.2 施設独自項目の台帳登録


12.2.1(1) 手術台帳/麻酔台帳画面の「施設独自項目」ボタンを押すと、8.1 で設定した施設独自項目が登録可能になっていることが確認できます。

13 他システム起動機能の設定方法

ここでは、本システムより他システムを起動するための設定方法を説明します。ここで起動可能な他システムはWEBブラウザによりhttpで呼出可能なシステムに限ります。



注意 他システムを起動する際は、本システムのユーザIDを、他システムへのログインIDとして、引き渡します。(パスワードは引き渡しません)。このため、呼び出された他システム側は引き渡されたログインIDにて認証をシアクセスコントロールが行われる必要があります。

ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面の  ヘルプ を押して表示されるヘルプをご参照ください。

13.1 他システム起動の設定

他システム起動の設定下記手順で設定します。最大20個の他システムの起動設定をすることが可能です。

13.1.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合

13.1.1(1) メニューから①[システム拡張]-②[他システム起動設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。

The screenshot shows the JSA PIMS2010 web application interface. The navigation bar includes the following items: データ移行, 手術台帳/麻酔台帳, 自動麻酔記録管理IF, 手術台帳/麻酔台帳, 学会提出, 臨床実績報告書, 検索, 患者情報, マスタメンテナンス, 汎用データ移行, システム拡張 (1), ヘルプ, ログアウト. The main content area displays the '他システム起動設定' (Other System Startup Settings) menu. The table below shows the menu items:

メニューID	メニュー表示	メニュー名	メニュー表示順	起動
1		未設定		
2		未設定		
3		未設定		
4		未設定		
5		未設定		
6		未設定		
7		未設定		
8		未設定		
9		未設定		
10		未設定		
11		未設定		
12		未設定		
13		未設定		
14		未設定		
15		未設定		
16		未設定		
17		未設定		
18		未設定		
19		未設定		
20		未設定		

- 13.1.1(2) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。ここでは、「患者 ID パラメータ付加」は「いいえ」のままとします。

■他システム起動設定項目の編集

メニューID	1
メニュー表示	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
メニュー名(*)	AAAシステム
メニュー表示順	1
起動URL(*)	http://test/aaa.html
起動時Window名	aaa

ログインIDパラメータ

パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	login_id
固定値	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
固定値の場合の値	

患者IDパラメータ

パラメータ付加	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
パラメータ名	

その他パラメータ

備考	
----	--

登録 閉じる ヘルプ

13.1.1(3) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「メニュー表示」欄に○が表示されている項目が、起動できる他システムを表します。

■他システム起動設定情報の検索

メニューID	メニュータイプ	メニュー名	メニュータイプ	起動URI	登録日
編集 1	○	AAAシステム	1	http://test/aaa.html	2010/11/15 7
編集 2		未設定			2010/11/15 7
編集 3		未設定			2010/11/15 7
編集 4		未設定			2010/11/15 7
編集 5		未設定			2010/11/15 7
編集 6		未設定			2010/11/15 7
編集 7		未設定			2010/11/15 7
編集 8		未設定			2010/11/15 7
編集 9		未設定			2010/11/15 7
編集 10		未設定			2010/11/15 7
編集 11		未設定			2010/11/15 7
編集 12		未設定			2010/11/15 7
編集 13		未設定			2010/11/15 7
編集 14		未設定			2010/11/15 7
編集 15		未設定			2010/11/15 7
編集 16		未設定			2010/11/15 7
編集 17		未設定			2010/11/15 7
編集 18		未設定			2010/11/15 7
編集 19		未設定			2010/11/15 7
編集 20		未設定			2010/11/15 7

ページが表示されました

13.1.2 患者 ID を他システムに引き渡す場合

13.1.2(1) メニューから①[システム拡張]-②[他システム起動設定]を選択、③[検索]を押し、④[編集]を押します。

The screenshot shows the JSA PIMS2010 web application interface. The top navigation bar includes menu items such as 'データ移行', '手術管理', '自動麻酔記録装置IF', '手術台帳/麻酔台帳', '学会提出', '臨床実績報告書', '検索', '患者情報', 'マスタメンテナンス', '汎用的データ移行', 'システム拡張', 'パスワード変更', and 'ログアウト'. The 'システム拡張' menu item is circled in red and labeled with the number 5. Below the navigation bar, the '他システム起動設定' menu item is circled in red and labeled with the number 2. On the left side, there is a search input field labeled 'メニュー名称:' and a '検索' button, both circled in red and labeled with the number 3. The main content area displays a table titled '他システム起動設定情報の検索' with the following columns: 'メニューID', 'メニュー表示', 'メニュー名', 'メニュー表示順', '起動URL', and '登録日'. The first row of the table is circled in red and labeled with the number 4, and the '編集' button in the first column of this row is also circled in red. The table contains 20 rows of data, all with '未設定' in the 'メニュー表示' column. The status bar at the bottom indicates 'ページが表示されました' and '100%' zoom level.

メニューID	メニュー表示	メニュー名	メニュー表示順	起動URL	登録日
1	○	AAAシステム	1	http://test/aaa.html	2010/11/15 7
2		未設定			2010/11/15 7
3		未設定			2010/11/15 7
4		未設定			2010/11/15 7
5		未設定			2010/11/15 7
6		未設定			2010/11/15 7
7		未設定			2010/11/15 7
8		未設定			2010/11/15 7
9		未設定			2010/11/15 7
10		未設定			2010/11/15 7
11		未設定			2010/11/15 7
12		未設定			2010/11/15 7
13		未設定			2010/11/15 7
14		未設定			2010/11/15 7
15		未設定			2010/11/15 7
16		未設定			2010/11/15 7
17		未設定			2010/11/15 7
18		未設定			2010/11/15 7
19		未設定			2010/11/15 7
20		未設定			2010/11/15 7

13.1.2(1) 下記の画面が表示されます。例として下記の入力をし「登録」を押します。ここでは、「患者 ID パラメータ付加」は「はい」を指定します。

■他システム起動設定項目の編集

メニューID	2
メニュー表示	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
メニュー名(*)	BBBシステム
メニュー表示順	2
起動URL(*)	http://test/bbb.html
起動時Window名	bbb
ログインIDパラメータ	
パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	login
固定値	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
固定値の場合の値	
患者IDパラメータ	
パラメータ付加	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
パラメータ名	patient_no
その他パラメータ	
備考	

登録 閉じる ヘルプ

13.1.2(2) (2)で登録した内容が反映されていることが確認できます。「メニュー表示」欄に○が表示されている項目が、起動できる他システムを表します。

メニューID	メニュー表示	メニュー名	メニュー表示順	起動URL	登録日
1		AAAシステム	1	http://test/aaa.html	2010/11/15
2	○	BBBシステム	2	http://test/bbb.html	2010/11/15
3		未設定			2010/11/15
4		未設定			2010/11/15
5		未設定			2010/11/15
6		未設定			2010/11/15
7		未設定			2010/11/15
8		未設定			2010/11/15
9		未設定			2010/11/15
10		未設定			2010/11/15
11		未設定			2010/11/15
12		未設定			2010/11/15
13		未設定			2010/11/15
14		未設定			2010/11/15
15		未設定			2010/11/15
16		未設定			2010/11/15
17		未設定			2010/11/15
18		未設定			2010/11/15
19		未設定			2010/11/15
20		未設定			2010/11/15

13.2 他システム起動方法

9.1 で設定した他システム起動の設定内容を反映するには、一度ログアウトして、再度ログインする必要があります。

13.2.1 患者 ID を他システムに引き渡さない場合

画面上段の[他システム起動]メニューをクリックし、表示されるシステム名をクリックすると、他システムが起動します。


13.2.1 患者 ID を他システムに引き渡す場合

手術台帳・麻酔台帳の登録画面で、患者データを開いた状態の画面の左側にある[他システム起動]メニューをクリックし、表示されるシステム名をクリックすると、他システムが起動します。

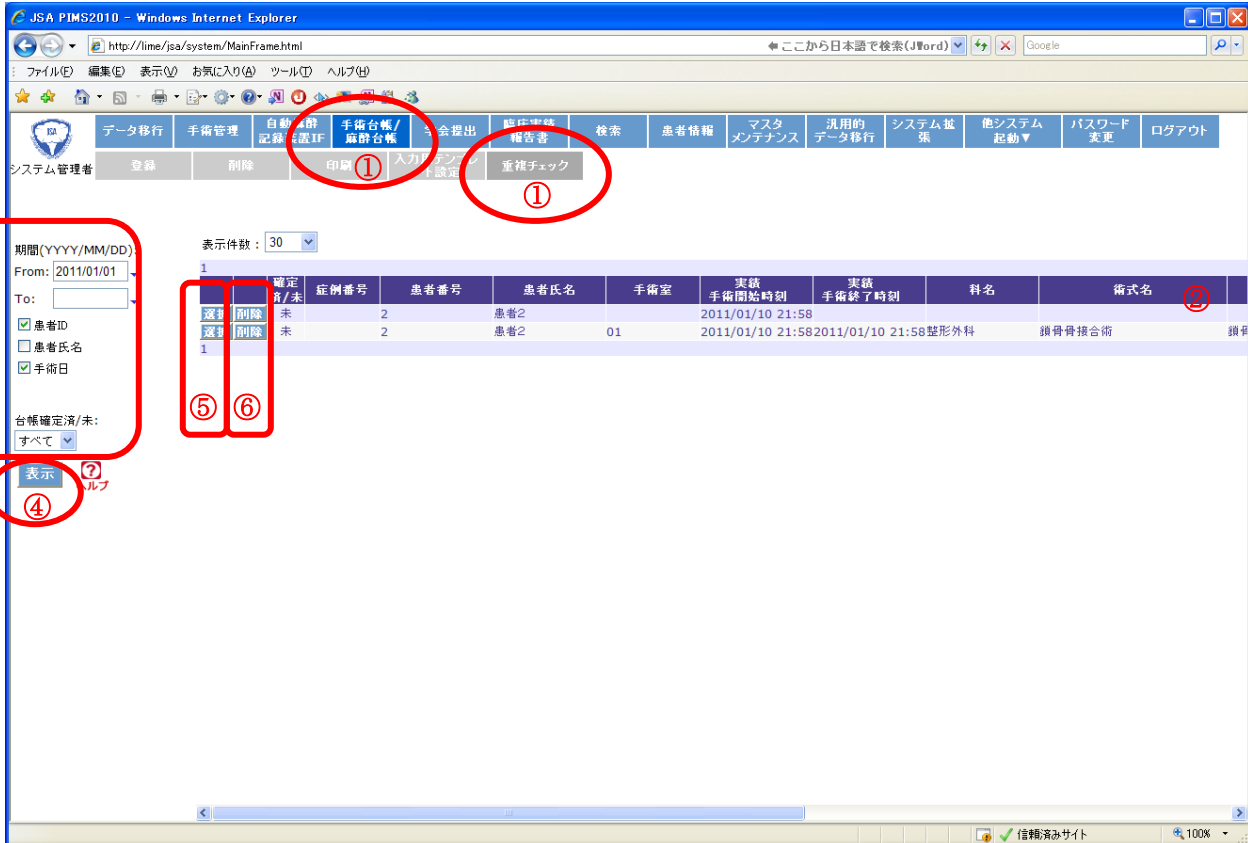
The screenshot shows the JSA PIMS2010 web application interface. The browser title is "JSA PIMS2010 - Windows Internet Explorer". The address bar shows "http://lime/jsa/system/MainFrame.html". The page has a navigation menu at the top with various options like "データ移行", "手術管理", "自動麻酔記録装置IF", "手術台帳/麻酔台帳", "学会提出", "臨床実績報告書", "検索", "患者情報", "マスターメンテナンス", "汎用的データ移行", "システム拡張", "他システム起動", "パスワード変更", and "ログアウト". Below the navigation menu, there are buttons for "登録", "削除", "印刷", "入力用テンプレート設定", and "重複チェック". The main content area is titled "他システム起動" and "BBBシステム". There are buttons for "確定", "一時保存", "削除", "戻る", and "ヘルプ". The form contains fields for "学会提出" (checkbox), "症例番号", "患者ID(****)" (2), "患者氏名(****)" (患者2), "性別" (男性), "ASA PS" (2), "手術部位" (心臓・血管), "麻酔法" (全身麻酔(吸入)), "年齢" (11歳), and "術前合併症(学会)分類". There are also buttons for "偶発症例あり(確定)" and "偶発症例登録".

14 手術台帳/麻酔台帳の重複登録の可能性があるデータのチェック方法

手術台帳/麻酔台帳に重複登録されている可能性がある症例を検索し一覧で表示します。その後、症例データの詳細の確認、及び削除することが可能です。

ここでは設定の基本的な使用方法を説明します。画面操作の詳細については、各画面のヘルプ  を押して表示されるヘルプをご参照ください。

14.1.1(1) メニューから①[手術台帳/麻酔台帳]-②[重複チェック]を選択、③検索条件を入力した後、④[検索]を押します。




検索条件入力欄:

期間(YYYY/MM/DD)
From: 2011/01/01
To:

患者ID
 患者氏名
 手術日

台帳確定済/未:
すべて



表示件数: 30

確定済/未	症例番号	患者番号	患者氏名	手術室	実績 手術開始時刻	実績 手術終了時刻	科名	術式名
<input checked="" type="checkbox"/> 未	2	患者2	患者2	01	2011/01/10 21:58	2011/01/10 21:58	整形外科	鎖骨骨接合術
<input checked="" type="checkbox"/> 未	2	患者2	患者2	01	2011/01/10 21:58	2011/01/10 21:58	整形外科	鎖骨骨接合術

すると条件に一致した重複登録の可能性がある症例が一覧表示されます。

- ・⑤[選択]を押すと、該当の詳細データが表示され、確認ができます。
- ・⑥[削除]を押すと、該当のデータを削除します（論理削除されます）。

15 マスタ情報の管理について

ここでは、マスタ情報の管理について説明します。

マスタ情報は、本システムを運用する上で必要不可欠な重要な情報です。

日頃からデータの管理を行ない、余分なデータや不足するデータがないようにしてください。

15.1 マスタ情報一覧

本システムでは、以下のマスタ情報を用意しています。

	マスタ	内容
1	病院	<p>病院に関するマスタ情報を管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■病院名、住所 臨床実績報告書に出力されます。 症例数 学会提出用ファイルに出力されます。 JSCVA 症例 学会提出用ファイルに出力されます。 ■病床数、登録科名、病院の種類、病院の所在(地域) 偶発症例調査 学会提出用ファイルに出力されます。 ■日本麻酔科学会(JSA)認定施設コード 症例数 学会提出用ファイルに出力されます。 JSCVA 症例 学会提出用ファイルに出力されます。 ■日本心臓血管麻酔学会(JSCVA)認定施設コード JSCVA 症例 学会提出用ファイルに出力されます。 ■日本心臓血管麻酔学会(JSCVA)台帳登録有無 JSCVA 台帳を登録するにチェックを入れると、台帳画面にJSCVA項目が表示され入力可能になります。
2	科	診療科に関するマスタ情報を管理します。(科コード、科名)
3	病棟	病棟に関するマスタ情報を管理します。(病棟コード、病棟名)
4	手術室	手術室に関するマスタ情報を管理します。(手術室コード、手術室名)
5	職員	<p>職員に関するマスタ情報を管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本システムへのログインユーザ ID/パスワードは、ここで設定します。 ■職種は、職員毎に以下の中から該当する職種を設定します(複数可) <ul style="list-style-type: none"> ・手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・手術室看護師 ・主治医 ・術者・助手 ・麻酔科医 ・麻酔指導医 <p>※職種を設定すると、職員へのロールが自動的に付与され、役割に応じたシステムの利用が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■医籍番号 麻酔科医の医籍番号を登録します。JSA 資格で「歯科医師」にチェックを入れた場合、歯科医師医籍番号も登録します。 ■勤務開始/終了日 職員の勤務開始日/終了日を登録します。 ■JSA 会員番号 麻酔科医の日本麻酔科学会の会員番号を登録します。 ■JSA 専門医研修制度 研修実施責任者 日本麻酔科学会の専門医研修制度の研修実施責任者にチェックを入れます。 ■JSA 資格 日本麻酔科学会の資格情報を登録します。 ■JSCVA 会員番号 麻酔科医の日本心臓血管麻酔学会の会員番号を登録します。 ■JSCVA 専門医研修制度 研修実施責任者

	マスタ	内容
		<p>日本心臓血管麻酔学会の専門医研修制度の研修実施責任者にチェックを入れます。</p> <p>■JSCVA 資格 日本心臓血管麻酔学会の資格情報を登録します。</p> <p>■データ利用開始日／終了日 システムへのログイン可能期間、システム各所にある職員の登録時の職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する対象期間(開始日／終了日)を入力します。</p> <p>■プルダウン表示並び順 ・本システムの各所にある職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する際の、上からの表示順番を登録します。</p> <p>■検索性プルダウン表示開始日／終了日 本システムの各所にある、職員の検索条件指定時の職員選択用プルダウンリストに、職員を表示する対象期間(開始日／終了日)を登録します</p>
6	職員ロール	<p>職員のロール(役割)に関するマスタ情報を管理します。 ここでは、主に「職員」マスタで設定される役割以外の[全データ閲覧者]や[システム管理者]の役割を職員に設定します。</p> <p>■職員のロールは、職員毎に以下の中から該当するロールを設定します(複数可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・手術室看護師 ・診療科医師 ・術者・助手 ・麻酔医 ・麻酔指導医 ・全データ閲覧者 ・システム管理者
7	術前特記事項	<p>術前特記事項に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じデータの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で術前特記事項を登録するときに選択できます。</p>
8	術中特記事項	<p>術中特記事項に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で術中特記事項を登録するときに選択できます。</p>
9	気道	<p>気道に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で気道を登録するときに選択できます。</p>
10	希望麻酔法	<p>希望麻酔法に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 ここで登録したデータは、手術管理・麻酔台帳の登録機能で希望麻酔法を登録するときに選択できます。</p>
11	麻酔薬	<p>よく使う麻酔薬に関するマスタ情報を管理します。 学会提供データが予め登録されています。 貴院の運用に応じ、データの追加・変更・削除が可能です。 但し、麻酔薬コードの先頭文字が0で始まる麻酔薬は、学会提供の固定データであるため、登録・変更・削除はできません。貴院で麻酔薬を追加する</p>

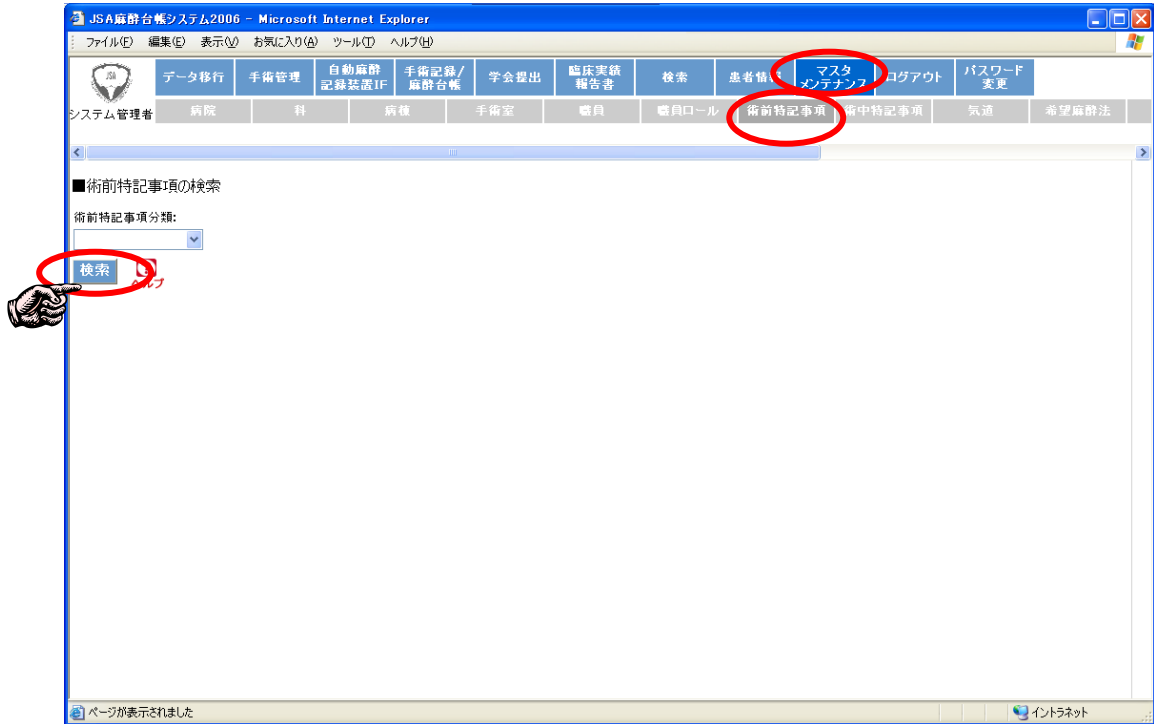
	マスタ	内容
		場合には、先頭文字が0以外の麻酔薬コードを登録してください。
12	器械セット	よく使う器械セットに関するマスタ情報を科毎に管理します。 ここで登録した器械セットは、手術管理・麻酔台帳機能で、器械セットを選択するときに表示されます。
13	科で使用する疾病	よくある疾病を科毎に登録します。MEDIS の標準病名マスターから、疾病を選択し登録できます。 ここで登録した疾病は、手術管理・麻酔台帳機能で、疾病を選択するときに表示されます。
14	科で使用する術式	よくある術式を科毎に登録します。 MEDIS の標準手術・処置マスターから、よくある術式を選択し登録できます。 ここで登録した術式は、手術管理・麻酔台帳機能で、術式を選択するときに表示されます。
15	疾病(病院独自)	MEDIS の標準病名マスターには存在しない疾病を登録します。ここで疾病を登録した後、さらに「13. 科で使用する疾病」で科毎に登録を行います。それにより手術管理・麻酔台帳機能で、疾病を選択するときに表示されます。
16	術式(病院独自)	MEDIS の標準手術・処置マスターには存在しない術式を登録します。ここで術式を登録した後、さらに「14. 科で使用する術式」で科毎に登録を行います。それにより手術管理・麻酔台帳機能で、術式を選択するときに表示されます。
17	ロール	本システムのロール(役割)に関するマスタ情報を管理します。 以下の学会提供データが予め登録されています。 <ul style="list-style-type: none"> ・1. 手術室以外の看護師(病棟・外来など) ・2. 手術室看護師 ・3. 診療科医師 ・4. 術者・助手 ・5. 麻酔医 ・6. 麻酔指導医 ・7. 全データ閲覧者 ・8. システム管理者 貴院の運用に応じ、データの追加が可能です。 データを追加すると、「職員ロール」のロール一覧にも追加表示され、ここで追加したロールを、職員に付与することができます。 ロールコード1~20は学会で予約したコードであるため削除はできません。 (ただし使用可能な機能を変更することはできません)

15.2 マスタ情報の管理（共通操作）

マスタ情報の管理は、本システムの「マスタメンテナンス」機能を使用して行います。画面の操作は概ね共通の操作で可能です。ここでは、その共通操作を説明します。

■ここでは、例として、「術前特記事項」を選択した場合の画面で説明します。

15.2.1(1) [マスタメンテナンス] | [術前特記事項]メニューを選択します。以下の画面が表示されます。検索条件を設定し[検索]を押します。（検索条件を設定しない場合、全てのデータが検索されます）



15.2.1(2) 右側に検索結果の一覧が表示されます。

■新規登録
データを新規登録するときに押します。

■項目名の部分
並び順の変更するときに項目名の部分をクリックします。

分類ID	分類名	特記事項コード	特記事項名	備考
a	呼吸器系	01	%VC低下	
a	呼吸器系	12	塵肺症	
a	呼吸器系	07	H-J分類2度以上	H-J>=2
a	呼吸器系	06	喫煙	SMOKER>=20
a	呼吸器系	15	挿管困難	
a	呼吸器系	04	肺気腫	
a	呼吸器系	14	いびき、睡眠時無呼吸	
a	呼吸器系	05	慢性気管支炎	
a	呼吸器系	10	陣发性結核	
a	呼吸器系	11	肺手術後	
a	呼吸器系	13	慢性呼吸不全	
a	呼吸器系	08	喘息	
a	呼吸器系	02	一秒率低下	
a	呼吸器系	03	上気道炎、感冒様症状	
a	呼吸器系	09	気道閉塞、気管内異物	
b	循環器系	08	NYHA分類2度以上	NYHA>=2
b	循環器系	09	ペースメーカー	
b	循環器系	07	心電図異常	
b	循環器系	12	心筋症	
b	循環器系	05	高血圧	

■編集、削除
データを編集、または削除するときに押します。

■ページ番号
ページを移動するときに押します。

- ・ 1 ページ当りのデータ表示件数は 20 件です。データが 20 件を超える場合には複数のページになります。次ページに移動するには移動先のページ番号をクリックします。
- ・ データの新規登録時は[新規登録]ボタン、データの編集、削除時は、各データのそれぞれ[編集]、[削除]ボタンを押します。
- ・ データの並び順を変更したい場合は、一覧のタイトル行をクリックします。クリックした項目で昇順に並び変えます。

15.2.1(3) 新規登録時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し[登録]ボタンを押します。

The screenshot shows a web browser window titled "■ 術前特記事項の新規登録" (New Registration of Pre-operative Specialized Technical Items). The form contains the following fields and buttons:

- 分類(*) (Classification): A dropdown menu with a "編集" (Edit) button next to it.
- 術前特記事項コード(*) (Specialized Technical Item Code): A text input field.
- 術前特記事項名(*) (Specialized Technical Item Name): A text input field.
- 備考 (Remarks): A text input field.
- Buttons: "登録" (Register), "閉じる" (Close), and "ヘルプ" (Help).

The "登録" button is circled in red. The browser's status bar at the bottom indicates "ページが表示されました" (Page displayed) and "インターネット" (Internet).

15.2.1(4) リストの内容を編集する場合は、[編集]ボタンを押します。([編集]ボタンのない画面もあります。右側にリストの一覧が表示されます。

- リストにデータを新規追加するには
→ 1行目に入力欄を入力し[登録]ボタンを押します。
- リストのデータを変更するには
→ [編集]ボタンを押すと、編集可能な項目の編集が可能になりますので、データを編集し[更新]ボタンを押します。[キャンセル]ボタンを押すと編集内容を取消します。
- リストのデータを削除するには
→ [削除]ボタンを押すと、「削除してもよろしいですか」とアラートが表示されます。ここで、「OK」を押すとデータが削除されます。



15.2.1(5) 更新時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し、[登録]ボタンを押します。



15.2.1(6) 削除時：以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押します。



■注意

本システムでは、全てのマスターデータはコードを基に管理しています。このため、同じコードに対し、違う意味を持たせるような、名称の変更は行わないでください。

例えば、科マスタで外科を消化器外科と脳神経外科に分けるような変更時には、

科コード=01	科名=外科
↓↓↓	
科コード=02	科名=消化器外科
科コード=03	科名=脳神経外科

のように、外科の科コード=01 は使わずに、02, 03 のように新しい科コードを追加してください。

16 患者情報の管理について

ここでは、患者情報の管理方法について説明します。

- 16.1.1(1) [患者情報] | [登録]メニューを選択します。
- 16.1.1(2) 左側の検索条件を入力して、検索ボタンを押します。
- 16.1.1(3) 右側に検索結果の一覧が表示されます。

- ・ 1 ページ当りのデータ表示件数は20件です。データが20件を超える場合には複数のページになります。違うページに移動するには移動先のページ番号をクリックします。
- ・ 患者情報の新規登録時には[新規登録]ボタン、編集時、削除時は、それぞれ各行にある[編集]ボタン、[削除]ボタンを押します。
- ・ データの並び順を変更したい場合は、一覧のタイトル行をクリックします。クリックした項目について昇順に並び変わります。

■新規登録
患者を新規登録するときに
押します。

■項目名の部分
並び順を変更するときに項目名の部分
をクリックします。

■検索
最初に押します

■編集、削除
患者データを更新、
または削除するときに
押します。

■ページ番号
ページを移動するときに押します。

患者ID	患者氏名	患者氏名かな	生年月日	性別	血液型	血液型 Rh	血液型 確定
SYS0000717SYS0000717				女性			200
SYS0000735SYS0000735				男性			200
SYS0000736SYS0000736				男性			200
SYS0000737SYS0000737				女性			200
SYS0000738SYS0000738				女性			200
SYS0000739SYS0000739				女性			200
SYS0000740SYS0000740			2005/05/06	女性			200
SYS0000741SYS0000741			2005/05/15	女性			200
SYS0000742SYS0000742				男性			200
SYS0000743SYS0000743				男性			200
SYS0000744SYS0000744				男性			200
SYS0000745SYS0000745				男性			200
SYS0000746SYS0000746				男性			200
SYS0000747SYS0000747				男性			200
SYS0000748SYS0000748				女性			200
SYS0000749SYS0000749				女性			200
SYS0000780SYS0000780				男性			200
SYS0000781SYS0000781				男性			200
SYS0000782SYS0000782				女性			200
SYS0000783SYS0000783				女性			200

- 16.1.1(4) 新規登録時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し[登録]ボタンを押します。

■患者情報の新規登録

患者ID(*)

患者氏名(*)

患者氏名かな

生年月日(YYYY/MM/DD)

性別

血液型

血液型Rh

血液型確定区分
 確定 未確定

登録 閉じる ヘルプ

16.1.1(5) 編集時：以下の画面が表示されます。入力欄に記入し、[登録]ボタンを押します。

■ 患者情報の更新

患者ID(*)	SYS0000717
患者氏名(*)	SYS0000717
患者氏名かな	
生年月日(YYYY/MM/DD)	
性別	女性
血液型	
血液型Rh	
血液型確定区分	<input checked="" type="radio"/> 確定 <input type="radio"/> 未確定

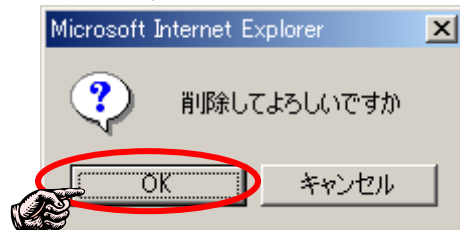
登録 閉じる ヘルプ



注意

更新では、患者 ID の変更ができません。患者 ID を変更するには、患者データを一旦削除してから新規登録を行ってください。

16.1.1(6) 削除時：以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押します。



以上